CONTENTS

2022年度学年暦 …… 1
Mission-Net（ミッションネット）について …… 5
「科目ナンバー」について …… 6
「授業を通して重点的に修得できる力」について …… 6
「関連DP」について …… 7

Introduction

【教育課程】

人文学部　2019～2022年度入学生 …… 8
人間関係学部　2019～2022年度入学生 …… 28
国際キャリア学部　2019～2022年度入学生 …… 38

Part 1

【学籍】

修業年限と在学年限 …… 48
休学 …… 48
復学 …… 48
退学 …… 48
除籍 …… 49
転部･転科 …… 49
再入学 …… 49
編入学 …… 49
聴講生 …… 49
科目等履修生 …… 52
留学 …… 55
長期履修学生 …… 57

Part 2

【履修】

単位 …… 58
単位と時間数 …… 58
単位の認定 …… 58
卒業資格 …… 58
留年 …… 58
卒業に必要な単位数 …… 59
履修登録 …… 62
履修登録上の原則（GPAを利用した履修登録上限単位数の設定など） …… 62
履修登録方法について …… 64

Part 3

【授業】

授業時間 …… 66
休講及び補講 …… 66
交通機関不通の場合の授業および試験の取り扱い …… 67
授業欠席 …… 67
学外授業 …… 67

Part 4

【試験】

試験 …… 68〜69
　評価方法
　試験日に実施される試験
　追試験
　期間外試験
　再試験
試験における注意事項 …… 70
不正行為 …… 70
交通機関不通の場合の授業および試験の取り扱い …… 71
レポート …… 72

Part 5

【成績】

成績評価 …… 73〜75
　授業科目の成績評価
　成績評価基準
　GPAとは
　GPAの計算方法
　GPAの利用
　履修取消期間
　成績通知表への記載事項
成績発表および保護者宛成績通知 …… 75

Part 6

【免許・資格取得関係】

免許·資格取得について …… 76
教職課程 …… 77
日本語教員養成コース<人文学部> …… 91
日本語教員養成コース<国際キャリア学部 国際キャリア学科> … 93
児童英語教育指導員養成コース<人文学部> …… 95
児童英語教育指導員養成コース<国際キャリア学部 国際英語学科> … 97
人間関係学部子ども発達学科　免許·資格取得 …… 99
認定心理士<人間関係学部 心理学科> …… 113
社会福祉主事任用資格<人間関係学部> …… 116
公認心理師<人間関係学部 心理学科> …… 118

Part 7

【大学事務室について】

事務分掌(業務の分担) …… 120
事務室の開室時間 …… 121

Part 8

【学則および学内関係諸規程】

福岡女学院大学 学則（抜粋） …… 123
福岡女学院大学 科目等履修生に関する規程 …… 133
福岡女学院大学 聴講生および
　特別聴講生に関する規程 …… 134
人間関係学部心理学科 心理実習履修内規 …… 135
子ども発達学科履修内規 …… 136
2019年度以降の入学生用
　子ども発達学科学外実習履修内規 …… 141
特別支援学校教諭免許課程履修内規 …… 144
転部または転科に関する内規 …… 146

2022年度 学年暦

〔前　期〕 ※今後、変更となる可能性もあります。その場合、随時、Mission-Net でお知らせします。

4月			5月			6月		
日	曜	行　事	日	曜	行　事	日	曜	行　事
1	金		1	日		1	水	⑧
2	土	入学式	2	月	④	2	木	⑦
3	日		3	火	憲法記念日	3	金	⑧
4	月	↓新入生オリエンテーション(～9日) 履修確認・修正〈2・3・4年生対象〉	4	水	みどりの日	4	土	
5	火	↓履修登録〈新入生対象〉	5	木	こどもの日	5	日	
6	水	↓履修登録〈新入生対象〉	6	金	④	6	月	⑨
7	木	↓健康診断〈新入生対象〉	7	土		7	火	⑨
8	金	↓履修確認・修正〈新入生対象〉 健康診断〈新入生対象〉	8	日		8	水	⑨
9	土	↓	9	月	⑤	9	木	⑧
10	日		10	火	④	10	金	⑨
11	月	前期授業開始、学生時間割表配信 履修訂正期間(～19日)〈全学生対象〉 ① ↓春のキリスト教特別週間(～15日)	11	水	④	11	土	木曜授業日 ⑨
12	火	↓ ①	12	木	④	12	日	
13	水	↓ ①	13	金	⑤	13	月	⑩
14	木	↓ ①	14	土	火曜授業日 ⑤	14	火	⑩
15	金	↓ ①	15	日		15	水	⑩
16	土		16	月	⑥	16	木	⑩
17	日		17	火	⑥	17	金	⑩
18	月	↓履修登録取消期間(～19日)〈全学生対象〉 ②	18	水	⑤	18	土	
19	火	↓ ②	19	木	⑤	19	日	
20	水	②	20	金	⑥	20	月	⑪
21	木	②	21	土	創立記念日〈休講〉	21	火	⑪
22	金	②	22	日		22	水	⑪
23	土		23	月	⑦	23	木	⑪
24	日		24	火	⑦	24	金	⑪
25	月	③	25	水	⑥	25	土	
26	火	③	26	木	⑥	26	日	
27	水	③	27	金	⑦	27	月	⑫
28	木	③	28	土	水曜授業日 ⑦	28	火	⑫
29	金	昭和の日	29	日		29	水	⑫
30	土	金曜授業日 ③	30	月	⑧	30	木	⑫
			31	火	⑧			

前期授業回数：15回
在学生オリエンテーション：3 /28 ～

【国際交流課】
交換・認定留学説明会(2023年度派遣)
:5月21日(土)午後

7月			8月			9月		
日	曜	行　事	日	曜	行　事	日	曜	行　事
1	金	⑫	1	月	夏期修養セミナー(～2日)	1	木	再試験許可者発表〈前期卒業見込者対象〉 再試験時間割発表〈前期卒業見込者対象〉
2	土	授業予備日	2	火	追試験願締切	2	金	再試験手続締切〈前期卒業見込者対象〉
3	日		3	水		3	土	
4	月	⑬	4	木	追試験許可者発表 追試験時間割発表	4	日	
5	火	⑬	5	金	オープンキャンパス準備(仮)	5	月	再試験〈前期卒業見込者対象〉
6	水	⑬	6	土	オープンキャンパス(仮)	6	火	
7	木	⑬	7	日	オープンキャンパス(仮)	7	水	
8	金	⑬	8	月	↓追試	8	木	
9	土	授業予備日	9	火	↓	9	金	
10	日		10	水		10	土	
11	月	⑭	11	木	山の日	11	日	
12	火	⑭	12	金		12	月	前期卒業許可者発表 学生時間割表配信
13	水	⑭	13	土	休業日(～16日)	13	火	後期授業開始 ① 履修訂正期間(～26日まで)
14	木	⑭	14	日		14	水	①
15	金	⑭	15	月		15	木	①
16	土	月曜授業最終日 ⑮	16	火		16	金	①
17	日		17	水		17	土	月曜授業日 ①
18	月	海の日	18	木	↓集中講義(～8月26日)	18	日	
19	火	火曜授業最終日 ⑮	19	金	↓	19	月	敬老の日
20	水	水曜授業最終日 ⑮	20	土	↓	20	火	②
21	木	木曜授業最終日 ⑮	21	日		21	水	②
22	金	金曜授業最終日 ⑮	22	月		22	木	履修登録取消日〈全学生対象〉 ②
23	土		23	火	↓	23	金	秋分の日
24	日		24	水	↓	24	土	
25	月	試験日(月曜日授業科目)	25	木	↓	25	日	
26	火	試験日(火曜日授業科目)	26	金	↓	26	月	履修登録取消日〈全学生対象〉 ②
27	水	試験日(水曜日授業科目)	27	土		27	火	前期卒業式 特別補講日 火曜2・4・5(60分2・5・6)時限
28	木	試験日(木曜日授業科目)	28	日		28	水	③
29	金	試験日(金曜日授業科目)	29	月	後期履修登録修正(～5日) 前期成績発表(成績通知書配信)	29	木	③
30	土		30	火	↓再試験願締切〈前期卒業見込者対象〉 前期成績通知書保証人宛発送	30	金	②
31	日		31	水	↓			

【大学英語教育研究センター】
アチーブメントテスト
:7月11日(月)～7月20日(水)

【短期大学部】
グレープカップコンテスト:9月24日(土)

2022年度 学年暦

〔後　期〕　※今後、変更となる可能性もあります。その場合、随時、Mission-Net でお知らせします。

10　月			11　月			12　月		
日	曜	行　事	日	曜	行　事	日	曜	行　事
1	土	月曜授業日　③	1	火	⑦	1	木	⑪
2	日		2	水	⑧	2	金	⑩
3	月	↓秋のキリスト教特別週間(～7日)　④	3	木	文化の日	3	土	施設訪問
4	火	↓全学修養会(2時限休講)　③	4	金	⑥	4	日	
5	水	↓　④	5	土		5	月	⑫
6	木	↓　④	6	日		6	火	クリスマス礼拝 【4･5(60分5･6)時限休講】　⑫
7	金	↓　③	7	月	⑧	7	水	⑫
8	土		8	火	⑧	8	木	⑫
9	日		9	水	⑨	9	金	⑪
10	月	スポーツの日	10	木	⑧	10	土	
11	火	④	11	金	⑦	11	日	
12	水	⑤	12	土		12	月	⑬
13	木	⑤	13	日		13	火	⑬
14	金	葡萄祭準備〈休講〉	14	月	⑨	14	水	⑬
15	土	葡萄祭〈休講〉	15	火	⑨	15	木	⑬
16	日	葡萄祭〈休講〉	16	水	⑩	16	金	⑫
17	月	⑤	17	木	⑨	17	土	
18	火	⑤	18	金	⑧	18	日	
19	水	⑥	19	土	指定校推薦入試(仮)	19	月	⑭
20	木	⑥	20	日		20	火	授業予備日
21	金	④	21	月	⑩	21	水	⑭
22	土		22	火	⑩	22	木	⑭
23	日		23	水	勤労感謝の日	23	金	年内授業終了　⑬
24	月	⑥	24	木	⑩	24	土	
25	火	⑥	25	金	⑨	25	日	キリスト降誕祭(休業日)
26	水	⑦	26	土	公募推薦入試(仮)	26	月	
27	木	⑦	27	日		27	火	
28	金	⑤	28	月	⑪	28	水	
29	土		29	火	⑪	29	木	休業日(～1月5日)
30	日		30	水	⑪	30	金	
31	月	⑦				31	土	
後期授業回数:15回						【短期大学部】 クラス編成試験１年生:12月3日(土) 英語伸長度測定試験２年生:12月3日(土) 【大学英語教育研究センター】 アチーブメントテスト :12月5日(月)～12月14日(水)		

1　月			2　月			3　月		
日	曜	行　事	日	曜	行　事	日	曜	行　事
1	日	元日	1	水	↓追試験	1	水	
2	月	振替休日	2	木	↓	2	木	後期成績発表(成績通知書配信)
3	火		3	金	↓	3	金	
4	水		4	土		4	土	
5	木		5	日		5	日	
6	金	授業再開　⑭	6	月		6	月	全学年対象後期成績通知書保証人宛発送
7	土	授業予備日	7	火		7	火	
8	日		8	水	卒業年次生対象成績発表(成績通知書配信)	8	水	卒業礼拝
9	月	成人の日	9	木	再試験願締切	9	木	卒業式
10	火	⑭	10	金		10	金	
11	水	特別補講日 共通テスト係対象3･4･5(60分4･5･6)時限授業	11	土	建国記念の日	11	土	
12	木	木曜授業最終日　⑮	12	日		12	日	
13	金	金曜授業最終日　⑮	13	月	再試験許可者発表 再試験時間割発表	13	月	
14	土		14	火	再試験手続締切	14	火	
15	日		15	水	↓再試験	15	水	
16	月	月曜授業最終日　⑮	16	木	↓	16	木	
17	火	火曜授業最終日　⑮	17	金		17	金	
18	水	水曜授業最終日　⑮	18	土		18	土	
19	木	試験日(木曜日授業科目)	19	日		19	日	
20	金	試験日(金曜日授業科目)	20	月		20	月	
21	土		21	火		21	火	春分の日
22	日		22	水		22	水	
23	月	試験日(月曜日授業科目)	23	木	天皇誕生日	23	木	
24	火	試験日(火曜日授業科目)	24	金		24	金	
25	水	試験日(水曜日授業科目)	25	土		25	土	
26	木		26	日		26	日	
27	金	追試試験願締切	27	月		27	月	
28	土		28	火	卒業許可者発表	28	火	在学生新年度オリエンテーション
29	日					29	水	
30	月					30	木	
31	火	追試験許可者発表 追試験時間割発表				31	金	
						2023年度在学生オリエンテーション:3/28～		

Mission-Net（ミッションネット）について

学内ネットワークをMission-Net（ミッションネット）と呼称します。
Mission-Netを利用して、学生の皆さんの学生生活における必要な情報を発信します。

・休講、補講、教室変更情報の閲覧
・授業時間割、学校行事の閲覧
・履修登録、成績確認、シラバス閲覧
・教職履修カルテ
・事務からのお知らせ、呼び出し

Mission-Netは、インターネット環境を利用して、学内・学外から確認することができます。
大学生活において必要な情報、連絡が更新されますので、随時確認してください。

【学外からの利用について】
Mission-Net は学内の PC だけではなく、インターネットに接続していれば自宅の PC やスマートフォン等からも利用できます。

アクセス URL : **https://up.fukujo.ac.jp/uprx/**

「科目ナンバー」について

2019年度カリキュラムより、授業科目にはそれぞれ記号と番号が付されています。この記号と番号には次の意味が含まれています。アルファベット最初の２文字は基盤教育科目と各学科専門科目の区分を表します（下表参照）。次の３文字は学びの分野（各学科により異なります）、４桁の番号は科目のレベルを表し、番号の上２桁目は、履修可能な学年を意味します。

記号	科目区分
Ge	基盤教育科目
Hc	人文学部　現代文化学科専門科目
Ha	人文学部　言語芸術学科専門科目
Hm	人文学部　メディア・コミュニケーション学科専門科目
Rs	人間関係学部　心理学科専門科目
Rk	人間関係学部　子ども発達学科専門科目
Ie	国際キャリア学部　国際英語学科専門科目
Ic	国際キャリア学部　国際キャリア学科専門科目

「授業を通して重点的に修得できる力」について

2019年度カリキュラムより、すべての授業科目において「授業を通して重点的に修得できる力」として４領域（「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」「統合的な学習経験と創造的思考力」）を明確に示すようにしました。◎は主として修得できる力、○は副次的に修得可能な力を意味しています。

「関連DP」について

2019年度カリキュラムより、「関連DP」が記載されています。DP（ディプロマ・ポリシー）とは、「卒業の認定に関する方針（各学科の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針）」のことです。各学科で具体的に項目として定められています（各学科のカリキュラム表の最後に記載）。「関連DP」は各学科で定められたDPがどの科目に関連しているのかを意味しています。

本学では、上記DPに関連して、CP「カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）」、AP「アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）」の3つのポリシーを定め、教育方針としています。CP、APについては、本学ホームページで公表していますのでご覧ください。

Introduction

【教育課程】

人文学部 2019~2022年度入学生

（一） 現代文化学科

（必修32単位、選択必修4単位以上、選択88単位以上、計124単位以上修得のこと）

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験等と創造的思考力	関連 DP	備考
必修科目		【基盤教育科目　基礎必修科目群】									
	Ge BSC 0101	福岡女学院学	1	2		◎				HcDP3	
	Ge BSC 0201	キリスト教の歴史	2	2		◎				HcDP3	
	Ge BSC 0301	キリスト教人間学	3	2		◎				HcDP3	
	Ge BSC 0102	First-year English A I	1	2			◎			HcDP1	18 単位必修
	Ge BSC 0105	First-year English A II	1	2			◎			HcDP1	
	Ge BSC 0103	First-year English B I	1	2			◎			HcDP1	
	Ge BSC 0106	First-year English B II	1	2			◎			HcDP1	
	Ge BSC 0104	情報リテラシー	1	2		◎	○	○		HcDP2	
	Ge BSC 0107	女性のキャリア形成 I	1	2		◎	○			HcDP2, HcDP3	
		【総合演習】									
	Hc BSC 0101	スタディスキル	1	2		◎	○			HcDP1, HcDP2	
	Hc BSC 0201	アカデミックリテラシー	2	2		◎	○			HcDP1, HcDP2	
	Hc BSC 0202	現代文化基礎演習	2	2		◎			○	HcDP1, HcDP2	14 単位必修
	Hc BSC 0301	現代文化演習 I	3	2		◎			○	HcDP1, HcDP2	
	Hc BSC 0302	現代文化演習 II	3	2		◎			○	HcDP1, HcDP2	
	Hc BSC 0401	卒業研究 I	4	2		○			◎	HcDP1, HcDP2	
	Hc BSC 0402	卒業研究 II	4	2		○			◎	HcDP1, HcDP2	
選択必修科目		【専門教育科目】									
	Hc TCL 0101	観光文化論入門	1		2	◎				HcDP1	4 単位以上選択必修
	Hc ICL 0101	交流文化論入門	1		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0101	日本文化論入門	1		2	◎				HcDP1	
選択科目		【基盤教育科目　言語科目群】									選択科目は計88単位以上の履修とし、専門教育科目から44単位以上、残りは基盤教育科目、専門教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目（12単位が上限）から修得すること。
	Ge LNG 0101	◇ Test Preparation	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0201	◇ Speaking Skills A	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0208	◇ Speaking Skills B	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0202	◇ Reading Skills A	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0209	◇ Reading Skills B	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0203	◇ Listening Skills	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0210	◇ Writing Skills	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0301	◇ Academic Reading A	3		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0302	◇ Academic Reading B	3		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0102	中国語 I	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge LNG 0106	中国語 II	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge LNG 0204	中国語 III	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0211	中国語 IV	2		2	○	◎			HcDP1	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ge LNG 0103	韓国語 I	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge LNG 0107	韓国語II	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge LNG 0205	韓国語III	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0212	韓国語IV	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0104	フランス語 I	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge LNG 0108	フランス語II	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge LNG 0206	フランス語III	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0213	フランス語IV	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0105	実用の日本語 I	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0207	実用の日本語II	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge LNG 0214	実用の日本語III	2		2	○	◎			HcDP1	
		【基盤教育科目　総合科目群】									
	Ge GEN 0101	哲学・倫理学入門	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge GEN 0102	日本国憲法	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge GEN 0114	社会学入門	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge GEN 0115	経済学入門(国際経済を含む)	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge GEN 0103	ジェンダー・スタディ A	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge GEN 0116	ジェンダー・スタディ B	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge GEN 0117	歴史学入門	1		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0118	統計学入門	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge GEN 0104	基礎数学	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge GEN 0105	生命科学入門	1		2	◎		○		HcDP1	
	Ge GEN 0106	環境科学入門	1		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0201	日本史	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0202	世界史	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0203	政治学入門(国際政治を含む)	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0212	法学入門（国際法含む）	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0204	文化人類学入門	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0205	多文化共生論	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0304	国際関係論	3		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0301	NGO・NPO 入門	3		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0107	PC 演習A（ワード）	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge GEN 0108	PC 演習B（エクセル）	1		2	○	◎	○		HcDP1	
	Ge GEN 0109	PC 演習C（応用）	1		2	○	◎	○		HcDP1	
	Ge GEN 0213	女性のキャリア形成II	2		2	◎	○			HcDP2, HcDP3	
	Ge GEN 0302	女性のキャリア形成III	3		2	◎	○			HcDP2, HcDP3	
	Ge GEN 0206	インターンシップ	2		2		◎	○		HcDP2, HcDP3	
	Ge GEN 0110	人間形成と教育	1		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0207	教育原論	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0214	教育経営論	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0215	教育心理学	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0208	人権教育の理論と指導法	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0216	障害児教育の理論と指導法	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0209	比較教育 A（日本と欧米）	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0217	比較教育B（日本とアジア）	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0218	児童文学（英語）	2		2	◎				HcDP1	
	Ge GEN 0111	健康・スポーツ科学理論	1		2	○				HcDP1	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ge GEN 0112	健康・スポーツ科学実習A	1		1	○		◎		HcDP3	
	Ge GEN 0119	健康・スポーツ科学実習B	1		1	○		◎		HcDP3	
	Ge GEN 0210	◇スポーツ実習	2		1	○		◎		HcDP3	
	Ge GEN 0303	総合教養ゼミA	3		2	○	◎			HcDP2	
	Ge GEN 0305	総合教養ゼミB	3		2	○	◎			HcDP2	
	Ge GEN 0120	手話演習	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge GEN 0121	異文化へのアプローチA(欧米)	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge GEN 0113	異文化へのアプローチB(アジア)	1		2	◎	○			HcDP1	
	Ge GEN 0211	フィールドワーク(いのちと水)	2		2	○		◎		HcDP3	
	Ge GEN 0219	フィールドワーク(いのちと土)	2		2	○		◎		HcDP3	
		【基盤教育科目　目的別科目群】 **児童英語教育指導員**									
	Ge EYL 0303	キッズコミュニケーション	3		2		◎		○	HcDP1	
	Ge EYL 0201	児童英語教育法	2		2		◎		○	HcDP1, HcDP2	
	Ge EYL 0301	児童英語指導法演習 I	3		2		◎		○	HcDP1, HcDP2	
	Ge EYL 0304	児童英語指導法演習II	3		2		◎		○	HcDP1, HcDP2	
	Ge EYL 0302	児童英語フィールドワーク I	3		2		◎		○	HcDP1, HcDP2	
	Ge EYL 0305	児童英語フィールドワークII	3		2		◎		○	HcDP1, HcDP2	
		【基盤教育科目　目的別科目群】 **日本語教員**									
	Ge TJL 0203	児童日本語教育法	2		2	◎	○	○		HcDP1	
	Ge TJL 0201	日本語教育概論 I	2		2	◎	○	○		HcDP1	
	Ge TJL 0204	日本語教育概論II	2		2	◎	○	○		HcDP1	
	Ge TJL 0301	日本語教材研究 I	3		2	○	◎		○	HcDP1	
	Ge TJL 0302	日本語教材研究II	3		2	○	◎		○	HcDP1	
	Ge TJL 0401	日本語教授法演習 I	4		2	○	◎	○	○	HcDP1	
	Ge TJL 0402	日本語教授法演習II	4		2	○	◎	○	○	HcDP1	
	Ge TJL 0202	日本語教育実習フィールドワーク	2		2	○	◎	○	○	HcDP1	
		【基盤教育科目　日本語科目群】 **非日本語母語話者対象**									
	Ge JSL 0101	日本語の作文（上級） I	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge JSL 0105	日本語の作文（上級） II	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge JSL 0102	日本語の読解（上級） I	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge JSL 0106	日本語の読解（上級） II	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge JSL 0103	日本語の会話（上級） I	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge JSL 0107	日本語の会話（上級） II	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge JSL 0104	日本語の聴解（上級） I	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge JSL 0108	日本語の聴解（上級） II	1		2	○	◎			HcDP1	
	Ge JSL 0201	専門日本語 I	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge JSL 0203	専門日本語II	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge JSL 0202	日本語の表現技術 I	2		2	○	◎			HcDP1	
	Ge JSL 0204	日本語の表現技術II	2		2	○	◎			HcDP1	
		【専門教育科目】									
	Hc BSC 0102	プロジェクト演習 I	1		2		◎	○		HcDP2, HcDP3	
	Hc BSC 0103	プロジェクト演習II	1		2		◎	○		HcDP2, HcDP3	
	Hc BSC 0203	プロジェクト演習III	2		2		◎	○		HcDP2, HcDP3	
	Hc TCL 0102	観光文化論A（観光社会学）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0201	観光文化論B(観光まちづくり論)	2		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0202	観光文化論C（文化遺産論）	2		2	◎				HcDP1	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験等と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Hc TCL 0103	観光文化論D（文化政策論）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0203	観光文化論E（観光のまなざし）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0204	観光文化論F（観光マネジメント論）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0205	観光文化論G（観光産業論）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0104	観光文化論H（航空産業論）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0105	観光文化論Ⅰ（マーケティング）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0106	国内観光地理基礎	1		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0107	国際観光地理基礎	1		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0206	国内観光地理研究	2		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0207	国際観光地理研究	2		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0108	観光の英語AⅠ（旅行者英語）	1		2	◎	○			HcDP1	
	Hc TCL 0208	観光の英語AⅡ（旅行者英語）	2		2	○	◎			HcDP1	
	Hc TCL 0109	観光の英語BⅠ（実務者英語）	1		2	◎	○			HcDP1	
	Hc TCL 0209	観光の英語BⅡ（実務者英語）	2		2	○	◎			HcDP1	
	Hc TCL 0210	観光の韓国語（旅行者韓国語）	2		2	◎	○			HcDP1	
	Hc TCL 0110	旅行業務研究A	1		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0111	旅行業務研究B	1		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0211	旅行業務研究C	2		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0212	旅行業務研究D	2		2	◎				HcDP1	
	Hc TCL 0112	航空実務研究A	1		2		○	◎		HcDP3	
	Hc TCL 0113	航空実務研究B	1		2		○	◎		HcDP3	
	Hc ICL 0102	交流文化論（アジアA）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0103	交流文化論（アジアB）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0104	交流文化論（ヨーロッパA）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0105	交流文化論（ヨーロッパB）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0106	交流文化論（イギリス）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0107	交流文化論（地中海）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0108	交流文化論（アメリカ）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0201	文化のダイナミクスA	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0202	文化のダイナミクスB	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0203	比較文化論A（日本とアジア）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0204	比較文化論B（日本とヨーロッパ）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0205	比較文化論C（日本とアメリカ）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0206	比較文化論D（アジアとヨーロッパ）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0207	比較文化論E（芸術）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0208	比較文化論F（映画）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0209	比較文学論	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0210	中国文学	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0211	イギリス文学の変遷Ⅰ	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0212	イギリス文学の変遷Ⅱ	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0213	アメリカ文学の変遷	2		2	◎				HcDP1	
	Hc ICL 0301	イギリス文学Ⅰ	3		2	◎		○		HcDP1	
	Hc ICL 0302	イギリス文学Ⅱ	3		2	◎		○		HcDP1	
	Hc ICL 0303	アメリカ文学	3		2	◎		○		HcDP1	
	Hc JCL 0201	旅の日本史	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0202	女性の日本史	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0203	日本文化論A（思想）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0204	日本文化論B（伝統文化論）	2		2	◎				HcDP1	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験等と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Hc JCL 0102	日本文化論C（現代社会論）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0205	日本文化論D（外国から見た日本）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0103	日本文化論E（華道技法）	1		2	◎				HcDP1, HcDP2	
	Hc JCL 0104	書道文化（技法）	1		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0301	書道文化史	3		4	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0105	言語学概論	1		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0206	日本語学概論Ⅰ	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0207	日本語学概論Ⅱ	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0208	対照言語学	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0209	日本語史	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0210	日本語の構造	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0211	日本語の語彙・意味	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0212	日本語表現技法A（文章）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0213	日本語表現技法B（音声）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0106	日本文学の発生	1		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0107	日本文学の変遷	1		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0108	現代文学論	1		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0214	日本の文学（古典AⅠ）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0215	日本の文学（古典AⅡ）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0216	日本の文学（古典BⅠ）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0217	日本の文学（古典BⅡ）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0218	日本の文学（近現代Ⅰ）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0219	日本の文学（近現代Ⅱ）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0220	日本の文学（特講A）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0221	日本の文学（特講B）	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0222	漢文学Ⅰ	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0223	漢文学Ⅱ	2		2	◎				HcDP1	
	Hc JCL 0302	漢文学Ⅲ	3		2	◎				HcDP1	
	Hc BSC 0104	ワークショップ現代文化A	1		2	◎				HcDP1, HcDP2	
	Hc BSC 0105	ワークショップ現代文化B	1		2	◎				HcDP1, HcDP2	
	Hc BSC 0106	ワークショップ現代文化C	1		2	◎				HcDP1, HcDP2	
	Hc BSC 0107	ワークショップ現代文化D	1		2	◎				HcDP1, HcDP2	
	Hc TCL 0114	エアライン研修	1		2			◎		HcDP3	
	Hc TCL 0115	空港研修	1		2			◎		HcDP3	
	Hc TCL 0116	ホテル研修	1		2			◎		HcDP3	
	Hc BSC 0108	フィールドワーク現代文化（日本）	1		2	◎				HcDP1, HcDP3	
	Hc BSC 0109	フィールドワーク現代文化（アジアA）	1		2	◎				HcDP1, HcDP3	
	Hc BSC 0110	フィールドワーク現代文化（アジアB）	1		2	◎				HcDP1, HcDP3	
	Hc BSC 0111	フィールドワーク現代文化（欧米A）	1		2	◎				HcDP1, HcDP3	
	Hc BSC 0112	フィールドワーク現代文化（欧米B）	1		2	◎				HcDP1, HcDP3	
自由科目	Hc TTC 0204	教師論	2		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0205	特別支援教育	2		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0201	教育課程論	2		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0202	国語科教育法Ⅰ	2		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	
	Hc TTC 0206	国語科教育法Ⅱ	2		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	
	Hc TTC 0301	国語科教育法Ⅲ	3		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	
	Hc TTC 0303	国語科教育法Ⅳ	3		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験等と創造的思考力	関連 DP	備考
自由科目	Hc TTC 0304	道徳教育の理論と指導法	3		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0203	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0207	教育方法論	2		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0302	生徒・進路指導論（キャリア教育の理論及び方法を含む）	3		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0305	教育相談	3		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0306	教育実習 I	3-4		1	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0401	教育実習 II A	4		4	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0402	教育実習 II B	4		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0403	教職実践演習（中・高）	4		2	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設
	Hc TTC 0208	学校インターンシップ	2		1	◎	○	○		HcDP1, HcDP3	共通開設

◇＝リピート履修可能科目

ディプロマ・ポリシー（DP）：卒業の認定に関する方針	
人文学部現代文化学科は、以下の学位授与方針に基づき、その基準に達したものに学位を授与する。	
HcDP1	知識・技能 観光文化分野、交流文化分野、日本文化分野の専門的授業において、日本を含めた多様な国・地域の言語・歴史を習得し、価値観を知り、文化に関する深い理解を身につけている。
HcDP2	思考力・判断力・表現力 世界及び日本の文化を見直し、その共通性と相違性の双方を認識して、適切な思考・判断ができる。
HcDP3	意欲・態度 外国のみならず自国の文化を深く理解する立場から、地域を知り、異なる文化間の橋渡しをしようとする姿勢・態度を身につけている。

（二） 言語芸術学科

（イ） 言語芸術コース

（必修58単位、選択必修8単位以上、選択58単位以上、計124単位以上修得のこと）

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験等と創造的思考力	関連 DP	備考
必修科目		**【基盤教育科目　基礎必修科目群】**									
	Ge BSC 0101	福岡女学院学	1	2		◎				HaDP1	18 単位必修
	Ge BSC 0201	キリスト教の歴史	2	2		◎				HaDP1	
	Ge BSC 0301	キリスト教人間学	3	2		◎				HaDP1	
	Ge BSC 0102	First-year English A I	1	2			◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge BSC 0105	First-year English A II	1	2			◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge BSC 0103	First-year English B I	1	2			◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge BSC 0106	First-year English B II	1	2			◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge BSC 0104	情報リテラシー	1	2		◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge BSC 0107	女性のキャリア形成 I	1	2		◎	○			HaDP1, HaDP2	
		【専門教育科目】									
	Ha BSC 0104	百読百鑑 I	1	1		◎				HaDP1	30 単位必修
	Ha JPN 0101	日本語トレーニング I	1	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha JPN 0102	日本語トレーニング II	1	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0101	英語トレーニング I	1	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0103	英語トレーニング II	1	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0102	英語発音スキル I	1	2		○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0104	英語発音スキル II	1	2		○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0101	シンキングゲーム I	1	2			◎		○	HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0105	シンキングゲーム II	1	2			◎		○	HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0202	百読百鑑 II	2	1		◎				HaDP1	
	Ha JPN 0201	日本語トレーニングIII	2	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha JPN 0207	日本語トレーニングIV	2	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0201	英語ボキャブラリー I	2	2		◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0210	英語ボキャブラリー II	2	2		◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0201	テーマ・シンキング	2	2		○		○	◎	HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0302	百読百鑑 III	3	1		◎				HaDP1	
	Ha BSC 0402	百読百鑑 IV	4	1		◎				HaDP1	
		【総合演習】									
	Ha BSC 0203	言語芸術基礎演習	2	2		○			◎	HaDP1, HaDP2	10 単位必修
	Ha BSC 0301	言語芸術演習 I	3	2		○			◎	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha BSC 0303	言語芸術演習 II	3	2		○			◎	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha BSC 0401	卒業研究 I	4	2		○			◎	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha BSC 0403	卒業研究 II	4	2		○			◎	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
選択必修科目		**【専門教育科目】**									
	Ha JPN 0103	国内フィールドワーク（理論） I	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	8単位以上
	Ha JPN 0202	国内フィールドワーク（理論） II	2		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha JPN 0206	国内フィールドワーク（実践）	2		4	◎	○	○		HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha ENG 0211	海外フィールドワーク（理論） I	2		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0301	海外フィールドワーク（理論） II	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0304	海外フィールドワーク（実践）	3		4	◎	○	○		HaDP1, HaDP2, HaDP3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験等と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目		**【基盤教育科目　言語科目群】**									選択科目は計58単位以上の履修とし、専門教育科目から32単位以上、残りは基盤教育科目、専門教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目（12単位が上限）から修得すること。
	Ge LNG 0101	◇ Test Preparation	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0201	◇ Speaking Skills A	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0208	◇ Speaking Skills B	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0202	◇ Reading Skills A	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0209	◇ Reading Skills B	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0203	◇ Listening Skills	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0210	◇ Writing Skills	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0301	◇ Academic Reading A	3		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0302	◇ Academic Reading B	3		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0102	中国語 I	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0106	中国語 II	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0204	中国語 III	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0211	中国語 IV	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0103	韓国語 I	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0107	韓国語 II	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0205	韓国語 III	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0212	韓国語 IV	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0104	フランス語 I	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0108	フランス語 II	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0206	フランス語 III	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0213	フランス語 IV	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0105	実用の日本語 I	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0207	実用の日本語 II	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0214	実用の日本語 III	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
科目		**【基盤教育科目　総合科目群】**									
	Ge GEN 0101	哲学・倫理学入門	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0102	日本国憲法	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0114	社会学入門	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0115	経済学入門（国際経済を含む）	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0103	ジェンダー・スタディ A	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0116	ジェンダー・スタディ B	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0117	歴史学入門	1		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0118	統計学入門	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0104	基礎数学	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0105	生命科学入門	1		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0106	環境科学入門	1		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0201	日本史	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0202	世界史	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0203	政治学入門（国際政治を含む）	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0212	法学入門（国際法含む）	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0204	文化人類学入門	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0205	多文化共生論	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0304	国際関係論	3		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0301	NGO・NPO 入門	3		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0107	PC 演習A（ワード）	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0108	PC 演習B（エクセル）	1		2	○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0109	PC 演習C（応用）	1		2	○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0213	女性のキャリア形成 II	2		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0302	女性のキャリア形成 III	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0206	インターンシップ	2		2		◎	○		HaDP1, HaDP2, HaDP3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験等と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ge GEN 0110	人間形成と教育	1		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0207	教育原論	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0214	教育経営論	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0215	教育心理学	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0208	人権教育の理論と指導法	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0216	障害児教育の理論と指導法	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0209	比較教育 A（日本と欧米）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0217	比較教育B（日本とアジア）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0218	児童文学（英語）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0111	健康・スポーツ科学理論	1		2	○				HaDP1	
	Ge GEN 0112	健康・スポーツ科学実習A	1		1	○		◎		HaDP3	
	Ge GEN 0119	健康・スポーツ科学実習B	1		1	○		◎		HaDP3	
	Ge GEN 0210	◇スポーツ実習	2		1	○		◎		HaDP3	
	Ge GEN 0303	総合教養ゼミA	3		2	○	◎			HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0305	総合教養ゼミB	3		2	○	◎			HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0120	手話演習	1		2	○	◎			HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0121	異文化へのアプローチA（欧米）	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0113	異文化へのアプローチB（アジア）	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0211	フィールドワーク（いのちと水）	2		2	○		◎		HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0219	フィールドワーク（いのちと土）	2		2	○		◎		HaDP2, HaDP3	
科目		**【基盤教育科目　目的別科目群】** **児童英語教育指導員**									
	Ge EYL 0303	キッズコミュニケーション	3		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	
	Ge EYL 0201	児童英語教育法	2		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	
	Ge EYL 0301	児童英語指導法演習 I	3		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	
	Ge EYL 0304	児童英語指導法演習 II	3		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	
	Ge EYL 0302	児童英語フィールドワーク I	3		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	
	Ge EYL 0305	児童英語フィールドワーク II	3		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	
		【基盤教育科目　目的別科目群】 **日本語教員**									
	Ge TJL 0203	児童日本語教育法	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0201	日本語教育概論 I	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0204	日本語教育概論 II	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0301	日本語教材研究 I	3		2	○	◎		○	HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0302	日本語教材研究 II	3		2	○	◎		○	HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0401	日本語教授法演習 I	4		2	○	◎	○	○	HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0402	日本語教授法演習 II	4		2	○	◎	○	○	HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0202	日本語教育実習フィールドワーク	2		2	○	◎	○	○	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
		【基盤教育科目　日本語科目群】 **非日本語母語話者対象**									
	Ge JSL 0101	日本語の作文（上級） I	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0105	日本語の作文（上級） II	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0102	日本語の読解（上級） I	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0106	日本語の読解（上級） II	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0103	日本語の会話（上級） I	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0107	日本語の会話（上級） II	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0104	日本語の聴解（上級） I	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0108	日本語の聴解（上級） II	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0201	専門日本語 I	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0203	専門日本語 II	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0202	日本語の表現技術 I	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0204	日本語の表現技術 II	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験等と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目		**【専門教育科目】**									
	Ha ENG 0105	異文化コミュニケーション	1		2	◎	○	○	○	HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0301	NPO 入門	3		2		◎		○	HaDP1, HaDP3	
	Ha PFA 0304	アートマネージメント	3		2		◎		○	HaDP1, HaDP3	
	Ha ENG 0202	初級英語音声学	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0203	英文法 I	2		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0212	英文法 II	2		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0213	英語学概論	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0204	イギリス文学の変遷 I	2		2	◎				HaDP1	
	Ha ENG 0214	イギリス文学の変遷 II	2		2	◎				HaDP1	
	Ha ENG 0205	アメリカ文学の変遷	2		2	◎				HaDP1	
	Ha JPN 0203	ポップカルチャー A（国内）	2		2	◎	○			HaDP1	
	Ha ENG 0215	ポップカルチャー B（海外）	2		2	◎	○			HaDP1	
	Ha PFA 0101	映画研究 A（国内）	1		2	◎				HaDP1	
	Ha PFA 0104	映画研究 B（海外）	1		2	◎				HaDP1	
	Ha JPN 0204	日本文学 I	2		2	◎				HaDP1	
	Ha JPN 0208	日本文学 II	2		2	◎				HaDP1	
	Ha ENG 0106	児童文学 A（小説・物語）	1		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0206	児童文学 B（戯曲）	2		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0107	児童文学 C（詩歌）	1		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0302	イギリス文学 I	3		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0305	イギリス文学 II	3		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0306	アメリカ文学	3		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0105	映画と社会	1		2	◎				HaDP1	
	Ha PFA 0201	映画と児童文学	2		2	◎		○		HaDP1	
	Ha JPN 0209	日本語表現 A（小説・物語）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha JPN 0205	日本語表現 B（戯曲）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha JPN 0104	日本語表現 C（詩歌）	1		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0216	英語表現 A（小説）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0217	英語表現 B（戯曲）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0207	英語表現 C（詩歌）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0208	児童文学の諸相 A(ファンタジー)	2		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0218	児童文学の諸相 B(アドベンチャー)	2		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0219	児童文学の諸相 C(ミステリー)	2		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0220	児童文学の諸相 D（童話）	2		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0209	英語文学・文化	2		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0304	宗教と文化	3		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0302	批評 A（演劇）	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0305	批評 B（映画）	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0102	身体表現ワークショップ	1		2		◎		○	HaDP2	
	Ha PFA 0202	ヴォイストレーニング	2		2		◎			HaDP2	
	Ha PFA 0203	舞台芸術 A（音響・照明）	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0204	舞台芸術 B（衣装・メイク）	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0103	◇舞台制作 I	1		2		◎	○	○	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha PFA 0106	◇舞台制作 II	1		2		◎	○	○	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha PFA 0303	◇プロダクション・マネージメント I	3		2		◎		○	HaDP1, HaDP3	
	Ha PFA 0306	◇プロダクション・マネージメント II	3		2		◎		○	HaDP1, HaDP3	
	Ha ENG 0303	日英翻訳・製本（児童文学） I	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha ENG 0307	日英翻訳・製本（児童文学） II	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha BSC 0102	言語芸術ワークショップ A	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	
	Ha BSC 0106	言語芸術ワークショップ B	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	
	Ha BSC 0107	言語芸術ワークショップ C	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	
	Ha BSC 0108	言語芸術フィールドワーク A	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	
	Ha BSC 0103	言語芸術フィールドワーク B	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	
	Ha BSC 0109	言語芸術フィールドワーク C	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	

◇＝リピート履修可能科目

（ロ）　英語教職コース

（必修88単位、選択必修8単位以上、選択28単位以上、計124単位以上修得のこと）

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験等と創造的思考力	関連 DP	備考
必修科目		**【基盤教育科目　基礎必修科目群】**									
	Ge BSC 0101	福岡女学院学	1	2		◎				HaDP1	18 単位必修
	Ge BSC 0201	キリスト教の歴史	2	2		◎				HaDP1	
	Ge BSC 0301	キリスト教人間学	3	2		◎				HaDP1	
	Ge BSC 0102	First-year English A I	1	2			◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge BSC 0105	First-year English A II	1	2			◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge BSC 0103	First-year English B I	1	2			◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge BSC 0106	First-year English B II	1	2			◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge BSC 0104	情報リテラシー	1	2		◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge BSC 0107	女性のキャリア形成 I	1	2		◎	○			HaDP1, HaDP2	
		【専門教育科目】									
	Ha BSC 0104	百読百鑑 I	1	1		◎				HaDP1	30 単位必修
	Ha JPN 0101	日本語トレーニング I	1	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha JPN 0102	日本語トレーニング II	1	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0101	英語トレーニング I	1	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0103	英語トレーニング II	1	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0102	英語発音スキル I	1	2		○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0104	英語発音スキル II	1	2		○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0101	シンキングゲーム I	1	2			◎		○	HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0105	シンキングゲーム II	1	2			◎		○	HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0202	百読百鑑 II	2	1		◎				HaDP1	
	Ha JPN 0201	日本語トレーニングⅢ	2	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha JPN 0207	日本語トレーニングⅣ	2	2		○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0201	英語ボキャブラリー I	2	2		◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0210	英語ボキャブラリー II	2	2		◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0201	テーマ・シンキング	2	2		○		○	◎	HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0302	百読百鑑 III	3	1		◎				HaDP1	
	Ha BSC 0402	百読百鑑 IV	4	1		◎				HaDP1	
		【英語教職科目】									
	Ha ENG 0202	初級英語音声学	2	2		◎				HaDP1, HaDP2	30 単位必修
	Ha ENG 0203	英文法 I	2	2		◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0212	英文法 II	2	2		◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0213	英語学概論	2	2		◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0204	イギリス文学の変遷 I	2	2		◎				HaDP1	
	Ha ENG 0214	イギリス文学の変遷 II	2	2		◎				HaDP1	
	Ha ENG 0205	アメリカ文学の変遷	2	2		◎				HaDP1	
	Ha ENG 0215	ポップカルチャー B（海外）	2	2		◎	○			HaDP1	
	Ha ENG 0302	イギリス文学 I	3	2		◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0305	イギリス文学 II	3	2		◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0306	アメリカ文学	3	2		◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0216	英語表現 A（小説）	2	2		◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0217	英語表現 B（戯曲）	2	2		◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0207	英語表現 C（詩歌）	2	2		◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0209	英語文学・文化	2	2		◎		○		HaDP1, HaDP2	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
必修科目		**【総合演習】**									10 単位必修
	Ha BSC 0203	言語芸術基礎演習	2	2		○			◎	HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0301	言語芸術演習 I	3	2		○			◎	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha BSC 0303	言語芸術演習 II	3	2		○			◎	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha BSC 0401	卒業研究 I	4	2		○			◎	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha BSC 0403	卒業研究 II	4	2		○			◎	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
選択必修科目		**【専門教育科目】**									8単位以上
	Ha JPN 0103	国内フィールドワーク（理論）I	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha JPN 0202	国内フィールドワーク（理論）II	2		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha JPN 0206	国内フィールドワーク（実践）	2		4	◎	○	○		HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha ENG 0211	海外フィールドワーク（理論）I	2		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0301	海外フィールドワーク（理論）II	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0304	海外フィールドワーク（実践）	3		4	◎	○	○		HaDP1, HaDP2, HaDP3	
選択科目		**【基盤教育科目　言語科目群】**									選択科目は基盤教育科目、専門教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目（12単位が上限）から28単位以上修得すること。
	Ge LNG 0101	◇ Test Preparation	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0201	◇ Speaking Skills A	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0208	◇ Speaking Skills B	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0202	◇ Reading Skills A	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0209	◇ Reading Skills B	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0203	◇ Listening Skills	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0210	◇ Writing Skills	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0301	◇ Academic Reading A	3		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0302	◇ Academic Reading B	3		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0102	中国語 I	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0106	中国語 II	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0204	中国語 III	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0211	中国語 IV	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0103	韓国語 I	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0107	韓国語 II	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0205	韓国語 III	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0212	韓国語 IV	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0104	フランス語 I	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0108	フランス語 II	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0206	フランス語 III	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0213	フランス語 IV	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0105	実用の日本語 I	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0207	実用の日本語 II	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge LNG 0214	実用の日本語 III	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
		【基盤教育科目　総合科目群】									
	Ge GEN 0101	哲学・倫理学入門	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0102	日本国憲法	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0114	社会学入門	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0115	経済学入門(国際経済を含む)	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0103	ジェンダー・スタディ A	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0116	ジェンダー・スタディ B	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0117	歴史学入門	1		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0118	統計学入門	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ge GEN 0104	基礎数学	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0105	生命科学入門	1		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0106	環境科学入門	1		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0201	日本史	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0202	世界史	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0203	政治学入門(国際政治を含む)	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0212	法学入門（国際法含む）	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0204	文化人類学入門	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0205	多文化共生論	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0304	国際関係論	3		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0301	NGO・NPO 入門	3		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0107	PC 演習A（ワード）	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0108	PC 演習B（エクセル）	1		2	○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0109	PC 演習C（応用）	1		2	○	◎	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0213	女性のキャリア形成 II	2		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0302	女性のキャリア形成 III	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0206	インターンシップ	2		2		◎	○		HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0110	人間形成と教育	1		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0207	教育原論	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0214	教育経営論	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0215	教育心理学	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0208	人権教育の理論と指導法	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0216	障害児教育の理論と指導法	2		2	◎				HaDP1	
	Ge GEN 0209	比較教育 A（日本と欧米）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0217	比較教育B（日本とアジア）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0218	児童文学（英語）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ge GEN 0111	健康・スポーツ科学理論	1		2	○				HaDP1	
	Ge GEN 0112	健康・スポーツ科学実習A	1		1	○		◎		HaDP3	
	Ge GEN 0119	健康・スポーツ科学実習B	1		1	○		◎		HaDP3	
	Ge GEN 0210	◇スポーツ実習	2		1	○		◎		HaDP3	
	Ge GEN 0303	総合教養ゼミA	3		2	○	◎			HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0305	総合教養ゼミB	3		2	○	◎			HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0120	手話演習	1		2	○	◎			HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0121	異文化へのアプローチA(欧米)	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0113	異文化へのアプローチB(アジア)	1		2	◎	○			HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0211	フィールドワーク(いのちと水)	2		2	○		◎		HaDP2, HaDP3	
	Ge GEN 0219	フィールドワーク(いのちと土)	2		2	○		◎		HaDP2, HaDP3	
		【基盤教育科目　目的別科目群】									
		児童英語教育指導員									
	Ge EYL 0303	キッズコミュニケーション	3		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	
	Ge EYL 0201	児童英語教育法	2		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	
	Ge EYL 0301	児童英語指導法演習 I	3		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	
	Ge EYL 0304	児童英語指導法演習 II	3		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	
	Ge EYL 0302	児童英語フィールドワーク I	3		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	
	Ge EYL 0305	児童英語フィールドワーク II	3		2		◎		○	HaDP2, HaDP3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目		**【基盤教育科目　目的別科目群】** **日本語教員**									
	Ge TJL 0203	児童日本語教育法	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0201	日本語教育概論 I	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0204	日本語教育概論 II	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0301	日本語教材研究 I	3		2	○	◎		○	HaDP1, HaDP3	
	Ge TJL 0302	日本語教材研究 II	3		2	○	◎		○	HaDP1, HaDP3	
	Ge TJL 0401	日本語教授法演習 I	4		2	○	◎	○	○	HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0402	日本語教授法演習 II	4		2	○	◎	○	○	HaDP1, HaDP2	
	Ge TJL 0202	日本語教育実習フィールドワーク	2		2	○	◎	○	○	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
		【基盤教育科目　日本語科目群】 **非日本語母語話者対象**									
	Ge JSL 0101	日本語の作文（上級）I	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0105	日本語の作文（上級）II	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0102	日本語の読解（上級）I	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0106	日本語の読解（上級）II	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0103	日本語の会話（上級）I	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0107	日本語の会話（上級）II	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0104	日本語の聴解（上級）I	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0108	日本語の聴解（上級）II	1		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0201	専門日本語 I	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0203	専門日本語 II	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0202	日本語の表現技術 I	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ge JSL 0204	日本語の表現技術 II	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
		【専門教育科目】									
	Ha ENG 0105	異文化コミュニケーション	1		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0301	NPO 入門	3		2		◎		○	HaDP1, HaDP3	
	Ha PFA 0304	アートマネージメント	3		2		◎		○	HaDP1, HaDP3	
	Ha JPN 0203	ポップカルチャー A（国内）	2		2	◎	○			HaDP1	
	Ha PFA 0101	映画研究 A（国内）	1		2	◎				HaDP1	
	Ha PFA 0104	映画研究 B（海外）	1		2	◎				HaDP1	
	Ha JPN 0204	日本文学 I	2		2	◎				HaDP1	
	Ha JPN 0208	日本文学 II	2		2	◎				HaDP1	
	Ha ENG 0106	児童文学 A（小説・物語）	1		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0206	児童文学 B（戯曲）	2		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0107	児童文学 C（詩歌）	1		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0105	映画と社会	1		2	◎				HaDP1	
	Ha PFA 0201	映画と児童文学	2		2	◎		○		HaDP1	
	Ha JPN 0209	日本語表現 A（小説・物語）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha JPN 0205	日本語表現 B（戯曲）	2		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha JPN 0104	日本語表現 C（詩歌）	1		2	◎				HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0208	児童文学の諸相 A(ファンタジー)	2		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0218	児童文学の諸相 B(アドベンチャー)	2		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0219	児童文学の諸相 C(ミステリー)	2		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha ENG 0220	児童文学の諸相 D（童話）	2		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha BSC 0304	宗教と文化	3		2	◎		○		HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0302	批評 A（演劇）	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0305	批評 B（映画）	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0102	身体表現ワークショップ	1		2		◎		○	HaDP2	
	Ha PFA 0202	ヴォイストレーニング	2		2		◎			HaDP2	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ha PFA 0203	舞台芸術 A（音響・照明）	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0204	舞台芸術 B（衣装・メイク）	2		2	○	◎			HaDP1, HaDP2	
	Ha PFA 0103	◇舞台制作 I	1		2		◎	○	○	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha PFA 0106	◇舞台制作 II	1		2		◎	○	○	HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha PFA 0303	◇プロダクション・マネージメント I	3		2		◎		○	HaDP1, HaDP3	
	Ha PFA 0306	◇プロダクション・マネージメント II	3		2		◎		○	HaDP1, HaDP3	
	Ha ENG 0303	日英翻訳・製本（児童文学）I	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha ENG 0307	日英翻訳・製本（児童文学）II	3		2	◎	○			HaDP1, HaDP2, HaDP3	
	Ha BSC 0102	言語芸術ワークショップ A	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	
	Ha BSC 0106	言語芸術ワークショップ B	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	
	Ha BSC 0107	言語芸術ワークショップ C	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	
	Ha BSC 0108	言語芸術フィールドワーク A	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	
	Ha BSC 0103	言語芸術フィールドワーク B	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	
	Ha BSC 0109	言語芸術フィールドワーク C	1		2	◎			○	HaDP1, HaDP3	
自由科目	Ha TTC 0204	教師論	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	共通開設
	Ha TTC 0205	特別支援教育	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	共通開設
	Ha TTC 0201	教育課程論	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	共通開設
	Ha TTC 0202	英語科教育法 I	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha TTC 0206	英語科教育法 II	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha TTC 0301	英語科教育法 III	3		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha TTC 0303	英語科教育法 IV	3		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	
	Ha TTC 0304	道徳教育の理論と指導法	3		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	共通開設
	Ha TTC 0203	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	共通開設
	Ha TTC 0207	教育方法論	2		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	共通開設
	Ha TTC 0302	生徒・進路指導論（キャリア教育の理論及び方法を含む）	3		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	共通開設
	Ha TTC 0305	教育相談	3		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2	共通開設
	Ha TTC 0306	教育実習 I	3~4		1	◎	○	○		HaDP1, HaDP2, HaDP3	共通開設
	Ha TTC 0401	教育実習 II A	4		4	◎	○	○		HaDP1, HaDP2, HaDP3	共通開設
	Ha TTC 0402	教育実習 II B	4		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2, HaDP3	共通開設
	Ha TTC 0403	教職実践演習（中・高）	4		2	◎	○	○		HaDP1, HaDP2, HaDP3	共通開設
	Ha TTC 0208	学校インターンシップ	2		1	◎	○	○		HaDP1, HaDP2, HaDP3	共通開設

◇＝リピート履修可能科目

ディプロマ・ポリシー（DP）：卒業の認定に関する方針	
人文学部言語芸術学科は、以下の方針に基づき、その基準に達したものに学位を授与する。	
HaDP1	知識・技能 言語芸術作品（文学や映画）に関する深い知識を有している。
HaDP2	思考・判断 確かな言語（日本語・英語）能力に基づく優れた鑑賞力、分析力、思考力を有している。
HaDP3	意欲・態度 フィールドワーク等の実地体験から得た実践力、３年次卒業論文、４年次発信、２年間の学術研究により培った企画力を有している。

（三） メディア・コミュニケーション学科

（必修36単位、選択必修8単位以上、選択80単位以上、計124単位以上修得のこと）

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
必修科目		**【基盤教育科目　基礎必修科目群】**									18 単位必修
	Ge BSC 0101	福岡女学院学	1	2		◎				HmDP3	
	Ge BSC 0201	キリスト教の歴史	2	2		◎				HmDP3	
	Ge BSC 0301	キリスト教人間学	3	2		◎				HmDP3	
	Ge BSC 0102	First-year English A I	1	2			◎			HmDP2	
	Ge BSC 0105	First-year English A II	1	2			◎			HmDP2	
	Ge BSC 0103	First-year English B I	1	2			◎			HmDP2	
	Ge BSC 0106	First-year English B II	1	2			◎			HmDP2	
	Ge BSC 0104	情報リテラシー	1	2		◎	○	○		HmDP2	
	Ge BSC 0107	女性のキャリア形成 I	1	2		◎	○			HmDP3	
		【総合演習】									18 単位必修
	Hm BSC 0101	入門ワークショップ I	1	2		◎	○			HmDP2	
	Hm BSC 0102	入門ワークショップ II	1	2		◎	○			HmDP2	
	Hm MXX 0101	メディア研究入門	1	2		◎	○			HmDP1	
	Hm CXX 0101	コミュニケーション研究入門	1	2		◎	○	○	○	HmDP1	
	Hm DXX 0101	デザイン研究入門	1	2		◎	○	○	○	HmDP1	
	Hm ADV 0301	専門演習 I	3	2		○	○	○	◎	HmDP2	
	Hm ADV 0302	専門演習 II	3	2		○	○	○	◎	HmDP2	
	Hm ADV 0401	卒業研究 I	4	2		○	○	○	◎	HmDP2	
	Hm ADV 0402	卒業研究 II	4	2		○	○	○	◎	HmDP2	
選択必修科目		**【専門教育科目】**									4単位以上選択必修
	Hm BSC 0201	基礎演習A	2		2	○	◎	○	○	HmDP2	
	Hm BSC 0202	基礎演習B	2		2	○	◎	○	○	HmDP2	
	Hm BSC 0203	基礎演習C	2		2	○	◎	○	○	HmDP2	
	Hm BSC 0204	基礎演習D	2		2	◎	○	○	○	HmDP2	
	Hm BSC 0205	基礎演習E	2		2	○	◎			HmDP2	
	Hm BSC 0206	基礎演習F	2		2	◎	○	○	○	HmDP2	
	Hm BSC 0207	基礎演習G	2		2	○	◎	○	○	HmDP2	
	Hm MXX 0201	メディア概説	2		2	◎	○	○	○	HmDP1	4単位以上選択必修
	Hm CXX 0201	コミュニケーション概説	2		2	◎	○	○	○	HmDP1	
	Hm DXX 0201	デザイン概説	2		2	◎		○		HmDP1	
選択科目		**【基盤教育科目　言語科目群】**									選択科目は計80単位以上の履修とし、専門教育科目から34単位以上、残りは基盤教育科目、専門教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目（12単位が上限）から修得すること。
	Ge LNG 0101	◇ Test Preparation	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0201	◇ Speaking Skills A	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0208	◇ Speaking Skills B	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0202	◇ Reading Skills A	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0209	◇ Reading Skills B	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0203	◇ Listening Skills	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0210	◇ Writing Skills	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0301	◇ Academic Reading A	3		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0302	◇ Academic Reading B	3		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0102	中国語 I	1		2	◎	○			HmDP2	
	Ge LNG 0106	中国語 II	1		2	◎	○			HmDP2	
	Ge LNG 0204	中国語 III	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0211	中国語 IV	2		2	○	◎			HmDP2	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ge LNG 0103	韓国語 I	1		2	◎	○			HmDP2	
	Ge LNG 0107	韓国語 II	1		2	◎	○			HmDP2	
	Ge LNG 0205	韓国語 III	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0212	韓国語 IV	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0104	フランス語 I	1		2	◎	○			HmDP2	
	Ge LNG 0108	フランス語 II	1		2	◎	○			HmDP2	
	Ge LNG 0206	フランス語 III	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0213	フランス語 IV	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0105	実用の日本語 I	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0207	実用の日本語 II	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge LNG 0214	実用の日本語 III	2		2	○	◎			HmDP2	
		【基盤教育科目　総合科目群】									
	Ge GEN 0101	哲学・倫理学入門	1		2	◎	○			HmDP1	
	Ge GEN 0102	日本国憲法	1		2	◎	○			HmDP1	
	Ge GEN 0114	社会学入門	1		2	◎	○			HmDP1	
	Ge GEN 0115	経済学入門（国際経済を含む）	1		2	◎	○			HmDP1	
	Ge GEN 0103	ジェンダー・スタディ A	1		2	◎	○			HmDP1	
	Ge GEN 0116	ジェンダー・スタディ B	1		2	◎	○			HmDP1	
	Ge GEN 0117	歴史学入門	1		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0118	統計学入門	1		2	◎	○			HmDP1	
	Ge GEN 0104	基礎数学	1		2	◎	○			HmDP1	
	Ge GEN 0105	生命科学入門	1		2	◎		○		HmDP1	
	Ge GEN 0106	環境科学入門	1		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0201	日本史	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0202	世界史	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0203	政治学入門（国際政治を含む）	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0212	法学入門（国際法含む）	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0204	文化人類学入門	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0205	多文化共生論	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0304	国際関係論	3		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0301	NGO・NPO 入門	3		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0107	PC 演習A（ワード）	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge GEN 0108	PC 演習B（エクセル）	1		2	○	◎	○		HmDP2	
	Ge GEN 0109	PC 演習C（応用）	1		2	○	◎	○		HmDP2	
	Ge GEN 0213	女性のキャリア形成 II	2		2	◎	○			HmDP3	
	Ge GEN 0302	女性のキャリア形成 III	3		2	◎	○			HmDP3	
	Ge GEN 0206	インターンシップ	2		2		◎	○		HmDP3	
	Ge GEN 0110	人間形成と教育	1		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0207	教育原論	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0214	教育経営論	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0215	教育心理学	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0208	人権教育の理論と指導法	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0216	障害児教育の理論と指導法	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0209	比較教育 A（日本と欧米）	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0217	比較教育B（日本とアジア）	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0218	児童文学（英語）	2		2	◎				HmDP1	
	Ge GEN 0111	健康・スポーツ科学理論	1		2	○				HmDP1	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験等と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ge GEN 0112	健康・スポーツ科学実習A	1		1	○		◎		HmDP1	
	Ge GEN 0119	健康・スポーツ科学実習B	1		1	○		◎		HmDP1	
	Ge GEN 0210	◇スポーツ実習	2		1	○		◎		HmDP1	
	Ge GEN 0303	総合教養ゼミA	3		2	○	◎			HmDP3	
	Ge GEN 0305	総合教養ゼミB	3		2	○	◎			HmDP3	
	Ge GEN 0120	手話演習	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge GEN 0121	異文化へのアプローチA（欧米）	1		2	◎	○			HmDP3	
	Ge GEN 0113	異文化へのアプローチB（アジア）	1		2	◎	○			HmDP3	
	Ge GEN 0211	フィールドワーク（いのちと水）	2		2	○		◎		HmDP3	
	Ge GEN 0219	フィールドワーク（いのちと土）	2		2	○		◎		HmDP3	
		【基盤教育科目　目的別科目群】									
		児童英語教育指導員									
	Ge EYL 0303	キッズコミュニケーション	3		2		◎		○	HmDP2	
	Ge EYL 0201	児童英語教育法	2		2		◎		○	HmDP2	
	Ge EYL 0301	児童英語指導法演習 I	3		2		◎		○	HmDP2	
	Ge EYL 0304	児童英語指導法演習 II	3		2		◎		○	HmDP2	
	Ge EYL 0302	児童英語フィールドワーク I	3		2		◎		○	HmDP2	
	Ge EYL 0305	児童英語フィールドワーク II	3		2		◎		○	HmDP2	
		【基盤教育科目　目的別科目群】									
		日本語教員									
	Ge TJL 0203	児童日本語教育法	2		2	◎	○	○		HmDP2	
	Ge TJL 0201	日本語教育概論 I	2		2	◎	○	○		HmDP2	
	Ge TJL 0204	日本語教育概論 II	2		2	◎	○	○		HmDP2	
	Ge TJL 0301	日本語教材研究 I	3		2	○	◎		○	HmDP2	
	Ge TJL 0302	日本語教材研究 II	3		2	○	◎		○	HmDP2	
	Ge TJL 0401	日本語教授法演習 I	4		2	○	◎	○	○	HmDP2	
	Ge TJL 0402	日本語教授法演習 II	4		2	○	◎	○	○	HmDP2	
	Ge TJL 0202	日本語教育実習フィールドワーク	2		2	○	◎	○	○	HmDP2	
		【基盤教育科目　日本語科目群】									
		非日本語母語話者対象									
	Ge JSL 0101	日本語の作文（上級） I	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge JSL 0105	日本語の作文（上級） II	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge JSL 0102	日本語の読解（上級） I	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge JSL 0106	日本語の読解（上級） II	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge JSL 0103	日本語の会話（上級） I	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge JSL 0107	日本語の会話（上級） II	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge JSL 0104	日本語の聴解（上級） I	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge JSL 0108	日本語の聴解（上級） II	1		2	○	◎			HmDP2	
	Ge JSL 0201	専門日本語 I	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge JSL 0203	専門日本語 II	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge JSL 0202	日本語の表現技術 I	2		2	○	◎			HmDP2	
	Ge JSL 0204	日本語の表現技術 II	2		2	○	◎			HmDP2	
		【専門教育科目】									
	Hm MXX 0202	メディア技術史	2		2	◎				HmDP1	
	Hm MXD 0201	広告論	2		2	○		○		HmDP1	
	Hm MXD 0202	映像論	2		2	◎		○		HmDP1	
	Hm MXC 0101	メディアとコミュニケーション研究	1		2	◎				HmDP1	
	Hm MXX 0203	実践時事問題研究	2		2	◎	○	○	○	HmDP3	
	Hm MXC 0102	メディア・リテラシー	1		2	◎				HmDP3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験等と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Hm MXX 0301	メディア文化史	3		2	◎	○	○	○	HmDP1	
	Hm MXC 0201	メディアとことば	2		2		◎		○	HmDP1	
	Hm MXC 0202	メディア表現A（放送）	2		2	○	◎	○		HmDP1	
	Hm MXC 0203	メディア表現B（新聞･出版）	2		2	○	○	○	◎	HmDP1	
	Hm MXC 0204	メディア表現C（広報）	2		2	○	○	○	◎	HmDP1	
	Hm MXD 0203	メディア制作ワークショップ I	2		2	○		○	◎	HmDP2	
	Hm MXX 0204	地域メディア・フィールドワーク	2		2	○	○	○	◎	HmDP3	
	Hm CXX 0102	ことばとコミュニケーション	1		2		◎	○		HmDP3	
	Hm MXD 0204	メディア制作ワークショップ II	2		2	○	○	○	◎	HmDP2	
	Hm MXC 0301	メディア研究方法論	3		2		○	◎	○	HmDP1	
	Hm CXD 0201	デザインとコミュニケーション	2		2	◎	○	○		HmDP1	
	Hm MXC 0103	ポップ・カルチャー史	1		2	◎	○	○	○	HmDP1	
	Hm MXC 0205	文化とコミュニケーション	2		2	◎	○	○	○	HmDP3	
	Hm BSC 0103	異文化コミュニケーション	1		2	◎	○	○	○	HmDP3	
	Hm BSC 0208	社会言語学	2		2		◎		○	HmDP3	
	Hm DXX 0202	視覚デザイン論	2		2	◎	○			HmDP2	
	Hm DXX 0203	メディアアート論	2		2	◎	○			HmDP1	
	Hm BSC 0104	比較美術表現論	1		2	◎				HmDP1	
	Hm DXX 0204	造形表現基礎	2		4	○	◎			HmDP2	
	Hm DXX 0102	色彩研究	1		2	◎	○			HmDP1	
	Hm DXX 0205	印刷表現演習	2		4	○			◎	HmDP2	
	Hm DXX 0206	映像表現演習	2		4	○		○	◎	HmDP2	
	Hm DXX 0207	写真表現演習	2		2	○			◎	HmDP2	
	Hm DXX 0208	CG 表現研究	2		4	○			◎	HmDP2	
	Hm DXX 0209	◇マテリアル表現基礎	2		4	○			◎	HmDP2	
	Hm DXX 0210	メディアアート演習	2		4	○	○		◎	HmDP2	
	Hm MXC 0104	メディアとジェンダー	1		2	◎	○			HmDP3	
	Hm MXX 0205	サウンド・デザイン	2		2	◎	○			HmDP2	
	Hm MXC 0206	サウンド・コミュニケーション	2		2	○	◎			HmDP2	
	Hm MXX 0206	サウンド制作演習	2		2	◎	○			HmDP2	
	Hm CXX 0202	コピーライティング研究	2		2	◎	○		○	HmDP2	
	Hm ADV 0201	情報処理A	2		2	○	◎			HmDP2	
	Hm ADV 0202	情報処理B	2		2	○	◎			HmDP2	
	Hm ADV 0203	情報処理C	2		2	○	◎			HmDP2	
	Hm BSC 0105	◇グループ・プロジェクト	1		2	○	◎			HmDP3	
	Hm MXX 0102	アナウンス表現研究	1		2	◎	○	○		HmDP2	
	Hm MCD 0201	サブカルチャー表現演習	2		2	○	◎	○	○	HmDP2	
	Hm BSC 0106	◇フィールドワークA	1		2	◎	○			HmDP3	
	Hm BSC 0107	◇フィールドワーク B	1		2	◎				HmDP3	
	Hm BSC 0108	◇国内スタディ・ツアー	1		2	◎				HmDP3	
	Hm CXX 0103	◇言語研究フィールドワーク	1		2	○	○	○	◎	HmDP3	
	Hm BSC 0109	◇海外スタディ・ツアー	1		2	◎	○			HmDP3	
	Hm BSC 0110	◇メディア・コミュニケーション特論A	1		2	○	◎	○		HmDP3	
	Hm BSC 0111	◇メディア・コミュニケーション特論B	1		2	○	◎	○		HmDP3	

◇＝リピート履修可能科目

ディプロマ・ポリシー（DP）：卒業の認定に関する方針	
メディア・コミュニケーション学科のカリキュラムに沿った授業科目を履修し、以下を達成すべく所定の単位数を修得した学生に学位を授与します。	
HmDP1	1. 学際的な知識の獲得 人文学の基礎的な学識を土台にして、メディア・コミュニケーション・デザインを横断的に学び、学際的な視座をもって思考できる。その上で、自身の興味関心を専攻した学問体系に位置づけられる。
HmDP2	2. アイディアを具体化する方法の習得と実践 ことばを論理的に用いて、文章や議論を組み立てられる。社会にあふれる情報を批判的に読み解ける。習得した複数の表現方法をもとに適切な手段を選択し、アイディアにかたちを与えられる。
HmDP3	3. 多様性への理解と好奇心 社会の多様な価値観のなかで、自身の軸がどこにあるのかを見定めた上で、他者への関心と寛容さをもって協働できる。未知との出会いに臆しない知的好奇心を積極的に維持できる。

人間関係学部　2019~2022年度入学生

◎心理学科においては、コース科目に指定されている科目（別表の●で指定されている科目）の中から25単位以上の科目を修得すると、コースを履修したことになります。

（一）　心理学科

（必修40単位、選択必修10単位以上、選択74単位以上、計124単位以上修得のこと）

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験と創造的思考力	臨床心理	キャリア心理	人間関係	関連 DP	備考
必修科目		**【基盤教育科目　基礎必修科目群】**												
	Ge BSC 0101	福岡女学院学	1	2		◎							RsDP1	
	Ge BSC 0201	キリスト教の歴史	2	2		◎							RsDP1	
	Ge BSC 0301	キリスト教人間学	3	2		◎							RsDP1	
	Ge BSC 0102	First-year English A Ⅰ	1	2			◎						RsDP2	
	Ge BSC 0105	First-year English A Ⅱ	1	2			◎						RsDP2	
	Ge BSC 0103	First-year English B Ⅰ	1	2			◎						RsDP2	
	Ge BSC 0106	First-year English B Ⅱ	1	2			◎						RsDP2	
	Ge BSC 0104	情報リテラシー	1	2		◎	○	○					RsDP2	
	Ge BSC 0107	女性のキャリア形成Ⅰ	1	2		◎	○						RsDP1	
		【学科専門科目】												40単位必修
	Rs BSC 0101	基礎演習A	1	1			◎	○					RsDP2	
	Rs BSC 0102	基礎演習B	1	1			◎	○					RsDP2	
	Rs BAP 0111	心理学概論A	1	2		◎							RsDP1	
	Rs BAP 0112	心理学概論B	1	2		◎							RsDP1	
	Rs BAP 0114	社会心理学（社会・集団・家族心理学A）	1	2		◎							RsDP1	
	Rs BAP 0161	心理学研究法	1	2		◎							RsDP1	
	Rs BAP 0113	臨床心理学概論	1	2		◎							RsDP1	
	Rs BSC 0203	応用演習A	2	1			◎	○					RsDP2	
	Rs BSC 0204	応用演習B	2	1			◎	○					RsDP2	
	Rs BSC 0305	専門演習A	3	2			○		◎				RsDP5	
	Rs BSC 0306	専門演習B	3	2			○		◎				RsDP5	
	Rs BSC 0407	卒業研究A	4	2			○		◎				RsDP5	
	Rs BSC 0408	卒業研究B	4	2			○		◎				RsDP5	
選択必修科目		**【学科専門科目】**												
	Rs BAP 0115	発達心理学A	1		2	◎							RsDP1	
	Rs BAP 0216	知覚・認知心理学	2		2	◎							RsDP1	
	Rs BAP 0217	教育心理学（教育・学校心理学A）	2		2	◎							RsDP1	
	Rs BAP 0262	心理統計基礎（心理学統計法A）	2		2	○	◎						RsDP2	
	Rs BAP 0263	心理統計応用（心理学統計法B）	2		2	○	◎						RsDP2	
	Rs BAP 0264	心理学実験　Ⅰ	2		1	○	◎						RsDP2	
	Rs BAP 0265	心理学実験　Ⅱ	2		1	○	◎						RsDP2	
	Rs BAP 0366	社会心理学実験実習（心理学実験Ⅲ）	3		2	○	◎						RsDP2	
	Rs BAP 0318	学習・言語心理学	3		2	◎							RsDP1	
	Rs BAP 0319	感情・人格心理学	3		2	◎							RsDP1	
選択科目		**【基盤教育科目　言語科目群】**												
	Ge LNG 0101	◇ Test Preparation	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0201	◇ Speaking Skills A	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0208	◇ Speaking Skills B	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0202	◇ Reading Skills A	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0209	◇ Reading Skills B	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0203	◇ Listening Skills	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0210	◇ Writing Skills	2		2	○	◎						RsDP2	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 総合的な学習経験と創造的思考力	臨床心理	キャリア心理	人間関係	関連 DP	備考
選択科目	Ge LNG 0301	◇ Academic Reading A	3		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0302	◇ Academic Reading B	3		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0102	中国語 I	1		2	◎	○						RsDP2	
	Ge LNG 0106	中国語 II	1		2	◎	○						RsDP2	
	Ge LNG 0204	中国語 III	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0211	中国語 IV	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0103	韓国語 I	1		2	◎	○						RsDP2	
	Ge LNG 0107	韓国語 II	1		2	◎	○						RsDP2	
	Ge LNG 0205	韓国語 III	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0212	韓国語 IV	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0104	フランス語 I	1		2	◎	○						RsDP2	
	Ge LNG 0108	フランス語 II	1		2	◎	○						RsDP2	
	Ge LNG 0206	フランス語 III	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0213	フランス語 IV	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0105	実用の日本語 I	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0207	実用の日本語 II	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge LNG 0214	実用の日本語 III	2		2	○	◎						RsDP2	
		【基盤教育科目　総合科目群】												
	Ge GEN 0101	哲学・倫理学入門	1		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0102	日本国憲法	1		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0114	社会学入門	1		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0115	経済学入門(国際経済を含む)	1		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0103	ジェンダー・スタディ A	1		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0116	ジェンダー・スタディ B	1		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0117	歴史学入門	1		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0118	統計学入門	1		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0104	基礎数学	1		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0105	生命科学入門	1		2	◎		○					RsDP1	
	Ge GEN 0106	環境科学入門	1		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0201	日本史	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0202	世界史	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0203	政治学入門(国際政治を含む)	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0212	法学入門（国際法含む）	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0204	文化人類学入門	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0205	多文化共生論	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0304	国際関係論	3		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0301	NGO・NPO 入門	3		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0107	PC 演習A（ワード）	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge GEN 0108	PC 演習B（エクセル）	1		2	○	◎	○					RsDP2	
	Ge GEN 0109	PC 演習C（応用）	1		2	○	◎	○					RsDP2	
	Ge GEN 0213	女性のキャリア形成 II	2		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0302	女性のキャリア形成 III	3		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0206	インターンシップ	2		2		◎	○					RsDP2	
	Ge GEN 0110	人間形成と教育	1		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0207	教育原論	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0214	教育経営論	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0215	教育心理学	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0208	人権教育の理論と指導法	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0216	障害児教育の理論と指導法	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0209	比較教育 A（日本と欧米）	2		2	◎							RsDP1	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 総合的な学習経験と創造的思考力	臨床心理	キャリア心理	人間関係	関連 DP	備考
選択科目	Ge GEN 0217	比較教育B（日本とアジア）	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0218	児童文学（英語）	2		2	◎							RsDP1	
	Ge GEN 0111	健康・スポーツ科学理論	1		2	○							RsDP1	
	Ge GEN 0112	健康・スポーツ科学実習A	1		1	○		◎					RsDP4	
	Ge GEN 0119	健康・スポーツ科学実習B	1		1	○		◎					RsDP4	
	Ge GEN 0210	◇スポーツ実習	2		1	○		◎					RsDP4	
	Ge GEN 0303	総合教養ゼミA	3		2	○	◎						RsDP2	
	Ge GEN 0305	総合教養ゼミB	3		2	○	◎						RsDP2	
	Ge GEN 0120	手話演習	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge GEN 0121	異文化へのアプローチA（欧米）	1		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0113	異文化へのアプローチB(アジア)	1		2	◎	○						RsDP1	
	Ge GEN 0211	フィールドワーク(いのちと水)	2		2	○		◎					RsDP4	
	Ge GEN 0219	フィールドワーク(いのちと土)	2		2	○		◎					RsDP4	
		【基盤教育科目　目的別科目群】 **児童英語教育指導員**												
	Ge EYL 0303	キッズコミュニケーション	3		2		◎		○					
	Ge EYL 0201	児童英語教育法	2		2		◎		○					
	Ge EYL 0301	児童英語指導法演習 I	3		2		◎		○					
	Ge EYL 0304	児童英語指導法演習 II	3		2		◎		○					
	Ge EYL 0302	児童英語フィールドワーク I	3		2		◎		○					
	Ge EYL 0305	児童英語フィールドワーク II	3		2		◎		○					
		【基盤教育科目　目的別科目群】 **日本語教員**												
	Ge TJL 0203	児童日本語教育法	2		2	◎	○	○						
	Ge TJL 0201	日本語教育概論 I	2		2	◎	○	○						
	Ge TJL 0204	日本語教育概論 II	2		2	◎	○	○						
	Ge TJL 0301	日本語教材研究 I	3		2	○	◎		○					
	Ge TJL 0302	日本語教材研究 II	3		2	○	◎		○					
	Ge TJL 0401	日本語教授法演習 I	4		2	○	◎	○	○					
	Ge TJL 0402	日本語教授法演習 II	4		2	○	◎	○	○					
	Ge TJL 0202	日本語教育実習フィールドワーク	2		2	○	◎	○	○					
		【基盤教育科目　日本語科目群】 **非日本語母語話者対象**												
	Ge JSL 0101	日本語の作文（上級） I	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge JSL 0105	日本語の作文（上級） II	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge JSL 0102	日本語の読解（上級） I	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge JSL 0106	日本語の読解（上級） II	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge JSL 0103	日本語の会話（上級） I	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge JSL 0107	日本語の会話（上級） II	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge JSL 0104	日本語の聴解（上級） I	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge JSL 0108	日本語の聴解（上級） II	1		2	○	◎						RsDP2	
	Ge JSL 0201	専門日本語 I	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge JSL 0203	専門日本語 II	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge JSL 0202	日本語の表現技術 I	2		2	○	◎						RsDP2	
	Ge JSL 0204	日本語の表現技術 II	2		2	○	◎						RsDP2	
		【心理学科専門科目】												
	Rs CLP 0211	心理的アセスメント	2		2	◎				●			RsDP1	
	Rs CLP 0212	心理学的支援法	2		2	◎				●			RsDP1	
	Rs CLP 0313	公認心理師の職責	3		2				◎	●			RsDP5	
	Rs CLP 0314	司法・犯罪心理学	3		2	◎				●			RsDP1	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 総合的な学習経験と創造的思考力	臨床心理	キャリア心理	人間関係	関連 DP	備考
選択科目	Rs CLR 0331	精神疾患とその治療	3		2	◎				●			RsDP1	
	Rs CLP 0315	神経・生理心理学	3		2	◎				●			RsDP1	
	Rs CLP 0316	障害者・障害児心理学	3		2	◎				●			RsDP1	
	Rs CLP 0433	関係行政論（公認心理師関係）	4		2	◎				●			RsDP1	
	Rs CLP 0271	心理演習Ⅰ	2		1	◎		○		●			RsDP1	
	Rs CLP 0272	心理演習Ⅱ	2		1	◎		○		●			RsDP1	
	Rs CLP 0281	心理実習Ⅰ	2		1			◎	○	●			RsDP3, RsDP4	
	Rs CLP 0382	心理実習Ⅱ	3		1			◎	○	●			RsDP3, RsDP4	
	Rs CLP 0383	心理実習Ⅲ	3		1			◎	○	●			RsDP3, RsDP4	
	Rs CLP 0373	心理療法基礎実習Ⅰ	3		1	◎	○			●			RsDP1	
	Rs CLP 0374	心理療法基礎実習Ⅱ	3		1	◎	○			●			RsDP1	
	Rs CLR 0332	人体の構造と機能及び疾病	3		2	◎				●			RsDP1	
	Rs HUP 0111	人間関係心理学	1		2	◎						●	RsDP1	
	Rs HUP 0212	集団心理学	2		2	◎						●	RsDP1	
	Rs HUP 0213	発達心理学Ｂ	2		2	◎						●	RsDP1	
	Rs HUR 0231	ピアサポート	2		2	◎		○				●	RsDP1	
	Rs HUP 0271	人間関係実践演習	2		4	○	◎					●	RsDP2	
	Rs HUP 0314	ジェンダー心理学	3		2	◎						●	RsDP1	
	Rs HUP 0315	家族心理学（社会･集団･家族心理学Ｂ）	3		2	◎						●	RsDP1	
	Rs HUP 0316	健康・医療心理学	3		2	◎						●	RsDP1	
	Rs HUP 0317	学校心理学（教育･学校心理学Ｂ）	3		2	◎						●	RsDP1	
	Rs HUP 0318	福祉心理学	3		2	◎						●	RsDP1	
	Rs HUP 0381	心理学フィールドワーク（人間関係）Ａ	3		2		○	◎				●	RsDP3, RsDP4	
	Rs HUP 0382	心理学フィールドワーク（人間関係）Ｂ	3		2		○	◎				●	RsDP3, RsDP4	
	Rs HUR 0141	哲学概論	1		2	◎						●	RsDP1	
	Rs HUR 0142	宗教学概論	1		2	◎						●	RsDP1	
	Rs HUR 0243	倫理学概論	2		2	◎						●	RsDP1	
	Rs CAP 0180	◇心理学プロジェクト演習	1		1			○	◎		●		RsDP5	
	Rs CAP 0211	キャリア心理学	2		2	◎					●		RsDP1	
	Rs CAP 0212	産業・組織心理学	2		2	◎					●		RsDP1	
	Rs CAP 0213	マーケティング	2		2	◎					●		RsDP1	
	Rs CAP 0314	経営心理学	3		2	◎					●		RsDP1	
	Rs CAP 0361	心理統計実践	3		2	◎					●		RsDP1	
	Rs CAP 0381	心理学フィールドワーク（キャリア）Ａ	3		2		○	◎			●		RsDP3, RsDP4	
	Rs CAP 0382	心理学フィールドワーク（キャリア）Ｂ	3		2		○	◎			●		RsDP3, RsDP4	
	Rs CAR 0141	社会学概論	1		2	◎					●		RsDP1	
	Rs CAR 0142	地理学（地誌を含む）	1		2	◎					●		RsDP1	
	Rs CAR 0143	経済学概論	1		2		○		◎		●		RsDP5	
	Rs CAR 0144	経営学概論	1		2	◎					●		RsDP1	
	Rs CAR 0245	行動経済学	2		2	◎			○		●		RsDP1	
	Rs CAR 0246	国際経済論	2		2		○		◎		●		RsDP5	
	Rs CAR 0347	起業戦略論	3		2	◎					●		RsDP1	
自由科目	Rs TTC 0201	社会・公民科教育法Ⅰ	2		2	◎	○	○					RsDP1	
	Rs TTC 0302	社会・公民科教育法Ⅱ	3		2	◎	○	○					RsDP1	
	Rs TTC 0202	社会・公民科教育法Ⅲ	2		2	◎	○	○					RsDP1	
	Rs TTC 0303	社会・公民科教育法Ⅳ	3		2	◎	○	○					RsDP1	
	Rs TTC 0304	道徳教育の理論と指導法	3		2	◎	○	○					RsDP1	共通開設
	Rs TTC 0203	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2	◎	○	○					RsDP1	共通開設

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 総合的な学習経験と創造的思考力	臨床心理	キャリア心理	人間関係	関連 DP	備考
自由科目	Rs TTC 0205	教師論	2		2	◎	○	○					RsDP1	共通開設
	Rs TTC 0206	特別支援教育	2		2	◎	○	○					RsDP1	共通開設
	Rs TTC 0204	教育課程論	2		2	◎	○	○					RsDP1	共通開設
	Rs TTC 0207	教育方法論	2		2	◎	○	○					RsDP1	共通開設
	Rs TTC 0301	生徒･進路指導論（キャリア教育の理論及び方法を含む）	3		2	◎	○	○					RsDP1	共通開設
	Rs TTC 0305	教育相談	3		2	◎	○	○					RsDP1	共通開設
	Rs TTC 0306	教育実習Ⅰ	3~4		1	◎	○	○					RsDP3	共通開設
	Rs TTC 0401	教育実習ⅡＡ	4		4	◎	○	○					RsDP3	共通開設
	Rs TTC 0402	教育実習ⅡＢ	4		2	◎	○	○					RsDP3	共通開設
	Rs TTC 0403	教職実践演習（中・高）	4		2	◎	○	○					RsDP3	共通開設
	Rs TTC 0208	学校インターンシップ	2		1	◎	○	○					RsDP3	共通開設

◇＝リピート履修可能科目

ディプロマ・ポリシー（DP）：卒業の認定に関する方針	
心理学科は、心理学を中心とした本学科カリキュラム 124 単位以上を修得し、深く専門的学問を究め、以下の学識を培った学生に学位を与えています。	
RsDP1	1. 心理学の基礎的知識と研究方法を修得していること
RsDP2	2. 客観的データを収集分析し、論理的、批判的に考える力を獲得していること
RsDP3	3. 自己および他者の心を理解し、より良い人間関係を構築する力を獲得していること
RsDP4	4. ポジティブな視点をもち、自己の成長を目指す姿勢を獲得していること
RsDP5	5. 心理学の知識と技能を社会に活かす視点と行動力を獲得していること
卒業後の進路は、上記の学識を元に、幅広い業界や官公庁で人や社会のために活動する職員となる、中学校・高等学校等の教員となる、もしくは大学院に進学し専門職としての研鑽を積んだり研究活動を深めることが期待される。	

（二） 子ども発達学科

（必修44単位、選択80単位以上、計124単位以上修得のこと）

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
必修科目		**【基盤教育科目　基礎必修科目群】**									44 単位必修
	Ge BSC 0101	福岡女学院学	1	2		◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge BSC 0201	キリスト教の歴史	2	2		◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge BSC 0301	キリスト教人間学	3	2		◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge BSC 0102	First-year English A I	1	2			◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge BSC 0105	First-year English A II	1	2			◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge BSC 0103	First-year English B I	1	2			◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge BSC 0106	First-year English B II	1	2			◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge BSC 0104	情報リテラシー	1	2		◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Ge BSC 0107	女性のキャリア形成 I	1	2		◎	○			RkDP1, 2, 3	
		【学科専門科目】									
	Rk CDC 0101	子ども学概論	1	2		◎	○	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDC 0102	子ども学フィールドワーク	1	2		◎	○	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDC 0201	子ども学フィールド演習	2	2		○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDC 0202	子ども学観察演習	2	2		○	◎	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDC 0301	子ども学総合演習 I	3	2		○	◎	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDC 0302	子ども学総合演習 II	3	2		○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDC 0401	卒業研究 I	4	2		○	◎	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDC 0402	卒業研究 II	4	2		○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDP 0101	心理学概論	1	2		◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk CDP 0102	発達心理学 I （総論）	1	2		◎	○	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDP 0201	子どもの発達と学習の心理学	2	2		◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk CDB 0101	初年次教育 I	1	2		◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk CDB 0102	初年次教育 II	1	2		○	◎	○		RkDP1, 2, 3	
選択科目		**【基盤教育科目　言語科目群】**									基盤教育科目、子ども発達学科専門科目から80単位以上を選択履修する。
	Ge LNG 0101	◇ Test Preparation	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0201	◇ Speaking Skills A	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0208	◇ Speaking Skills B	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0202	◇ Reading Skills A	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0209	◇ Reading Skills B	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0203	◇ Listening Skills	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0210	◇ Writing Skills	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0301	◇ Academic Reading A	3		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0302	◇ Academic Reading B	3		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0102	中国語 I	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0106	中国語 II	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0204	中国語 III	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0211	中国語 IV	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0103	韓国語 I	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0107	韓国語 II	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0205	韓国語 III	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0212	韓国語 IV	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0104	フランス語 I	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0108	フランス語 II	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0206	フランス語 III	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0213	フランス語 IV	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ge LNG 0105	実用の日本語 I	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0207	実用の日本語 II	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge LNG 0214	実用の日本語 III	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
		【基盤教育科目　総合科目群】									
	Ge GEN 0101	哲学・倫理学入門	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0102	日本国憲法	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0114	社会学入門	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0115	経済学入門（国際経済を含む）	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0103	ジェンダー・スタディ A	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0116	ジェンダー・スタディ B	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0117	歴史学入門	1		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0118	統計学入門	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0104	基礎数学	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0105	生命科学入門	1		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0106	環境科学入門	1		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0201	日本史	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0202	世界史	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0203	政治学入門（国際政治を含む）	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0212	法学入門（国際法含む）	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0204	文化人類学入門	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0205	多文化共生論	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0304	国際関係論	3		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0301	NGO・NPO 入門	3		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0107	PC 演習A（ワード）	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0108	PC 演習B（エクセル）	1		2	○	◎	○		RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0109	PC 演習C（応用）	1		2	○	◎	○		RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0213	女性のキャリア形成 II	2		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0302	女性のキャリア形成 III	3		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0206	インターンシップ	2		2		◎	○		RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0110	人間形成と教育	1		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0207	教育原論	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0214	教育経営論	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0215	教育心理学	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0208	人権教育の理論と指導法	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0216	障害児教育の理論と指導法	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0209	比較教育 A（日本と欧米）	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0217	比較教育B（日本とアジア）	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0218	児童文学（英語）	2		2	◎				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0111	健康・スポーツ科学理論	1		2	○				RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0112	健康・スポーツ科学実習A	1		1	○		◎		RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0119	健康・スポーツ科学実習B	1		1	○		◎		RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0210	◇スポーツ実習	2		1	○		◎		RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0303	総合教養ゼミA	3		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0305	総合教養ゼミB	3		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0120	手話演習	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0121	異文化へのアプローチ A（欧米）	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0113	異文化へのアプローチ B(アジア)	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0211	フィールドワーク（いのちと水）	2		2	○		◎		RkDP1, 2, 3	
	Ge GEN 0219	フィールドワーク（いのちと土）	2		2	○		◎		RkDP1, 2, 3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目		**【基盤教育科目　目的別科目群】児童英語教育指導員**									
	Ge EYL 0303	キッズコミュニケーション	3		2		◎		○		
	Ge EYL 0201	児童英語教育法	2		2		◎		○		
	Ge EYL 0301	児童英語指導法演習 I	3		2		◎		○		
	Ge EYL 0304	児童英語指導法演習 II	3		2		◎		○		
	Ge EYL 0302	児童英語フィールドワーク I	3		2		◎		○		
	Ge EYL 0305	児童英語フィールドワーク II	3		2		◎		○		
		【基盤教育科目　目的別科目群】日本語教員									
	Ge TJL 0203	児童日本語教育法	2		2	◎	○	○			
	Ge TJL 0201	日本語教育概論 I	2		2	◎	○	○			
	Ge TJL 0204	日本語教育概論 II	2		2	◎	○	○			
	Ge TJL 0301	日本語教材研究 I	3		2	○	◎		○		
	Ge TJL 0302	日本語教材研究 II	3		2	○	◎		○		
	Ge TJL 0401	日本語教授法演習 I	4		2	○	◎	○	○		
	Ge TJL 0402	日本語教授法演習 II	4		2	○	◎	○	○		
	Ge TJL 0202	日本語教育実習フィールドワーク	2		2	○	◎	○	○		
		【基盤教育科目　日本語科目群】非日本語母語話者対象									
	Ge JSL 0101	日本語の作文（上級） I	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge JSL 0105	日本語の作文（上級） II	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge JSL 0102	日本語の読解（上級） I	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge JSL 0106	日本語の読解（上級） II	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge JSL 0103	日本語の会話（上級） I	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge JSL 0107	日本語の会話（上級） II	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge JSL 0104	日本語の聴解（上級） I	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge JSL 0108	日本語の聴解（上級） II	1		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge JSL 0201	専門日本語 I	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge JSL 0203	専門日本語 II	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge JSL 0202	日本語の表現技術 I	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Ge JSL 0204	日本語の表現技術 II	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
		【子ども発達学科専門科目】									
	Rk CDP 0202	発達心理学 II（乳幼児と親の発達心理）	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Rk CDP 0303	子ども理解の心理統計法	3		2	○	◎		○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDP 0301	発達・教育相談の基礎	3		2	○	◎	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDP 0302	発達・教育相談の方法と実践	3		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0101	保育原理	1		2	◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk CDD 0101	教育原理	1		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECE 0102	保育者論	1		2	◎	○	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0205	教職概論	2		2	◎	○	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDS 0101	特別支援教育論	1		2	◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0201	子ども家庭福祉論	2		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0205	社会福祉概論	2		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECE 0401	子育て支援論	4		2	○	○	◎	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0202	社会的養護 I	2		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0401	保育者実務論	4		2	○	◎	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDC 0403	キリスト教と子ども学	4		2		○	◎		RkDP1, 2, 3	
	Rk CDP 0203	子どもの理解と援助	2		2	◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0203	子どもの保健	2		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0206	子どもの食と栄養	2		2	◎	○	○		RkDP1, 2, 3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Rk ECN 0305	保育の計画と評価	3		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECE 0201	保育内容総論	2		2	○	○		◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECE 0203	保育内容（人間関係）	2		2	◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECE 0202	保育内容（健康）	2		2	◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECE 0205	保育内容（環境）	2		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECE 0204	保育内容（言葉）	2		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk ECE 0206	保育内容（表現）	2		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECE 0103	保育内容の理解と方法	1		2	◎	○	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0215	教育技術論（児童文化財研究） I	2		2			○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0303	教育技術論（児童文化財研究） II	3		2			○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0207	乳児保育 I	2		2	◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0208	乳児保育 II	2		2	○	◎	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0204	子どもの健康と安全	2		2	○	◎	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0302	障害児保育	3		2	◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0303	社会的養護 II	3		2	○	◎	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk CDD 0301	教育課程論	3		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ELD 0301	教育の方法と技術	3		2	◎	○	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDD 0302	教育制度論	3		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0206	初等教科教育法（国語）	2		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0207	初等教科教育法（社会）	2		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0208	初等教科教育法（算数）	2		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0209	初等教科教育法（理科）	2		2	○	◎		○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0210	初等教科教育法（生活）	2		2	○	◎		○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0211	初等教科教育法（音楽）	2		2	◎	○	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0212	初等教科教育法（図画工作）	2		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0213	初等教科教育法（家庭）	2		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0214	初等教科教育法（体育）	2		2	○	◎			RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0302	初等教科教育法（英語）	3		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0216	道徳教育の理論と実践	2		2	○	◎	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0304	総合的な学習の時間の指導法	3		2		◎		○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0403	特別活動論	4		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0305	生徒・進路指導の理論と方法	3		2	○	◎	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECE 0301	表現概論	3		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Rk CDJ 0103	国語表現	1		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELJ 0202	小学校社会科	2		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk CDJ 0303	数の理解	3		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk ELJ 0203	小学校理科	2		2	◎	○		○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELJ 0101	小学校生活科	1		2	◎	○		○	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDJ 0101	音楽（声楽）	1		1	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk CDJ 0202	音楽（器楽） I	2		1	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk CDJ 0201	音楽（器楽） II	2		1	○	◎	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk CDJ 0301	音楽（器楽） III	3		1	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDJ 0302	音楽表現	3		1	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDJ 0102	図画工作	1		1	○	◎	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELJ 0102	小学校家庭科	1		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk CDJ 0203	体育	2		1	○	○	◎	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELJ 0201	子どもの英語	2		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk SPS 0201	障害児教育論	2		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Rk SPS 0203	知的障害児の心理・生理・病理	2		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Rk SPS 0202	肢体不自由児の心理・生理・病理	2		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Rk SPS 0301	病弱児の心理・生理・病理	3		2	◎	○		○	RkDP1, 2, 3	
	Rk SPS 0204	知的障害児教育論	2		2	◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk SPS 0302	肢体不自由児教育論	3		2	◎	○		○	RkDP1, 2, 3	
	Rk SPS 0306	病弱児教育論	3		2	◎	○		○	RkDP1, 2, 3	
	Rk SPS 0305	知的障害児教育総論	3		2	◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk SPS 0401	病弱児教育総論	4		2	◎		○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk SPS 0304	重複障害・LD 等の心理・生理・病理	3		2	◎		○		RkDP1, 2, 3	
	Rk SPS 0303	視覚障害児教育論	3		2	◎	○			RkDP1, 2, 3	
	Rk SPS 0402	聴覚障害児教育論	4		2	◎	○	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECE 0101	保育フィールドワーク	1		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELD 0101	学校フィールドワーク	1		2	◎	○	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0301	施設実践演習	3		2	○	◎	○		RkDP1, 2, 3	
	Rk ECJ 0301	運動遊び実践	3		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0204	授業研究 I	2		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0301	授業研究 II	3		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0401	授業研究 III	4		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0209	保育実習指導 I（保育所）	2		1	◎	○	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0210	保育実習 I（保育所）	2		2	○	○	◎	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0304	保育実習指導 I（施設）	3		1	◎	○	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0306	保育実習 I（施設）	3		2		○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0402	保育実習指導 II	4		1	○	◎	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0403	保育実習 II	4		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0404	保育実習指導 III	4		1	○	◎	○	○	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECN 0405	保育実習 III	4		2		○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECT 0201	幼稚園教育実習指導 I	2		1		○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECT 0202	幼稚園教育実習 I	2		2		○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECT 0301	幼稚園教育実習指導 II	3		1		○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ECT 0302	幼稚園教育実習 II	3		2		○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0306	小学校教育実習指導	2~3		1	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0307	小学校教育実習	3		3	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk SPT 0301	特別支援教育実習指導	3		1	○	○		◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk SPT 0302	特別支援教育実習	3		2	○	○		◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk ELT 0402	学校インターンシップ	4		1	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	
	Rk CDT 0401	総合実践演習（保・幼・小）	4		2	○	○	○	◎	RkDP1, 2, 3	

◇＝リピート履修可能科目

ディプロマ・ポリシー（DP）：卒業の認定に関する方針	
RkDP1	知識・技能 子ども学の学びを通した多角的・多面的な子ども理解を中心とし、子どもの心身の発達、子どもと保護者を包括的に支援するための基礎的学力とコミュニケーション能力、専門的知識と実践的技能を身につけている。
RkDP2	思考力・判断力・表現力 子ども学の学びを基盤として、子どもの成長・発達を判断のよりどころとして子どもの育ちや環境について考える思考様式、およびそこに存在する問題の解決や、よりよい育ちを支えるモノやコトを考えデザインすることができる。
RkDP3	意欲・態度 キリスト教を基盤とした「愛」の精神に基づき、子どもが創造的に生きるための基礎づくりを援助しようとする愛情と責任ある姿勢・態度を形成していること意欲を持って知識と技術を学び続ける意欲・態度を持っている。

国際キャリア学部　2019~2022年度入学生

（ー）　国際英語学科

（必修58単位、選択66単位以上、計124単位以上修得のこと）

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
必修科目		**【基盤教育科目　基礎必修科目群】**									
	Ge BSC 0101	福岡女学院学	1	2		◎				leDP3	18 単位必修
	Ge BSC 0201	▲ キリスト教の歴史	2	2		◎				leDP3	
	Ge BSC 0301	キリスト教人間学	3	2		◎				leDP3	
	Ge BSC 0102	First-year English A I	1	2			◎			leDP1	
	Ge BSC 0105	First-year English A II	1	2			◎			leDP1	
	Ge BSC 0103	First-year English B I	1	2			◎			leDP1	
	Ge BSC 0106	First-year English B II	1	2			◎			leDP1	
	Ge BSC 0104	情報リテラシー	1	2		◎	○	○		leDP3	
	Ge BSC 0107	女性のキャリア形成 I	1	2		◎	○			leDP3	
		【専門教育科目】									28 単位必修
	Ie ENG 0101	Reading Skills I	1	2			◎			leDP1	
	Ie ENG 0104	Reading Skills II	1	2			◎			leDP1	
	Ie ENG 0102	Writing Skills I	1	2			◎			leDP1	
	Ie ENG 0105	Writing Skills II	1	2			◎			leDP1	
	Ie ENG 0103	Test Taking Skills I	1	2			◎			leDP1	
	Ie ENG 0106	Communicative Grammar	1	2		◎	○			leDP1	
	Ie INT 0101	Introduction to International Affairs	1	2		◎		○	○	leDP3	
	Ie INT 0102	Introduction to International Cooperation	1	2				○	◎	leDP3	
	Ie ENG 0201	△ Academic Reading Skills I	2	2			◎			leDP1	
	Ie ENG 0204	▲ Academic Reading Skills II	2	2			◎			leDP1	
	Ie ENG 0202	△ Academic Writing Skills I	2	2			◎			leDP1	
	Ie ENG 0205	▲ Academic Writing Skills II	2	2			◎			leDP1	
	Ie ENG 0203	△ Discussion Skills I	2	2		○	◎		○	leDP1	
	Ie ENG 0206	▲ Discussion Skills II	2	2		○	◎		○	leDP1	
		【総合演習科目】									12 単位必修
	Ie BSC 0101	Freshers Seminar I	1	2			○	◎	○	leDP3	
	Ie BSC 0102	Freshers Seminar II	1	2			○	◎	○	leDP3	
	Ie BSC 0301	Junior Seminar I	3	2		◎	○		○	leDP3	
	Ie BSC 0302	Junior Seminar II	3	2		◎	○		○	leDP3	
	Ie BSC 0401	Senior Seminar I	4	2		◎	○		○	leDP3	
	Ie BSC 0402	Senior Seminar II	4	2		◎	○		○	leDP3	
選択科目		**【基盤教育科目　言語科目群】**									選択科目は計66単位以上の履修とし、専門教育科目から34単位以上、残りは基盤教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目（12単位が上限）から修得すること。
	Ge LNG 0101	Test Preparation	1		2	○	◎				
	Ge LNG 0201	Speaking Skills A	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0208	Speaking Skills B	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0202	Reading Skills A	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0209	Reading Skills B	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0203	Listening Skills	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0210	Writing Skills	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0301	Academic Reading A	3		2	○	◎				
	Ge LNG 0302	Academic Reading B	3		2	○	◎				
	Ge LNG 0102	中国語 I	1		2	◎	○			leDP2	
	Ge LNG 0106	中国語 II	1		2	◎	○			leDP2	
	Ge LNG 0204	中国語 III	2		2	○	◎			leDP2	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して主体的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ge LNG 0211	中国語Ⅳ	2		2	○	◎			leDP2	
	Ge LNG 0103	韓国語 I	1		2	◎	○			leDP2	
	Ge LNG 0107	韓国語 II	1		2	◎	○			leDP2	
	Ge LNG 0205	韓国語Ⅲ	2		2	○	◎			leDP2	
	Ge LNG 0212	韓国語Ⅳ	2		2	○	◎			leDP2	
	Ge LNG 0104	フランス語 I	1		2	◎	○			leDP2	
	Ge LNG 0108	フランス語 II	1		2	◎	○			leDP2	
	Ge LNG 0206	フランス語Ⅲ	2		2	○	◎			leDP2	
	Ge LNG 0213	フランス語Ⅳ	2		2	○	◎			leDP2	
	Ge LNG 0105	実用の日本語 I	1		2	○	◎			leDP2	
	Ge LNG 0207	実用の日本語 II	2		2	○	◎			leDP2	
	Ge LNG 0214	実用の日本語Ⅲ	2		2	○	◎			leDP2	
		【基盤教育科目　総合科目群】									
	Ge GEN 0101	哲学・倫理学入門	1		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0102	日本国憲法	1		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0114	社会学入門	1		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0115	経済学入門(国際経済を含む)	1		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0103	ジェンダー・スタディ A	1		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0116	ジェンダー・スタディ B	1		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0117	歴史学入門	1		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0118	統計学入門	1		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0104	基礎数学	1		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0105	生命科学入門	1		2	◎		○		leDP3	
	Ge GEN 0106	環境科学入門	1		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0201	日本史	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0202	世界史	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0203	政治学入門(国際政治を含む)	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0212	法学入門（国際法含む）	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0204	文化人類学入門	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0205	多文化共生論	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0304	国際関係論	3		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0301	NGO・NPO 入門	3		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0107	PC 演習A（ワード）	1		2	○	◎	○		leDP3	
	Ge GEN 0108	PC 演習B（エクセル）	1		2	○	◎	○		leDP3	
	Ge GEN 0109	PC 演習C（応用）	1		2	○	◎	○		leDP3	
	Ge GEN 0213	女性のキャリア形成 II	2		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0302	女性のキャリア形成Ⅲ	3		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0206	インターンシップ	2		2		◎	○		leDP3	
	Ge GEN 0110	人間形成と教育	1		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0207	教育原論	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0214	教育経営論	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0215	教育心理学	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0208	人権教育の理論と指導法	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0216	障害児教育の理論と指導法	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0209	比較教育 A（日本と欧米）	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0217	比較教育B（日本とアジア）	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0218	児童文学（英語）	2		2	◎				leDP3	
	Ge GEN 0111	健康・スポーツ科学理論	1		2	○				leDP3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して主体的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ge GEN 0112	健康・スポーツ科学実習A	1		1	○		◎		leDP3	
	Ge GEN 0119	健康・スポーツ科学実習B	1		1	○		◎		leDP3	
	Ge GEN 0210	◇ スポーツ実習	2		1	○		◎		leDP3	
	Ge GEN 0303	総合教養ゼミA	3		2	○	◎			leDP3	
	Ge GEN 0305	総合教養ゼミB	3		2	○	◎			leDP3	
	Ge GEN 0120	手話演習	1		2	○	◎			leDP3	
	Ge GEN 0121	異文化へのアプローチ A(欧米)	1		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0113	異文化へのアプローチ B(アジア)	1		2	◎	○			leDP3	
	Ge GEN 0211	フィールドワーク(いのちと水)	2		2	○		◎		leDP3	
	Ge GEN 0219	フィールドワーク(いのちと土)	2		2	○		◎		leDP3	
		【基盤教育科目　目的別科目群】									
		児童英語教育指導員									
	Ge EYL 0303	キッズコミュニケーション	3		2		◎		○	leDP3	
	Ge EYL 0201	児童英語教育法	2		2		◎		○	leDP3	
	Ge EYL 0301	児童英語指導法演習 I	3		2		◎		○	leDP3	
	Ge EYL 0304	児童英語指導法演習 II	3		2		◎		○	leDP3	
	Ge EYL 0302	児童英語フィールドワーク I	3		2		◎		○	leDP3	
	Ge EYL 0305	児童英語フィールドワーク II	3		2		◎		○	leDP3	
		【基盤教育科目　目的別科目群】									
		日本語教員									
	Ge TJL 0203	児童日本語教育法	2		2	◎	○	○			
	Ge TJL 0201	日本語教育概論 I	2		2	◎	○	○			
	Ge TJL 0204	日本語教育概論 II	2		2	◎	○	○			
	Ge TJL 0301	日本語教材研究 I	3		2	○	◎		○		
	Ge TJL 0302	日本語教材研究 II	3		2	○	◎		○		
	Ge TJL 0401	日本語教授法演習 I	4		2	○	◎	○	○		
	Ge TJL 0402	日本語教授法演習 II	4		2	○	◎	○	○		
	Ge TJL 0202	日本語教育実習フィールドワーク	2		2	○	◎	○	○		
		【基盤教育科目　日本語科目群】									
		非日本語母語話者対象									
	Ge JSL 0101	日本語の作文（上級） I	1		2	○	◎			leDP2	
	Ge JSL 0105	日本語の作文（上級） II	1		2	○	◎			leDP2	
	Ge JSL 0102	日本語の読解（上級） I	1		2	○	◎			leDP2	
	Ge JSL 0106	日本語の読解（上級） II	1		2	○	◎			leDP2	
	Ge JSL 0103	日本語の会話（上級） I	1		2	○	◎			leDP2	
	Ge JSL 0107	日本語の会話（上級） II	1		2	○	◎			leDP2	
	Ge JSL 0104	日本語の聴解（上級） I	1		2	○	◎			leDP2	
	Ge JSL 0108	日本語の聴解（上級） II	1		2	○	◎			leDP2	
	Ge JSL 0201	専門日本語 I	2		2	○	◎			leDP2	
	Ge JSL 0203	専門日本語 II	2		2	○	◎			leDP2	
	Ge JSL 0202	日本語の表現技術 I	2		2	○	◎			leDP2	
	Ge JSL 0204	日本語の表現技術 II	2		2	○	◎			leDP2	
		【専門教育科目】									
	Ie ENG 0107	※1 Test Taking Skills II	1		2	○	◎			leDP1	
	Ie BSC 0103	Research Methods	1		2	○	◎			leDP3	
	Ie ENE 0201	Introduction to English Education	2		2	◎	○			leDP3	
	Ie ENE 0202	Theories and Methods	2		2	◎	○			leDP3	
	Ie ENE 0203	Testing and Language Assessment	2		2	◎	○			leDP3	
	Ie ENE 0204	L2 Acquisition	2		2	◎			○	leDP3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して主体的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	le ENE 0206	English for Young Learners Methodology	2		2		◎		○	leDP2, leDP3	
	le ENE 0303	English for Young Learners Seminar Ⅰ	3		2		◎		○	leDP2, leDP3	
	le ENE 0304	English for Young Learners Seminar Ⅱ	3		2		◎		○	leDP2, leDP3	
	le ENE 0305	English for Young Learners Fieldwork Ⅰ	3		2		◎		○	leDP2, leDP3	
	le ENE 0306	English for Young Learners Fieldwork Ⅱ	3		2		◎		○	leDP2, leDP3	
	le ENE 0302	Kids Communication	3		2		◎		○	leDP3	
	le ENE 0401	Advanced Practicum	4		2	○	◎			leDP2, leDP3	
	le ENE 0205	Materials Development	2		2	◎	○		○	leDP3	
	le ENE 0301	Bilingualism	3		2	◎			○	leDP3	
	le ENL 0101	Intercultural Communication	1		2	◎	○	○		leDP3	
	le ENL 0102	English as a Global Language	1		2	◎		○		leDP3	
	le LIT 0201	English and British Culture	2		2	◎		○		leDP3	
	le LIT 0203	English and American Culture	2		2	◎		○		leDP3	
	le INT 0201	International Affairs Ⅰ	2		2	○			◎	leDP3	
	le INT 0301	International Affairs Ⅱ	3		2	○			◎	leDP3	
	le INT 0202	World Development Assistance Ⅰ	2		2			○	◎	leDP3	
	le INT 0302	World Development Assisstance Ⅱ	3		2			○	◎	leDP3	
	le INT 0203	International Fieldwork Ⅰ	2		2	○			◎	leDP2, leDP3	
	le INT 0303	International Fieldwork Ⅱ	3		2	○			◎	leDP2, leDP3	
	le INT 0304	International Fieldwork Ⅲ	3		2		◎	○		leDP2, leDP3	
	le ENG 0301	Advanced Discussion	3		2	○	◎		○	leDP2, leDP3	
	le ENL 0201	English Linguistics	2		2	◎	○			leDP3	
	le ENL 0202	English Phonetics	2		2	◎	○			leDP3	
	le ENL 0203	English Grammar	2		2	◎	○			leDP3	
	le LIT 0202	History of English Literature	2		2	◎		○		leDP3	
	le LIT 0204	History of American Literature	2		2	◎		○		leDP3	
	le ENL 0301	Semantics	3		2	◎			○	leDP3	
	le ENL 0302	Pragmatics	3		2	◎			○	leDP3	
	le ENL 0303	Language and Thought	3		2	◎			○	leDP3	
	le LIT 0301	English Literature Ⅰ	3		2	◎		○		leDP3	
	le LIT 0302	English Literature Ⅱ	3		2	◎		○		leDP3	
	le LIT 0303	American Literature Ⅰ	3		2	◎		○		leDP3	
	le LIT 0304	American Literature Ⅱ	3		2	◎		○		leDP3	
	le ENG 0108	◇ Workshop	1		2		◎			leDP1	
	le PRA 0201	Internship Ⅰ	2		2			○	◎	leDP2, leDP3	
	le PRA 0202	Internship Ⅱ	2		2			○	◎	leDP2, leDP3	
	le SOP 0201	Short Overseas	2		6			○	◎	leDP1, leDP2	
	le SAP 0201	※2 Study Abroad Ⅰ	2		16			○	◎	leDP1, leDP2	
	le SAP 0202	※3 Study Abroad Ⅱ	2		16			○	◎	leDP1, leDP2	
自由科目	le TTC 0204	教師論	2		2	◎	○	○		leDP3	共通開設
	le TTC 0205	特別支援教育	2		2	◎	○	○		leDP3	共通開設
	le TTC 0201	教育課程論	2		2	◎	○	○		leDP3	共通開設
	le TTC 0202	英語科教育法Ⅰ	2		2	◎	○	○		leDP2, leDP3	
	le TTC 0206	英語科教育法Ⅱ	2		2	◎	○	○		leDP2, leDP3	
	le TTC 0301	英語科教育法Ⅲ	3		2	◎	○	○		leDP2, leDP3	
	le TTC 0303	英語科教育法Ⅳ	3		2	◎	○	○		leDP2, leDP3	
	le TTC 0207	教育方法論	2		2	◎	○	○		leDP3	共通開設
	le TTC 0304	道徳教育の理論と指導法	3		2	◎	○	○		leDP3	共通開設

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して主体的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
自由科目	le TTC 0203	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2	◎	○	○		leDP3	共通開設
	le TTC 0302	生徒・進路指導論（キャリア教育の理論及び方法を含む）	3		2	◎	○	○		leDP3	共通開設
	le TTC 0305	教育相談	3		2	◎	○	○		leDP3	共通開設
	le TTC 0306	教育実習Ⅰ	3		1	◎	○	○		leDP3	共通開設
	le TTC 0401	教育実習ⅡA	4		4	◎	○	○		leDP3	共通開設
	le TTC 0402	教育実習ⅡB	4		2	◎	○	○		leDP3	共通開設
	le TTC 0403	教職実践演習（中・高）	4		2	◎	○	○		leDP3	共通開設
	le TTC 0208	学校インターンシップ	2		1	◎	○	○		leDP3	共通開設

◇＝リピート履修可能科目

※1「Test Taking Skills Ⅱ」は、2019 年度生のみリピート履修可。

※2「Study Abroad Ⅰ」を修得した場合、「Study Abroad Ⅰ」16 単位のうち、6 単位を△科目（Academic Reading Skills Ⅰ、Academic Writing Skills Ⅰ、Discussion Skills Ⅰ）として読み替えるため、成績表には「Study Abroad Ⅰ」10単位として表記される。

※3「Study Abroad Ⅱ」を修得した場合、「Study Abroad Ⅱ」16 単位のうち、8 単位を▲科目（キリスト教の歴史、Academic Reading Skills Ⅱ、Academic Writing Skills Ⅱ、Discussion Skills Ⅱ）として読み替えるため、成績表には「Study Abroad Ⅱ」8 単位として表記される。

ディプロマ・ポリシー（DP）：卒業の認定に関する方針	
国際キャリア学部は「グローバル人材育成」を教育目標にして、将来「女性のリーダー」として世界で活躍できる人材を育成します。学士課程にあたっては、所定の年限在学し、所定の単位数を修得し、かつ各学科の定める教育目標に到達した者に学士号（国際英語）を授与します。	
leDP1	1. 実務で通用しうる高度な英語力を身につけている。
leDP2	2. グローバル人材として活躍できるコミュニケーション能力を身につけている。
leDP3	3. 主たる専門領域に関する深い理解力、批判的思考力、分析力を身につけている。

（二） 国際キャリア学科

（必修58単位、選択66単位以上、計124単位以上修得のこと）

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
必修科目		**【基盤教育科目 基礎必修科目群】**									
	Ge BSC 0101	福岡女学院学	1	2		◎				IcDP3	18 単位必修
	Ge BSC 0201	▲ キリスト教の歴史	2	2		◎				IcDP3	
	Ge BSC 0301	キリスト教人間学	3	2		◎				IcDP3	
	Ge BSC 0102	First-year English A I	1	2			◎			IcDP1	
	Ge BSC 0105	First-year English A II	1	2			◎			IcDP1	
	Ge BSC 0103	First-year English B I	1	2			◎			IcDP1	
	Ge BSC 0106	First-year English B II	1	2			◎			IcDP1	
	Ge BSC 0104	情報リテラシー	1	2		◎	○	○		IcDP2	
	Ge BSC 0107	女性のキャリア形成 I	1	2		◎	○			IcDP2	
		【専門教育科目】									
	IC BSC 0101	Reading and Writing Skills I	1	2		○	◎			IcDP1	28 単位必修
	IC BSC 0102	Reading and Writing Skills II	1	2		○	◎			IcDP1	
	IC BSC 0103	Critical Thinking	1	2			○		◎	IcDP1	
	IC BSC 0104	Presentation Skills	1	2			◎		○	IcDP2	
	IC BSC 0105	Communication Skills I	1	2		○	◎			IcDP1	
	IC BSC 0106	Communication Skills II	1	2		○	◎			IcDP1	
	IC DPY 0101	Introduction to Communication	1	2		◎	○	○	○	IcDP2, IcDP3	
	IC DPX 0102	Introduction to Global Career	1	2		○	○	◎	○	IcDP2	
	IC BSC 0201	△ Reading and Writing Skills III	2	2		○	◎			IcDP1	
	IC BSC 0202	▲ Reading and Writing Skills IV	2	2		○	◎			IcDP1	
	IC DPX 0201	△ Business Communication I	2	2		○	◎			IcDP1	
	IC DPX 0202	▲ Business Communication II	2	2		○	◎			IcDP1	
	IC DPX 0203	△ Business Reading I	2	2		◎	○			IcDP1	
	IC DPX 0204	▲ Business Reading II	2	2		◎	○			IcDP1	
		【総合演習科目】									
	IC BSC 0101	Freshers Seminar I	1	2		◎	○	○	○	IcDP2	12 単位必修
	IC BSC 0102	Freshers Seminar II	1	2		◎	○	○	○	IcDP3	
	IC BSC 0301	Junior Seminar I	3	2		◎	○	○	○	IcDP3	
	IC BSC 0302	Junior Seminar II	3	2		◎	○	○	○	IcDP3	
	IC BSC 0401	Senior Seminar I	4	2		◎	○	○	○	IcDP3	
	IC BSC 0402	Senior Seminar II	4	2		◎	○	○	○	IcDP3	
選択科目		**【基盤教育科目 言語科目群】**									選択科目は計66単位以上の履修とし、専門教育科目から34単位以上、残りは基盤教育科目、専門教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目(12単位が上限)から修得すること。
	Ge LNG 0101	Test Preparation	1		2	○	◎				
	Ge LNG 0201	Speaking Skills A	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0208	Speaking Skills B	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0202	Reading Skills A	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0209	Reading Skills B	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0203	Listening Skills	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0210	Writing Skills	2		2	○	◎				
	Ge LNG 0301	Academic Reading A	3		2	○	◎				
	Ge LNG 0302	Academic Reading B	3		2	○	◎				
	Ge LNG 0102	中国語 I	1		2	◎	○			IcDP2	
	Ge LNG 0106	中国語 II	1		2	◎	○			IcDP2	
	Ge LNG 0204	中国語 III	2		2	○	◎			IcDP2	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ge LNG 0211	中国語 IV	2		2	○	◎			IcDP2	
	Ge LNG 0103	韓国語 I	1		2	◎	○			IcDP2	
	Ge LNG 0107	韓国語 II	1		2	◎	○			IcDP2	
	Ge LNG 0205	韓国語 III	2		2	○	◎			IcDP2	
	Ge LNG 0212	韓国語 IV	2		2	○	◎			IcDP2	
	Ge LNG 0104	フランス語 I	1		2	◎	○			IcDP2	
	Ge LNG 0108	フランス語 II	1		2	◎	○			IcDP2	
	Ge LNG 0206	フランス語 III	2		2	○	◎			IcDP2	
	Ge LNG 0213	フランス語 IV	2		2	○	◎			IcDP2	
	Ge LNG 0105	実用の日本語 I	1		2	○	◎			IcDP2	
	Ge LNG 0207	実用の日本語 II	2		2	○	◎			IcDP2	
	Ge LNG 0214	実用の日本語 III	2		2	○	◎			IcDP2	
		【基盤教育科目 総合科目群】									
	Ge GEN 0101	哲学・倫理学入門	1		2	◎	○			IcDP3	
	Ge GEN 0102	日本国憲法	1		2	◎	○			IcDP3	
	Ge GEN 0114	社会学入門	1		2	◎	○			IcDP3	
	Ge GEN 0115	経済学入門（国際経済を含む）	1		2	◎	○			IcDP3	
	Ge GEN 0103	ジェンダー・スタディ A	1		2	◎	○			IcDP3	
	Ge GEN 0116	ジェンダー・スタディ B	1		2	◎	○			IcDP3	
	Ge GEN 0117	歴史学入門	1		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0118	統計学入門	1		2	◎	○			IcDP3	
	Ge GEN 0104	基礎数学	1		2	◎	○			IcDP3	
	Ge GEN 0105	生命科学入門	1		2	◎		○		IcDP3	
	Ge GEN 0106	環境科学入門	1		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0201	日本史	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0202	世界史	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0203	政治学入門（国際政治を含む）	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0212	法学入門（国際法含む）	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0204	文化人類学入門	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0205	多文化共生論	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0304	国際関係論	3		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0301	NGO・NPO 入門	3		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0107	PC 演習A（ワード）	1		2	○	◎	○		IcDP2	
	Ge GEN 0108	PC 演習B（エクセル）	1		2	○	◎	○		IcDP2	
	Ge GEN 0109	PC 演習C（応用）	1		2	○	◎	○		IcDP2	
	Ge GEN 0213	女性のキャリア形成 II	2		2	◎	○			IcDP2	
	Ge GEN 0302	女性のキャリア形成 III	3		2	◎	○			IcDP2	
	Ge GEN 0206	インターンシップ	2		2		◎	○		IcDP2	
	Ge GEN 0110	人間形成と教育	1		2	◎				IcDP2	
	Ge GEN 0207	教育原論	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0214	教育経営論	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0215	教育心理学	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0208	人権教育の理論と指導法	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0216	障害児教育の理論と指導法	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0209	比較教育 A（日本と欧米）	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0217	比較教育 B（日本とアジア）	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0218	児童文学（英語）	2		2	◎				IcDP3	
	Ge GEN 0111	健康・スポーツ科学理論	1		2	○				IcDP3	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 統合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	Ge GEN 0112	健康・スポーツ科学実習A	1		1	○		◎		IcDP3	
	Ge GEN 0119	健康・スポーツ科学実習B	1		1	○		◎		IcDP3	
	Ge GEN 0210	◇スポーツ実習	2		1	○		◎		IcDP3	
	Ge GEN 0303	総合教養ゼミA	3		2	○	◎			IcDP3	
	Ge GEN 0305	総合教養ゼミB	3		2	○	◎			IcDP3	
	Ge GEN 0120	手話演習	1		2	○	◎			IcDP3	
	Ge GEN 0121	異文化へのアプローチ A(欧米)	1		2	◎	○			IcDP2	
	Ge GEN 0113	異文化へのアプローチ B(アジア)	1		2	◎	○			IcDP2	
	Ge GEN 0211	フィールドワーク(いのちと水)	2		2	○		◎		IcDP2	
	Ge GEN 0219	フィールドワーク(いのちと土)	2		2	○		◎		IcDP2	
		【基盤教育科目　目的別科目群】									
		児童英語教育指導員									
	Ge EYL 0303	キッズコミュニケーション	3		2		◎		○		
	Ge EYL 0201	児童英語教育法	2		2		◎		○		
	Ge EYL 0301	児童英語指導法演習 I	3		2		◎		○		
	Ge EYL 0304	児童英語指導法演習 II	3		2		◎		○		
	Ge EYL 0302	児童英語フィールドワーク I	3		2		◎		○		
	Ge EYL 0305	児童英語フィールドワーク II	3		2		◎		○		
		【基盤教育科目　目的別科目群】									
		日本語教員									
	Ge TJL 0203	児童日本語教育法	2		2	◎	○	○		IcDP3	
	Ge TJL 0201	日本語教育概論 I	2		2	◎	○	○		IcDP3	
	Ge TJL 0204	日本語教育概論 II	2		2	◎	○	○		IcDP3	
	Ge TJL 0301	日本語教材研究 I	3		2	○	◎		○	IcDP3	
	Ge TJL 0302	日本語教材研究 II	3		2	○	◎		○	IcDP3	
	Ge TJL 0401	日本語教授法演習 I	4		2	○	◎	○	○	IcDP3	
	Ge TJL 0402	日本語教授法演習 II	4		2	○	◎	○	○	IcDP3	
	Ge TJL 0202	日本語教育実習フィールドワーク	2		2	○	◎	○	○	IcDP3	
		【基盤教育科目　日本語科目群】									
		非日本語母語話者対象									
	Ge JSL 0101	日本語の作文（上級） I	1		2	○	◎			IcDP2	
	Ge JSL 0105	日本語の作文（上級） II	1		2	○	◎			IcDP2	
	Ge JSL 0102	日本語の読解（上級） I	1		2	○	◎			IcDP2	
	Ge JSL 0106	日本語の読解（上級） II	1		2	○	◎			IcDP2	
	Ge JSL 0103	日本語の会話（上級） I	1		2	○	◎			IcDP2	
	Ge JSL 0107	日本語の会話（上級） II	1		2	○	◎			IcDP2	
	Ge JSL 0104	日本語の聴解（上級） I	1		2	○	◎			IcDP2	
	Ge JSL 0108	日本語の聴解（上級） II	1		2	○	◎			IcDP2	
	Ge JSL 0201	専門日本語 I	2		2	○	◎			IcDP2	
	Ge JSL 0203	専門日本語 II	2		2	○	◎			IcDP2	
	Ge JSL 0202	日本語の表現技術 I	2		2	○	◎			IcDP2	
	Ge JSL 0204	日本語の表現技術 II	2		2	○	◎			IcDP2	
		【専門教育科目】									
	IC BSC 0107	◇ Test Taking Skills	1		2		◎			IcDP1	
	IC DPX 0101	Introduction to World Business(国際キャリア入門)	1		2	○		○		IcDP3	
	IC DPY 0201	Intercultural Communication	2		2	◎	○	○	○	IcDP2, IcDP3	
	IC DPY 0202	Communication Strategy	2		2	○	○	○	◎	IcDP2, IcDP3	
	IC BSC 0203	Analysis and Discussion I	2		2		◎		○	IcDP1	
	IC BSC 0204	Analysis and Discussion II	2		2		◎		○	IcDP1	

	科目ナンバー	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業を通して重点的に修得できる力 知識・理解	授業を通して重点的に修得できる力 汎用的技能	授業を通して重点的に修得できる力 態度・志向性	授業を通して重点的に修得できる力 統合的な学習経験と創造的思考力	関連 DP	備考
選択科目	IC DPY 0301	American Literature I	3		2	◎				IcDP3	
	IC DPY 0302	American Literature II	3		2	◎				IcDP3	
	IC DPY 0303	English Literature I	3		2	◎				IcDP3	
	IC DPY 0304	English Literature II	3		2	◎				IcDP3	
	IC DPY 0305	English and Media I	3		2	○	◎		○	IcDP3	
	IC DPY 0306	English and Media II	3		2	○	◎		○	IcDP3	
	IC DPX 0205	Introduction to Economics	2		2	◎		○		IcDP3	
	IC DPX 0206	International Career I	2		2	○	○	◎	○	IcDP1	
	IC DPX 0207	International Career II	2		2	○	○	◎	○	IcDP2	
	IC DPX 0208	International Marketing	2		2	◎	○	○	○	IcDP1	
	IC DPX 0209	International Finance	2		2	◎	○	○	○	IcDP2	
	IC DPZ 0301	International Relations I	3		2	◎	○	○	○	IcDP3	
	IC DPZ 0302	International Relations II	3		2	◎	○	○	○	IcDP3	
	IC DPX 0301	Human Resource Management	3		2	○		○		IcDP3	
	IC DPX 0302	Japanese Industry	3		2	○		○		IcDP3	
	IC DPX 0303	Company Law	3		2	◎	○	○	○	IcDP1	
	IC DPX 0304	Current Business (Lecture series)	3		2	○		○		IcDP3	
	IC DPZ 0303	NPO Fieldwork	3		2			◎		IcDP3	
	IC DPX 0305	International Career Fieldwork	3		2	○	○	◎	○	IcDP3	
	IC DPX 0306	Japanese Career Fieldwork	3		2	○		○		IcDP3	
	IC DPZ 0201	International Cooperation(国際協力 A)	2		2			◎		IcDP2	
	IC DPZ 0202	International Cooperation(国際協力 B)	2		2			◎		IcDP2	
	IC DPZ 0203	American Studies A (Culture)	2		2	◎	○	○	○	IcDP3	
	IC DPZ 0204	American Studies B (Politics)	2		2	◎	○	○	○	IcDP3	
	IC DPZ 0205	Asian Studies A (Culture)	2		2	◎		○	○	IcDP3	
	IC DPZ 0206	Asian Studies B (Politics)	2		2	◎		○	○	IcDP3	
	IC DPZ 0304	Japanese Studies A (Culture)	3		2	◎		○	○	IcDP3	
	IC DPZ 0305	Japanese Studies B (Politics)	3		2	◎			○	IcDP1	
	IC DPZ 0306	Japanese Studies C (Literature)	3		2	◎			○	IcDP3	
	IC DPZ 0307	Japanese Studies D (History)	3		2	◎		○	○	IcDP1	
	IC BSC 0107	中国語会話 I	1		2	○	◎			IcDP2	
	IC BSC 0108	中国語会話 II	1		2	○	◎			IcDP2	
	IC BSC 0205	中国語ビジネス会話 I	2		2	○	◎			IcDP2	
	IC BSC 0206	中国語ビジネス会話 II	2		2	○	◎			IcDP2	
	IC BSC 0108	日本語ビジネス会話 I	1		2		◎	○	○	IcDP2	
	IC BSC 0109	日本語ビジネス会話 II	1		2		◎	○	○	IcDP2	
	IC BSC 0207	インテンシブ日本語	2		2		◎	○		IcDP2	
	IC DPZ 0307	Japanese Culture Fieldwork	3		2			◎	○	IcDP3	
	IC SOP 0201	Short Overseas	2		6	○	◎	○	○	IcDP1	
	IC SAP 0201	※1 Study Abroad I	2		16	○	◎	○	○	IcDP1	
	IC SAP 0202	※2 Study Abroad II	2		16	○	◎	○	○	IcDP1	
	IC DPX 0210	Business Internship I	2		2	○	○	○	○	IcDP3	
	IC DPX 0211	Business Internship II	2		2	○	○	○	○	IcDP3	

◇＝リピート履修可能科目

※1 「Study Abroad I」を修得した場合、「Study Abroad I」16 単位のうち、6 単位を△科目（Reading and Writing Skills Ⅲ、Business Communication I、Business Reading I）として読み替えるため、成績表には「Study Abroad I」10 単位として表記される。

※2 「Study Abroad II」を修得した場合、「Study Abroad II」16 単位のうち、8 単位を▲科目（キリスト教の歴史、Reading and Writing Skills Ⅳ、Business Communication II、Business Reading II）として読み替えるため、成績表には「Study Abroad II」8 単位として表記される。

ディプロマ・ポリシー（DP）：卒業の認定に関する方針	
国際キャリア学部は「グローバル人材育成」を教育目標にして、将来「女性のリーダー」として世界で活躍できる人材を育成します。学士課程にあたっては、所定の年限在学し、所定の単位数を修得し、かつ各学科の定める教育目標に到達した者に学士号（国際英語）を授与します。	
IcDP1	1. 実務で通用しうる高度な英語力を身につけている。
IcDP2	2. グローバル人材として活躍できるコミュニケーション能力を身につけている。
IcDP3	3. 主たる専門領域に関する深い理解力、批判的思考力、分析力を身につけている。

Part1【学　　籍】

修業年限と在学年限

修業年限とは、大学の教育課程を修了するのに必要な期間を示します。これに対して在学年限とは、学生が大学に在学できる最長期間のことを示します。本学においては、修業年限は４年、在学年限は８年と定められています。（学則第4条、5条）
※長期履修学生制度については、別に定めます。（P.91）

休　　学

疾病その他やむを得ない理由で、３ヶ月以上修学できない者は、保証人連署の上理由書を付して願い出、学長の許可を得て休学することができます。

疾病のため修学することが適当でないと認められる場合は学長は休学を命ずることができます。疾病の場合は医師の診断書が必要となります。（学則第30条、31条）

(1) 休学期間は1年以内とします。ただし特別の理由がある場合は、休学期間を延長することができます。
(2) 休学期間は通算して４年を越えることはできません。
(3) 休学期間は在学年限には算入しません。

復　　学

(1) 休学の期間が過ぎて復学する場合は、所定の手続きにしたがい復学願を提出しなければなりません。
(2) 前期又は後期のみ休学して復学した場合は、原則として翌年４月に１学年進級します。ただし、卒業までの修業年限が短縮されることはありません。
(3) １年間休学して復学した場合は、年次は原級にとどまります。ただし、学部改組に伴う廃止予定の学科の学生については、経過処置として、原級にとどめず、翌年４月に進級します。

退　　学

(1) 事情により退学しなければならなくなった場合は、所定の手続きにしたがい退学願を提出し、同時に学生証を返却しなければなりません。なお、退学願を提出する場合は、あらかじめクラスやセミナーのアドバイザーまたは学生課に相談してください。
(2) 学則または諸規定に違反し、あるいは学生としての本分に反する次の各号の１つに該当する行為があった場合は、教授会の議を経て、学長が退学を命じることがあります。なお、下記の「学業を怠り」については、単位修得数、ＧＰＡ等に基づき総合的に判断します。（学則第 46 条）
① 性行不良で改善の見込みがない者
② 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者
③ 正当の理由がなくて、出席常でない者
④ 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

除　　籍

学長は学生が次の各号の１つに該当する場合は、教授会の議を経て、除籍することができます（学則第29条の2）。なお、除籍とは学則に基づいて学長が行う退学処分のうち、懲戒による退学を除いたもので、在学関係の解除が事務処理的に行われるものです。

①　期限までに学費の納入を行わず、督促してもなお納入しない場合
②　在学が８年に及び、なお卒業資格が得られない場合
③　休学期間が通算して４年を超え、なお復学できない場合
④　その他、除籍が必要と認められた場合

転部・転科

本学学生で所属している学部・学科から転部または転科を志願する者があるときは、選考の上、相当年次に転部または転科を許可することがあります。（学則第32条の2・転部または転科に関する内規）

再 入 学

本学を退学した者で、退学した時に所属していた学部・学科への入学を志願する者があるときは、選考の上、相当年次に入学を許可することがあります。（学則第34条）

編 入 学

次の各号の１つに該当する者で、本学へ編入学を志願する者は、選考の上、相当年次に入学を許可することがあります。（学則第34条）

①　大学を卒業、または退学した者および除籍された者（但し、再入学に該当する者を除きます）
②　短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者
③　旧制の高等学校・専門学校または教員養成諸学校の課程を修了し、または、卒業した者（旧制の学校とは、学校教育法施行規則第92条の3に定める従前の規定による学校をさします）

聴 講 生

本学では、特定の授業科目の聴講を志願する者がある場合は、正規の学生の学修に妨げのない限り、教授会で選考の上、聴講生となることを許可します。

●聴講生は単位を取得することはできません。

(1) 出願資格

高等学校を卒業もしくはこれと同等以上の学力があると認められる女子
＊聴講年度において大学に在学中である者を除きます。

(2) 募集学部・学科

全学部・全学科　それぞれ若干名を募集

(3) 聴講科目

人文学部、人間関係学部、国際キャリア学部、短期大学部で開講されている科目
ただし、実験・実習・演習など一部の科目については科目担当者の承認が必要となります。なお、在学生で履修者多数、その他理由により聴講を許可しない場合があります。

(4) 聴講制限科目数

半期５科目以内

(5) 納入金

①手続費用 5,000 円
・前年度からの継続者は、免除。
・新規に科目等履修ならびに聴講を併願した場合は、科目等履修生の手続費用を徴収し、聴講生の手続費用を免除

②聴講料
１科目につき 10,000 円（半期）
＊納入金はいかなる理由であっても返還いたしません。

③諸費用
聴講料の他、実験・実習費その他必要な費用については別に徴収します。

④納入方法
学生課前の証明書発行機を利用してください。

(6) 出願期間および出願先

①出願書類配布（教務課にて配布）／出願期間
前期・通年科目　3月8日(火)～14日(月)17:00
後期科目　8月17日(水)～23日(火)17:00
配布書類には、履修ガイド、授業時間割を含みます。
教務課窓口の受付時間内に出願書類を提出してください。
■ 受付時間 ■ 月～金 9 :00 ～ 17:00

②出願先
福岡女学院大学　教務課　聴講生係
教務課窓口にて受付。

(7) 出願書類

①聴講願（本学所定のもの）※出願後の科目の変更はできません。
②履歴書（本学所定のもの）※後期出願で、当該年度の前期から継続の場合は、不要。
③最終学校卒業証明書
④最終学校成績証明書
⑤写真（カラー正面上半身脱帽　縦4cm x 横3cm　出願3ヵ月以内に撮影したものを履歴書に貼付）１枚

注）日本国籍以外の方は別途提出書類をお願いする場合があります。

(8) 選考について

選考方法……書類審査

(9) 聴講許可発表（本人宛に通知書発送）

前期･通年科目　4月7日㈭

後期科目　9月10日㈯

(10) 聴講手続き

前期･通年科目　4月11日㈪～15日㈮17:00

後期科目　9月13日㈫～20日㈫17:00

場所　教務課窓口　月～金　9 :00 ～17:00

手続き期間内に手続きをしなかった場合は、聴講生になることを辞退したものとみなし、聴講許可を取り消します。

※授業開始日　前期 4月11日㈪、後期9月13日㈫

(11) 手続き書類

①聴講生カード（本学所定のもの）

②写真（カラー正面上半身脱帽　縦5cm x 横4cm）1 枚　聴講生カード用

写真（カラー正面上半身脱帽　縦4cm x 横3cm）1 枚　聴講生証用

裏面に氏名を記入、出願 3 ヵ月以内に撮影したもの。後期出願で、当該年度の前期からの継続の場合は、不要。

(12) その他

①手続き完了者には、聴講生証を交付します。

②聴講生の在学年限は、半期または 1 年間（当該年の4月から翌年3月までの期間内）とします。ただし、更新をすることができます。その際は、新たに手続きを必要とします。

③聴講生は、本学の図書館等の学内諸施設を利用することができます。

④聴講生には、通学証明書（通学定期券用）および学生割引証は発行されません。

⑤聴講生への伝達事項は、該当学部掲示板またはミッションネットに掲示します。

問い合わせ先　福岡女学院大学 教務課　TEL 092-575-2974

■受付時間■　月～金　9 : 00 ～17 : 00

※土･日･祝日･夏期休業･年末･年始休業期間中は、除きます。

2022 年度　聴講生スケジュール

	前期・通年科目	後期科目
出願期間	3月8日㈫～14日㈪17:00	8月17日㈬～23日㈫17:00
許可発表	4月7日㈭	9月10日㈯
授業開始	4月11日㈪	9月13日㈫
手続き期間	4月11日㈪～15日㈮17:00	9月13日㈫～20日㈫17:00

科目等履修生

科目等履修生とは

科目等履修生制度は、生涯学習の推進を図ること等を目的として、社会人等に対して学習機会を拡大する観点から設けられた制度です。本学では、特定の授業科目の履修及び単位修得を志願する者がある場合は、正規の学生の学修に妨げのない限り、教授会での選考の上、年間 1 科目または複数科目の履修を許可しています。この制度の特徴は科目等履修生が履修した授業科目について所定の課程を修得し、試験に合格した場合には、大学の正規の単位が与えられるところにあります。

なお、本学で授与する資格（※児童英語教育指導員、日本語教員）の取得を目的として、新規申請する科目等履修生に対しては以下のように取り扱います。

･ 福岡女学院大学ならびに福岡女学院大学短期大学部の卒業生（退学、除籍者含む）に限り、在学中に修得した単位を読替の対象とします。

上記以外の出願者については単位の読替は行わず、資格取得に必要な単位を科目等履修生として履修してください。

※児童英語教育指導員について

福岡女学院大学ならびに福岡女学院大学短期大学部英語科の卒業生に限り、取得できます。なお、在学中に修得した単位を読替の対象とします。

(1)出願資格

①高等学校を卒業もしくはこれと同等以上の学力があると認められる女子

＊履修年度において大学に在学中である者を除きます。

②保育士資格を希望する場合は、本学の卒業生（2003年度以降の保育士課程受講者）及び、子ども発達学科を卒業した者に限ります。

③幼稚園教諭免許を希望する場合は、本学の卒業生（2003年度以降の保育士課程受講者）及び、子ども発達学科を卒業した者に限ります。なお、必ず福岡県教育委員会で、取得に必要な科目の履修指導を受けてください。

④小学校教諭免許を希望する場合は、子ども発達学科の卒業生及び、本学の子ども発達学科以外の学部学科の卒業生で小学校教諭免許課程履修を許可された者に限ります。なお、必ず福岡県教育委員会で、取得に必要な科目の履修指導を受けてください。

⑤特別支援学校教諭免許を希望する場合は、子ども発達学科の卒業生及び、本学の子ども発達学科以外の学部学科の卒業生で小学校教諭免許課程履修を許可された者に限ります。なお、必ず福岡県教育委員会で、取得に必要な科目の履修指導を受けてください。

⑥公認心理師に関する科目は科目等履修では履修できません。

(2)募集学部･学科および募集人数

全学部･全学科　それぞれ若干名を募集

(3)履修科目

人文学部、人間関係学部、国際キャリア学部、短期大学部で開講されている科目

ただし、実験･実習･演習など一部の科目については科目担当者の承認が必要となります。なお、在学生で履修者多数、その他理由により履修を許可しない場合があります。

既に単位を修得した科目を再度履修することは出来ません。
ただし、聴講生制度を利用して聴講することは出来ます。
　教育実習等学外でおこなう実習科目についても出願の際には科目等履修願にて申し込みをしてください。

(4)履修制限単位数

大学: 半期 16単位以内
短期大学部: 半期 5科目以内

(5) 納入金

①手続費用 5,000 円
・前年度からの継続者は、免除。
・新規に科目等履修ならびに聴講を併願した場合は、科目等履修生の手続費用を徴収し、聴講生の手続費用を免除。

②科目等履修料
○福岡女学院大学・短期大学(部)・高等学校・中学校の卒業生及び教職員関係者 (家族等)　1 科目につき 20,000円(半期)
○上記以外の者　1 科目につき 30,000円(半期)

＊納入金はいかなる理由であっても返還いたしません。

③諸費用
科目等履修料の他、実験・実習費その他必要な費用については別に徴収します。

④納入方法
学生課前の証明書発行機を利用してください。

(6) 出願期間および出願先

①出願書類配布 (教務課にて配布) ／出願期間
前期・通年科目　3月8日㈫ ～ 14日㈪ 17:00
後期科目　8月17日㈬ ～ 23日㈫ 17:00
配布書類には、履修ガイド、授業時間割を含みます。
教務課窓口の受付時間内に出願書類を提出してください。
■受付時間■ 月～金　9 :00 ～ 17 : 00

②出願先
福岡女学院大学　教務課　科目等履修生係
教務課窓口にて受付。

(7) 出願書類

①科目等履修願 (本学所定のもの) ※出願後の科目の変更はできません。
②履歴書 (本学所定のもの)※後期出願で、当該年度の前期から継続の場合は、不要。
③最終学校卒業証明書
④福岡女学院卒業生についてはそのことを証明する書類
⑤最終学校成績証明書
⑥写真 (カラー正面上半身脱帽　縦 4cm x 横 3cm　出願 3ヵ月以内に撮影したものを履歴書に貼付) 1 枚
注) 日本国籍以外の方は別途提出書類をお願いする場合があります。

(8) 選考について

選考方法……書類審査

(9) 履修許可発表 (本人宛に通知書発送)

前期･通年科目　4月7日㈭
後期科目　9月10日㈯

(10) 履修手続き

前期･通年科目　4月11日㈪ ～15日㈮ 17:00
後期科目　9月13日㈫ ～20日㈫ 17:00
場所　教務課窓口　月～金　9:00 ～ 17:00
履修手続き期間内に手続きをしなかった場合は、科目等履修生になることを辞退したものとみなし、履修許可を取り消します。
※授業開始日　前期 4月11日㈪、後期 9月13日㈫

(11) 手続き書類

①科目等履修生カード (本学所定のもの)
②写真 (カラー正面上半身脱帽　縦5cm x 横4cm) 1 枚　科目等履修生カード用
写真 (カラー正面上半身脱帽　縦4cm x 横3cm) 1 枚　科目等履修生証用
裏面に氏名を記入、出願3ヵ月以内に撮影したもの。後期出願で、今年度、前期から継続の場合は、不要。

(12) その他

①手続き完了者には、科目等履修生証を交付します。
②科目等履修生の在学年限は、半期または 1 年間(当該年の4月から翌年3月までの期間内)とします。ただし、更新をすることができます。その際は、新たに手続きを必要とします。
③履修した科目の試験に合格した者については、単位を与え、成績通知書を本人宛へ郵送します。なお、本人の請求により単位取得証明書を発行します。
④科目等履修生は、本学の図書館等の学内諸施設を利用することができます。
⑤科目等履修生には、通学証明書 (通学定期券用) および学生割引証は発行されません。
⑥科目等履修生への伝達事項は、該当学部掲示板またはミッションネットに掲示します。お問い合わせ先　福岡女学院大学　教務課　TEL 092-575-2974
■受付時間■　月～金　9 : 00 ～17 : 00
※土・日・祝日・夏期休業・年末・年始休業期間中は、除きます。

2022 年度　科目等履修生スケジュール

	前期・通年科目	後期科目
出願期間	3月8日㈫～14日㈪17:00	8月17日㈬～23日㈫17:00
許可発表	4月7日㈭	9月10日㈯
授業開始	4月11日㈪	9月13日㈫
手続き期間	4月11日㈪～15日㈮17:00	9月13日㈫～20日㈫17:00

留　　学

本学の留学プログラムには、「交換留学」「認定留学」の 2種類があります。
交換留学･認定留学以外の私費留学については､留学期間中は休学扱いとなります。
それぞれ内容が異なりますので『留学の手引き』を参考に計画を立ててください。

(1)交換留学

①協定校

国名	学 校 名	所 在 地
アメリカ	Randolph College	バージニア州リンチバーグ
中国	大連外国語大学	大連市
中国	華東師範大学	上海市
韓国	仁濟大学校	金海市
韓国	大邱大学校	慶北慶山市
韓国	東義大学校	釜山市
台湾	長栄大学	台南市

②留学期間 (1 年の場合)
Randolph College :8月中旬～翌年 5月初旬
大連外国語大学: 3月下旬～翌年 1月上旬
華東師範大学: 3月下旬～翌年 1月中旬
仁濟大学校: 3月初旬～ 12月中旬
大邱大学校: 3月初旬～翌年 1月下旬
東義大学校: 3月初旬～ 12月中旬
長栄大学: 2月下旬～翌年 1月上旬

③派遣人数: 各大学へ 1名
(仁濟大学校･大邱大学校･長栄大学校は各2名)

④選考
成績･ 志望理由書と面接により地域･ 国際交流センター運営委員会が選考します。
Randolph CollegeについてはIELTS6.5､TOEFL(iBT)79以上の英語力が必要です。

⑤卒業要件
留学期間が在学期間に含まれるため 4 年間で卒業することも可能。ただし卒業要件単位は 124単位で、これを満たさない場合は 4年間で卒業することができません。教職課程受講など資格取得希望者は現地修得単位での読み替えができませんのでご注意ください。

⑥留学に伴う財政的支援
Ⓐ Randolph College ･ 大連外国語大学:
福岡女学院大学の校納金全額(授業料･施設設備費)が免除されます。
ただし留学先大学の授業料は支払います。
Ⓑ華東師範大学･ 仁濟大学校･ 大邱大学校･ 東義大学校･ 長栄大学:
留学先大学の校納金全額が免除されます。ただし、福岡女学院大学の校納金は全額支払います。

(2)認定留学

①協定校

国名	学 校 名	所 在 地
アメリカ	Central Washington University	ワシントン州シアトル
カナダ	St. Mary's University	ノバスコシア州ハリファックス
カナダ	Vancouver Island University	バンクーバー
中国	大連外国語大学	大連市
中国	華東師範大学	上海市
韓国	延世大学	ソウル市
台湾	長栄大学	台南市
オーストラリア	Southern Cross University	ニューサウスウェールズ州リズモア
オーストラリア	The University of Newcastle	ニューカッスル
イギリス	University of Leeds	リーズ

②留学期間 2月末～翌年 3月中旬 (1年間あるいは半年)
③派遣人数 :10名以内 (半年間は0.5名と換算)
④選考
交換留学と同じです。
⑤卒業要件
交換留学と同じです。
⑥留学に伴う財政的支援
福岡女学院大学の授業料の半額が免除されます。施設設備費は免除の対象になりません。

(3)交換留学･ 認定留学での現地修得単位の読み替えについて
留学期間の修得単位は、地域･ 国際交流センター運営委員会 ･ 教務部委員会 ･ 教授会の承認を経て　通年 32単位･ 半年 16単位を上限として認定されます。
帰国後提出される留学先の成績証明書とレポート等により認定単位数が決定されます。

(4)短期海外研修
「異文化へのアプローチ」科目として、福岡女学院大学の協定校や本学の教職員が視察に赴いたことのある大学の語学施設での短期研修(2 ～ 3 週間)。

(5)留学相談および前後の事務手続き
留学希望者は、125周年記念館 1階地域･ 国際交流センターにてご相談ください。

長期履修学生

長期履修学生制度とは、職業等に従事しながら大学で学ぶことを希望する方々の学習機会を一層拡大する観点から、個人の状況に応じて柔軟に修業年限を越えて授業科目の履修を行い学位を取得できる制度です。

(1)在学期間

6年を越えて 8年までとします。なお、在学期間については出願時に願い出ることとします。

(2)年間の登録単位数

長期履修学生が登録できる単位数は、年間24単位を上限とします。ただし、資格取得に係わる自由科目の履修については、この限りではありません。

(3)校納金等の納入方法について

長期履修学生として入学が認められた学生の校納金等の納入方法は、別に定めます。なお、資格取得に関する費用や、実験・実習費等の納入については、他の学生と同様とします。

(4)その他

長期履修学生については、本学の学則、その他諸規程を準用します。また、教育課程（カリキュラム）は通常の修業年限（4年間）を前提に組まれています。
そのため、長期履修学生については、在学中に教育課程の改正を行うこともあります。

Part2【履　　修】

単　　位

単位とは、学修量を示す基準です。学生は、それぞれの授業科目に与えられている単位を一定の基準にしたがい修得して、学則に定められた単位数に達することにより、卒業の資格が与えられます。

単位と時間数

(1)授業は前期、後期の 2学期に分けられて実施され、原則とし 15週をもって 1学期、30週をもって 1学年としています。

(2)1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。〔本学では、授業時間割の 1時限 (90分)を 2時間とみなします。〕
本学では、授業科目の性質により次の基準で単位数を計算します。
① 講義、演習……30時間または 15時間の授業を 1単位とする
② 実験、実習、実技……45時間または 30時間の授業を 1単位とする

単位の認定

授業科目の担当者が平常の学修状況とその成果を考査した結果、合格と判断した場合には所定の単位が与えられます。ただし、次のいずれかに該当する場合は単位を修得する権利がありません。

①履修登録がなされていない科目
②その授業科目の出席回数が出席すべき回数の 3分の 2に満たない科目
（※この場合は、成績評価はＦとなります）
③学納金未納の場合（※この場合は、該当学期の全科目の単位は無効となります）

卒 業 資 格

休学期間を除いて 4 年以上在学し、学則第 11条および第 12条に定める所定の単位数を修得した者については教授会の議を経て、学長が卒業を認定します。なお、卒業が認定された者にはそれぞれの学部で下記の学士の学位が与えられます。

○人文学部→人文学
○人間関係学部→人間関係学
○国際キャリア学部→国際英語

卒業は 3月とします。ただし、教務会の議を経て前期終了日付の卒業を認めることがあります。

留　　年

各学年ごとに履修すべき科目や単位数が定められていて、それをある程度以上修得しないと上の学年に進級できない制度を「学年制」と呼んでいます。これに対して、最低 4年間に所定の単位を修得しさえすれば卒業できる制度が「単位制」です。

本学は後者の「単位制」をとっています。したがって 1～ 3年次の間は原則として、元の学年にとどまることはありません。しかし、4 年間で卒業に必要な条件を満たさないと卒業できず、留年となります。

卒業に必要な単位数 (P.8 ～以降にある各学部ごとの「教育課程」参照)

●人文学部 (2019～2022年度入学生)

		現代文化学科	言語芸術学科	
			言語芸術コース	英語教職コース
人文学部	必修科目	基盤教育科目 18 単位 総合演習 14 単位	基盤教育科目 18 単位 専門教育科目 30 単位 総合演習 10 単位	基盤教育科目 18 単位 専門教育科目 30 単位 英語教職科目 30 単位 総合演習 10 単位
		計 32 単位	計 58 単位	計 88 単位
	選択必修科目	専門教育科目※ 4単位 5単位以上修得した場合、余剰の単位は、卒業要件の合計単位として認め、選択科目小計及び卒業要件合計に加算する。	専門教育科目 8単位 9単位以上修得した場合、余剰の単位は、卒業要件の合計単位として認め、選択科目小計及び卒業要件合計に加算する。	専門教育科目 8単位 9単位以上修得した場合、余剰の単位は、卒業要件の合計単位として認め、選択科目小計及び卒業要件合計に加算する。
		計 4単位以上	計 8単位以上	計 8単位以上
	選択科目	専門教育科目→44 単位以上 基盤教育科目 他学科専門教育科目 他学部受講科目※ ※上限12 単位	専門教育科目→32 単位以上 基盤教育科目 他学科専門教育科目 他学部受講科目※ ※上限12 単位	専門教育科目 基盤教育科目 他学科専門教育科目 他学部受講科※ ※上限12 単位
		計 選択必修科目の余剰単位を含む 88 単位以上	計 選択必修科目の余剰単位を含む 58 単位以上	計 選択必修科目の余剰単位を含む 28 単位以上
	合計	選択必修科目の余剰単位を含む 124 単位以上	選択必修科目の余剰単位を含む 124 単位以上	選択必修科目の余剰単位を含む 124 単位以上

		メディア・コミュニケーション学科
人文学部	必修科目	基盤教育科目 18 単位 総合演習 18 単位
		計 36 単位
	選択必修科目	専門教育科目※ 8単位 ※「基礎演習A ～G」より4単位、「メディア概説」、「コミュニケーション概説」、「デザイン概説」より4単位を選択必修9単位以上修得した場合、余剰の単位は、卒業要件の合計単位として認め、選択科目小計及び卒業要件合計に加算する
		計 8単位以上
	選択科目	専門教育科目→34 単位以上 基盤教育科目 他学科専門教育科目 他学部受講科目※ ※上限12 単位
		計 選択必修科目の余剰単位を含む 80 単位以上
	合計	選択必修科目の余剰単位を含む 124 単位以上

●人間関係学部 (2019～2022年度入学生)

		心理学科	子ども発達学科
人間関係学部	必修科目	基盤教育科目 18 単位 学科専門科目 22 単位	基盤教育科目 18 単位 学科専門科目 26 単位
		計 40 単位	計 44 単位
	選択必修科目	学科専門科目 10 単位 11 単位以上修得した場合、余剰の単位は、卒業要件の合計単位として認め、選択科目小計及び卒業要件合計に加算する	
		計 10 単位以上	
	選択科目	基盤教育科目 心理学科専門科目 他学部受講科目※ ※上限12 単位	基盤教育科目 子ども発達学科専門科目 他学部受講科目※ ※上限12 単位
		計 選択必修科目の余剰単位を含む 74 単位以上	計 80 単位以上
	合計	選択必修科目の余剰単位を含む 124 単位以上	124 単位以上

●国際キャリア学部 (2019～2022年度入学生)

		国際英語学科		国際キャリア学科	
国際キャリア学部	必修科目	基盤教育科目 専門教育科目 専門教育科目（総合演習）	18 単位 28 単位 12 単位	基盤教育科目 専門教育科目 専門教育科目（総合演習）	18 単位 28 単位 12 単位
		計 58 単位		計 58 単位	
	選択科目	専門教育科目 34 単位以上 基盤教育科目 他学科専門教育科目 他学部受講科目（12 単位以内）	66 単位以上	専門教育科目 34 単位以上 基盤教育科目 他学科専門教育科目 他学部受講科目（12 単位以内）	66 単位以上
	合計	124 単位以上		124 単位以上	

※他学部受講について【人文学部】【人間関係学部】【国際キャリア学部】

他学部の授業科目を履修して単位を修得した場合、12 単位まで卒業に必要な選択科目の単位に算入することができます。ただし、他学部の授業科目を 12 単位以上修得した場合、12 単位を超える部分については、卒業要件単位数には算入しないものとします。なお、他学部の学生が履修できない科目があります。

①教務課に他学部受講願を提出する必要があります。
②①の受講願を提出しても他学部の都合により受講できない場合があります。
③他学部において卒業要件外と指定している科目については、人文学部、人間関係学部、国際キャリア学部においても卒業要件外とします。

履修登録

履修登録とは、学生がシラバス（授業概要）および授業時間割表等を参考にして、その学期において履修するすべての授業科目を申告（登録）し、大学がそれを承認する手続きのことです。また、履修登録は学生各自が**登録結果の確認**をして初めて完結となります。学生にとってはこの履修登録が単位修得、すなわち卒業資格を得るための出発点となる重要な手続きになります。

履修手続きは、教務課の指定する期間および場所で行ってください。これを怠れば、当該学期に履修する権利を放棄したこととなります。換言すると、単位修得の権利を放棄したこととなります。

以上のことから、履修登録は大変重要な手続きとなりますので、以下の内容を熟読し、**学生各自の責任**において誤りのないよう充分注意して臨んでください。

履修登録上の原則

(1)【必修科目】の履修

① 時間割に記載されている必修科目は原則として指定年次に履修してください。
② 必修科目（指定年次生以外の必修科目）、未履修や前年度以前に不合格となった自己の年次よりも下位学年の必修科目は、その科目の履修を最優先してください。
③ 時間割にクラス等が指定されている科目は、特別な事情がある場合を除き、異なるクラスでの受講が認められません。【選択科目についても同様です。】

○特別な理由により指定されたクラス以外で履修登録する場合
原則として、科目の履修年次（各学部の教育課程P.8～以降参照）が所属している学年と同一の場合に限ります。教務課所定の「他クラス受講願」を提出してください。審査の結果、許可された場合、教務課が履修登録を行います。
各自で責任をもって履修登録結果を確認してください。

(2)【履修登録上限単位数】について
前学期 GPAによって、下記の表のとおり履修登録単位数の上限を設定します。

2019 年度以降入学生

前学期の GPA	履修登録上限単位数
3.00 以上	25 単位
2.00 以上 3.00 未満	23 単位
1.00 以上 2.00 未満	21 単位
1.00 未満	19 単位

※1 年前期、休学、留学等により前学期の GPA が出ない場合は 23 単位上限を適用します。
※編入学生は履修登録単位数の上限を適用しません。
※年間履修登録単位数は、49 単位を上限とします。
※年間履修登録単位数のうち、集中講義科目は、履修登録単位数の上限の対象外とします。
※年間履修登録単位数のうち、教職自由科目は、履修登録単位数の上限の対象外とします。
※ GPA が複数年度にわたり著しく低い場合は、修学指導する場合があります。

(3)【選択科目】の履修
　時間割にクラス等が指定されている科目は、特別な事情がある場合を除き、異なるクラスでの受講が認められません。前ページの【必修科目の履修】個所にも記載されているとおりです。
(4)【既修得単位科目】の履修
　指定した科目を除きすでに単位を修得した科目を再履修することはできません。
(5)【重複】履修
　同一曜日時限および同一科目の重複履修はできません。
(6)【上位年次の科目】の履修
　自己の年次よりも上位の年次の配当科目を履修することはできません。
(7)【受講者多数の科目】
　受講者人数に制限のある科目または教室の収容定員の限度を越えた科目は、登録科目の変更または履修クラスの分割を指示することがあります。
(8)【受講者少数の科目】
　履修登録の結果、受講者人数が 10 名未満の場合は、開講を取り止めることがあります。
(9)【週複数回科目】の履修
　週 2回(2時限)以上の授業科目の履修登録は、曜日が早い 1回目の授業科目のみを登録してください。
※週の 2回目以降の曜日の履修登録を行う必要はありませんが、週 2回目以降の曜日、時限も登録されていることを各自で必ず確認してください。
(10)【科目末尾にローマ数字やアルファベットがある科目】
　末尾にⅠ，Ⅱ，Ⅲ などローマ数字がついている科目は、同じ科目名でも授業レベル(履修段階)を分けて開講している科目です。
これに対して、A，B，C などアルファベットがついている科目は、関連性のあるテーマごとに分けて開講している科目です。
　なお、履修する順序や履修条件を設けている科目があります。科目の性質を理解し、シラバス(授業概要)を熟読した上で履修登録をしてください。

(11)【全ての履修登録内容の確認を各学生個人の責任で行うことの原則】
**　科目の全ての履修登録内容の確認は、学生の皆さんがそれぞれ責任を持って行うことが原則です。履修登録確認漏れや、確認を怠ったことにより、履修登録無効となった場合、それは学生各自の責任となりますので、十分注意して必ず確認を行ってください。**

履修登録方法について

　履修登録は指定された日時に従って WEB 上で行います。各自で履修計画を事前にしっかりと立て、入力するだけで良いように準備し、履修登録に臨んでください。
「前期」の履修登録では、前期科目・後期科目ともに、すべての履修希望科目を履修登録します。
「後期」の履修登録では、前期に登録した科目内容を必ず確認し、必要に応じて追加登録や科目の削除を行います。
(1) 履修エラーについて
　履修登録上に問題がある場合、「エラー」が表示されます。エラーが表示された場合、必ず内容を確認し、エラーを解消してから履修登録を完了してください。
(2) 他クラス・他学部受講願の提出について
　①他クラス受講…時間割上でクラス指定されている科目において、特別な事情がある場合のみ異なるクラスでの受講が認められることがあります。「他クラス受講願」を提出してください。
　②他学部受講…他学部の学生に対して、履修が認められている科目 (他学部受講科目) の受講を希望する場合は「他学部受講願」を提出してください。
　①②いずれも必ず指定された日時と場所に提出してください。受講が認められた科目は教務課が履修登録を行います。
(3) 履修登録から履修確定までのスケジュールについて
　掲示板やミッションネット、学科特設サイトで履修登録に関するスケジュールをお知らせします。**原則として、指定された日時以外の履修登録の手続きは受け付けられません。**病気、事故等の特別な事情で指定された日時に手続きができない場合は事前に教務課に連絡をしてください。
(4) 履修登録確認・修正日について
　期間内に履修登録された授業科目は受講者数の調整がおこなわれることがありますので、必ず各自で履修登録内容を確認し、必要に応じて修正をおこなってください。受講者数の制限を越えた科目では、クラス分割や受講者数の削減をおこない、受講者数が 10 名未満の科目では開講を取りやめる場合がありますので、必ず各自で責任もって確認してください。
(5) 最終的な履修科目の確認について
　期間内に履修登録および修正された科目について、すべてが正しく履修登録されているかを必ず確認してください。

【学部学生·長期履修生】

	学部	学科		学籍番号(アルファベットと数字の組み合わせで8桁)				
			学年	学部区分	学科区分	入学年度·西暦下2桁	個人番号	
学部学生	人文学部	現代文化学科	1～4	H	C	●各自の入学年度·西暦下2桁	0	●●●
		言語芸術学科	1～4	H	A	●各自の入学年度·西暦下2桁	0	●●●
		ﾒﾃﾞｨｱ·ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	1～4	H	M	●各自の入学年度·西暦下2桁	0	●●●
	人間関係学部	心理学科	1～4	R	S	●各自の入学年度·西暦下2桁	0	●●●
		子ども発達学科	1～4	R	K	●各自の入学年度·西暦下2桁	0	●●●
	国際キャリア学部	国際英語学科	1～4	I	E	●各自の入学年度·西暦下2桁	0	●●●
		国際ｷｬﾘｱ学科	1～4	I	C	●各自の入学年度·西暦下2桁	0	●●●
	短期大学部	英語科	1·2	J	E	●各自の入学年度·西暦下2桁	0	●●●

学部学生【長期履修生】	人文学部	現代文化学科	1～4	H	C	●各自の入学年度·西暦下2桁	L	●●●
		言語芸術学科	1～4	H	A	●各自の入学年度·西暦下2桁	L	●●●
		ﾒﾃﾞｨｱ·ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	1～4	H	M	●各自の入学年度·西暦下2桁	L	●●●
	人間関係学部	心理学科	1～4	R	S	●各自の入学年度·西暦下2桁	L	●●●
		子ども発達学科	1～4	R	K	●各自の入学年度·西暦下2桁	L	●●●
	国際キャリア学部	国際英語学科	1～4	I	E	●各自の入学年度·西暦下2桁	L	●●●
		国際ｷｬﾘｱ学科	1～4	I	C	●各自の入学年度·西暦下2桁	L	●●●
	短期大学部	英語科	1·2	J	E	●各自の入学年度·西暦下2桁	L	●●●

【科目等履修生·聴講生】

	学部	学籍番号(アルファベットと数字の組み合わせで8桁)				
		区分	区分	学科区分	履修許可年度·西暦下2桁	個人番号
科目等履修生	人文学部	N	N	H	●各自の履修許可年度·西暦下2桁	●●●●
	人間関係学部	N	N	R	●各自の履修許可年度·西暦下2桁	●●●●
	国際キャリア学部	N	N	I	●各自の履修許可年度·西暦下2桁	●●●●
	短期大学部	N	N	J	●各自の履修許可年度·西暦下2桁	●●●●
聴講生	人文学部	A	A	H	●各自の履修許可年度·西暦下2桁	●●●●
	人間関係学部	A	A	R	●各自の履修許可年度·西暦下2桁	●●●●
	国際キャリア学部	A	A	I	●各自の履修許可年度·西暦下2桁	●●●●
	短期大学部	A	A	J	●各自の履修許可年度·西暦下2桁	●●●●

【大学院生·長期履修生】

	科	専攻		学籍番号(アルファベットと数字の組み合わせで8桁)				
			区分	区分	科区分	入学年度·西暦下2桁	個人番号	
大学院生	人文科学研究科	比較文化専攻	G	G	C	●各自の入学年度 西暦下2桁	M	●●●
		臨床心理学専攻	G	G	P		M	●●●
		発達教育学専攻	G	G	E		M	●●●

大学院生【長期履修生】	人文科学研究科	比較文化専攻	G	G	C	●各自の入学年度 西暦下2桁	M	L●●
		臨床心理学専攻	G	G	P		M	L●●
		発達教育学専攻	G	G	E		M	L●●

授　業　時　間

授業時間は次のとおりです。

通常授業時間　月～金曜日

時限	90分授業	時限	60分授業
1時限	9:15～10:45	1時限	9:45～10:45
チャペル	10:55～11:15	チャペル	10:55～11:15
2時限	11:25～12:55	2時限	11:25～12:25
昼休み	12:55～13:45	昼休み	12:25～13:05
3時限	13:45～15:15	3時限	13:05～14:05
		4時限	14:15～15:15
4時限	15:25～16:55	5時限	15:25～16:25
		6時限	16:35～17:35
5時限	17:05～18:35	7時限	17:45～18:45

土曜日 ＊チャペルは行われません

時限	90分授業	時限	60分授業
1時限	9:15～10:45	1時限	9:45～10:45
2時限	10:55～12:25	2時限	10:55～11:55
昼休み	12:25～13:15	昼休み	11:55～12:35
3時限	13:15～14:45	3時限	12:35～13:35
		4時限	13:45～14:45
4時限	14:55～16:25	5時限	14:55～15:55
		6時限	16:05～17:05
5時限	16:35～18:05	7時限	17:15～18:15

キリスト教特別週間授業時間　月～金曜日 ＊授業は全て5分短縮

時限	90分授業	時限	60分授業
1時限	9:15～10:40	1時限	9:45～10:40
チャペル	10:50～11:30	チャペル	10:50～11:30
2時限	11:40～13:05	2時限	11:40～12:35
昼休み	13:05～13:55	昼休み	12:35～13:15
3時限	13:55～15:20	3時限	13:15～14:10
		4時限	14:20～15:15
4時限	15:30～16:55	5時限	15:25～16:20
		6時限	16:30～17:25
5時限	17:05～18:30	7時限	17:35～18:30

休 講 及 び 補 講

(1) 大学又は授業科目担当の教員に止むを得ない事情が生じた場合、授業を休講することがあります。
(2) 休講したときは、そのための補講が行われます。
(3) 休講及び補講に関することは教務課で取り扱います。また、これらの情報はミッションネットから閲覧することができます。
＊PC および携帯電話を利用した休講・補講情報の閲覧について
アクセス URL → http://up.fukujo.ac.jp/uprx にアクセスすると、ミッションネットにつながり、各自情報を確認できます。
(4) 休講の通知がなく、授業開始後 20 分を経過しても教員が入室しない場合は、教務課に連絡してその指示に従ってください。
(5) 台風や交通機関の事故等で特に臨時休講の必要がある場合は、次の通りとします。

交通機関不通の場合の授業および試験の取り扱い

交通機関が台風・大雪等天候不良もしくはストライキ等のために運行が中止されたことを受けて、休講および授業期間終了後に設けられている試験日（以下、「試験」という。）の延期措置をとる場合は、原則として大学ホームページおよびミッションネットにより周知します。

休講および試験延期措置は次の 1. を勘案して決定します。

1. 午前9時以前

運 行 状 況	授業の取り扱い	試験の取り扱い
午前 7 時までに JR 九州、西鉄ともに運行が再開された場合	通常通り実施	通常通り実施
午前 7 時を過ぎ午前 9 時までに、JR 九州・西鉄ともに運行が再開された場合	3 時限目（60分授業は4時限目）の授業から実施	4 時限目（13:35から）の試験から実施
午前 9 時を過ぎても、JR 九州・西鉄いずれか一方が不通の場合	全日休講	全ての試験を延期

＊ JR 九州は JR 九州鹿児島本線南福岡駅を、西鉄とは西鉄天神大牟田線井尻駅を基点として判断します。

2. 午前 9 時以降の取り扱いは、ＪＲ九州および西鉄の運行状況から適宜判断の上決定します。
3. 休講した授業は、原則として後日、補講を行います。延期措置をした試験は、別に試験日程を設け、後日、その期日を通知します。
4. 台風や大雪等、気象状況の悪化が十分予測される場合は、交通機関の運行が中止される前に休講および試験延期措置をとることがあります。
5. その他の取り扱い
   交通機関の運休および天候不良等により通学できなかった場合は、通学できないことを証明できる書類（遅延証明書等）を添えて欠席届を学生課に提出してください。
   以下、いずれか 1 つでも該当している場合は、学生の不利益にならないよう「出席扱い」の対応をとります。
   ①通学経路の交通機関の運休
   ②居住区および通学経路において、大雨、暴風および大雪等気象警報が発令されている場合
   ③上記以外で、居住区および通学経路において、気象状況の悪化等のため、通学することが危険であると自身で判断し、通学を見合わせた場合
   ＊③の場合は、通学困難が妥当であったと判断されれば「出席扱い」となります。

授 業 欠 席

病気その他止むを得ない理由により、登校できない場合はCampus Life の「学生部情報」を参照の上、必要に応じて学生課に届け出てください。

学 外 授 業

授業科目によっては学外授業が行われることがあります。

試　　験

（1）評価方法

成績評価の方法は、授業科目、教員(以下「科目担当者」と称す)あるいは授業形態（講義、演習、実験・実習、実技の別)により異なります。大きく分けて主に次のような方法があげられます。

筆記試験　レポート　論文　口述　実技等

この方法は、いずれか一つの方法で評価される場合もありますし、いくつかの方法を組み合わせて総合的に評価される場合もあります。詳しくはシラバス(授業概要)の「成績評価」の箇所に掲載されていますので参照してください。なお、この成績評価については科目担当者の指示により学期の途中で変更になる場合もありますので注意してください。

ここでは主として授業終了後に行われる「試験」、「追試験」そして「再試験」について述べます。

（2）試験日に実施される試験

本学では、各学期の授業終了後に試験日を設定しています。しかし、科目担当者によっては試験を行わないこともあります。事前に必ず科目担当者に確認するようにしてください。試験時間割はミッションネットにて発表します。

試験時間帯　**＊試験時間は通常授業時間と異なります。**

時限	時間	該当科目	
		90分授業	60分授業
1時限	9:15～10:15	1時限	E1
2時限	10:35～11:35	2時限	E2
3時限	11:55～12:55	—	E3
昼休み	12:55～13:35		
4時限	13:35～14:35	3時限	E4
5時限	14:55～15:55	4時限	E5
6時限	16:15～17:15	5時限	E6
7時限	17:35～18:35	合同試験	

＊試験日に実施された試験を受験できなかった場合は、右記の(3)追試験に示す要件を満たすことにより「追試験」を願い出ることができます。

(3) 追　試　験

追試験は病気、忌引、交通機関の事故等のやむを得ない理由により試験日に実施された試験を受けられなかった者に対して、願い出により実施される試験です。

①追試験を希望する学生は、**試験最終日の翌日(締切時間厳守:時間はミッションネットにてお知らせします)まで**に教務課所定の追試験願に以下に記す必要な証明書を添えて教務課に提出してください。

②追試験の許可を受けた学生は、時間割等を確認してください。

③追試験は定められた期日、1回に限り行われます。

④追試験は、総て100%評価とします。

	欠　席　理　由	必 要 な 証 明 書
1	病気	医師の診断書(欠席日の証明)
2	進学・就職試験	出席証明書(進路就職課所定用紙)
3	教育実習	不要
4	介護等体験(教育職員免許法の特例)	不要
5	保育実習	不要
6	心理実習	不要
7	忌引 一親等(父母)　7日 二親等(祖父母・兄弟・姉妹)　3日 三親等(曾祖父母・おじ・おば・甥・姪)　1日	会葬礼状または保護者連署の理由書(任意の用紙)
8	交通機関の事故	交通機関の発行する遅延証明書
9	インカレ出場 リーダース・トレーニング参加 学生部委員会が承認した大会に出場	不要
10	その他、特別な事情	その事を証明するもの(第三者機関等、客観的に証明できるもの)

(4) 期間外試験(試験日以外の期日に実施される試験)

試験日以外の期日に実施される試験は、追試験の対象となりません。受験できなかった学生への対応は科目担当者の判断に委ねられています。直ちに科目担当者と連絡を取り、直接指示を受けてください。

(5) 再　試　験

再試験は最終年次の者を対象とし、次の項目すべての条件を満たした場合に限り、願い出により実施される試験です。 なお、卒業要件を満たしている場合の余剰単位となる科目の再試験は行いません。

○卒業見込みの年次に履修し、その科目の**評価が不可(D)**であること。

○上記の科目数が2科目までで、その科目を修得すれば卒業要件を満たすこと。

○「卒業研究」以外の科目であること。

①再試験を希望する学生は、定められた期間内に教務課所定の再試験願を教務課に提出してください。

②　再試験の許可を受けた学生は、定められた期間内に自動証明書発行機にて再試験料として**1科目10,000円分**の申請書を購入し、教務課へ提出してください。再試験料未納の学生は、再試験を受けることができません。

③　再試験は定められた期日、1回に限り行われます。

試験における注意事項

1. 試験開始時刻の5分前には、試験場となる教室に入室し、着席しておくこと。
2. 受験中は学生証を写真の面を上にして机上におくこと。学生証を所持していない場合は、学生課前の自動証明書発行機で仮学生証を発行すること。(手数料200円)
3. スマートフォン(携帯電話・PHSを含む)、タブレットPC、電子辞書等、通信・検索機能を持つ電子機器等の使用を禁止する。時計として使用することもできない。これら全ての機器の電源を切り、身につけずにかばん等に入れておくこと。(使用を認める試験を除く)
4. 机上には、試験において使用・閲覧等のために持ち込みを許可されたものを除き、学生証・筆記用具・時計等試験に必要と認められるもの以外は置いてはいけない。
5. 机の上には指示されたものだけを置き、試験に必要ない所持品はかばん等に入れて椅子の下に置くこと。
6. 机の中にテキストやノートを入れてはならない。机の中に他人の忘れ物であるテキストやノート等が入っている場合は、試験開始前までに教卓に持ってくること。
7. 机の上に書き込みがある場合は、試験開始前までに各自で消すこと。ペン等で書かれてあり、消せない場合は試験監督者に申し出ること。
8. 試験中は、持ち込みを許可されたものや筆記用具等の物品について、受験者相互の貸し借りをしてはならない。
9. 遅刻は試験開始後20分以内に限り認める。ただし、試験時間は延長されない。
10. 試験開始後30分以内の退出はできない。30分を経過し、退出する学生は、試験監督の指示に従って答案を提出した上で、試験場から退出することができる。
11. 試験において不正行為をした学生は学則46条に基づき、懲戒処分の対象となる。不正行為を行った者は、当該学期に履修した全科目が失格(F)となる。

不　正　行　為

試験において次のことを行うと不正行為となります。

(1) 他人の代わりに受験すること、あるいは他人に自分の身代わりとして受験させること
(2) 不正使用の目的で作成した文書、メモ紙等を使用すること
(3) 使用が許可されていないテキスト、参考書、ノート、携帯電話等を使用すること
(4) 机や身体等に不正な書き込みをすること
(5) 他人の答案用紙と交換すること
(6) 他人の答案をのぞき見したり、解答を他人に見せること
(7) 私語・動作等によって不正な連絡をすること

交通機関不通の場合の授業および試験の取り扱い

交通機関が台風･大雪等天候不良もしくはストライキ等のために運行が中止されたことを受けて､休講および授業期間終了後に設けられている試験日(以下､｢試験｣という｡)の延期措置をとる場合は､原則として大学ホームページおよびミッションネットにより周知します。

休講および試験延期措置は次の1. を勘案して決定します。

1 . 午前 9 時以前

運　行　状　況	授業の取り扱い	試験の取り扱い
午前 7 時までに JR 九州、西鉄ともに運行が再開された場合	通常通り実施	通常通り実施
午前 7 時を過ぎ午前 9 時までに JR 九州・西鉄ともに運行が再開された場合	3時限目 (60分授業は 4時限目) の授業から実施	4 時限目 (13:35 から) の試験から実施
午前 9 時を過ぎても、JR 九州・西鉄いずれか一方が不通の場合	全日休講	全ての試験を延期

＊ JR 九州は JR 九州鹿児島本線南福岡駅を、西鉄とは西鉄天神大牟田線井尻駅を基点として判断します。

2. 午前 9 時以降の取り扱いは、JR 九州および西鉄の運行状況から適宜判断の上決定します。

3. 休講した授業は、原則として後日、補講を行います。延期措置をした試験は、別に試験日程を設け、後日、その期日を通知します。

4. 台風や大雪等、気象状況の悪化が十分予測される場合は、交通機関の運行が中止される前に休講および試験延期措置をとることがあります。

5. その他の取り扱い

交通機関の運休および天候不良等により通学できなかった場合は、通学できないことを証明できる書類 (遅延証明書等) を添えて欠席届を学生課に提出してください。

以下、いずれか 1 つでも該当している場合は、学生の不利益にならないよう「出席扱い」の対応をとります。

①通学経路の交通機関の運休

②居住区および通学経路において、大雨、暴風および大雪等気象警報が発令されている場合

③上記以外で、居住区および通学経路において、気象状況の悪化等のため、通学することが危険であると自身で判断し、通学を見合わせた場合

＊③の場合は､通学困難が妥当であったと判断されれば｢出席扱い｣となります。

レ ポ ー ト

レポート提出時には次の事項に注意してください。

【レポート提出時の注意事項】

1　レポートは原則として科目担当者に直接提出してください。

2　レポートを提出する際には、次のことを守ってください。

① 担当者が指定した提出条件を満たしているかを確認してください。

② 必ず本人が提出してください。特別な場合を除いて、郵送は認めません。

③ 大学所定の表紙はミッションネットの「学生支援」からダウンロードしてください。

④ 担当者の指示により教務課に提出する場合の提出時間は次のとおりです。

平　日　　9 :00 ～ 17 : 00

※事務室では筆記用具等の事務用品は原則として貸し出しません。各自で用意してください。

3　レポートは追試験の対象となりません。指定された期間内にレポートを提出できなかった場合は、直ちに科目担当者と連絡を取り、直接指示を受けてください。

Part5【成　　績】

成　績　評　価

(1) 授業科目の成績評価

本学では合格・不合格の評価を 5 段階で行うとともに、全体的な学力を評価する指標として GPA を利用します。各科目の成績評価は次の基準で行います。

(2) 成績評価基準

区　分	評　価	成績評価基準	1 単位あたりの GP
合　格	AA	100点～90点	4
	A	89点～80点	3
	B	79点～70点	2
	C	69点～60点	1
	N	認定	—
不合格	D	59点以下	0
	F	失格	0

①成績証明書には合格科目のみ、AA、A、B、C、Nをもって表記します。
②成績通知表には成績確定した全科目を、AA、A、B、C、N、D、Fをもって表記します。
※ 1.GP:grade points の略のことで、Nを除く成績評価を点数に置き換えたものの事を指します。
※ 2. 認定:編入学などで認定された既修得単位です。GPA の計算対象外となります。

(3)GPAとは

GPA とは、grade point average の略で、成績が確定した科目の GP の総和を総単位数 (不合格科目の単位数を含む) で割った値、つまり 1 単位あたりの GP の平均値を指し、0.00 ～ 4.00 の数字で表示されます。この値は、皆さんの全体的な学力を評価する指標として用いられます。

(4)GPA の計算方法

成績が確定した履修登録科目の成績評価の GP に、その科目に与えられている単位数を掛けたものを、総単位数で割ります。計算式は以下の通りです。

$$GPA=\frac{4\times AAの修得単位数+3\times Aの修得単位数+2\times Bの修得単位数+1\times Cの修得単位数}{総単位数\ (D,Fの単位数を含む)}$$

実際に次の例で考えてみましょう。科目1～6の6科目を履修登録し、それぞれの科目の成績は順に、AA、A、D、F、B、Cだったとします。この場合、GPAは以下のように計算されます。

	単位数		1 単位あたりの GP		GP
科目 1	4	×	4 (AA)	=	16
科目 2	2	×	3 (A)	=	6
科目 3	2	×	0 (D)	=	0
科目 4	2	×	0 (F)	=	0
科目 5	1	×	2 (B)	=	2
科目 6	1	×	1 (C)	=	1
総単位数	12			GP の総計	25

GPAの計算式によると、各科目の成績を与えられるGPに単位を掛けたもの、つまりGPの総計を総単位数で割った値がGPAですから
GPA＝(ＧＰの総計)÷(総単位数)25÷12 = 2.0833 …≒2.08
GPAは、2.0833…を小数点第3位で四捨五入した値、2.08ということになります。

(5)GPAの利用

(1)適用開始年度･適用対象学生
2006年度以降の人文学部、人間関係学部、国際キャリア学部入学生を対象とする。

(2)利用方法
前学期GPAによって、下記の表のとおり履修登録単位数の上限を設定します。
2018 年度 入学生（子ども発達学科除く）、及び 2019 年度以降入学生

前学期の GPA	履修登録上限単位数
3.00 以上	25 単位
2.00 以上 3.00 未満	23 単位
1.00 以上 2.00 未満	21 単位
1.00 未満	19 単位

※１年前期、休学、留学等により前学期のGPAが出ない場合は23単位上限を適用します。
※編入学生は履修登録単位数の上限を適用しません。
※年間履修登録単位数は、49単位を上限とします。
※年間履修登録単位数のうち、集中講義科目は、履修登録単位数の上限の対象外とします。
※年間履修登録単位数のうち、教職自由科目は、履修登録単位数の上限の対象外とします。
※GPAが複数年度にわたり著しく低い場合は、修学指導する場合があります。

(6) 履修取消期間

履修登録した科目の中に、何らかの事情で履修し続けることが困難な科目がある場合、前後期それぞれに科目の履修を中止するための履修取消期間を設けています。この期間を利用して科目の取消しをおこなうことにより、該当する科目が不合格(DもしくはF)となりGPAが下がることを回避することができます。なお、**履修取消期間を過ぎて科目を取り消すことは一切認められません。また、履修取消期間中に取り消された科目は、いかなる理由があろうとも、その学期内に履修を復活させることはできません。**再度履修する必要がある場合は次学期以降に履修登録し直してください。

(7) 成績通知表への記載事項

成績通知表には成績の確定した全科目を、AA、A、B、C、D、F、Nをもって表記します。集計が確定した時点でGPAを記載します。

成績発表および保護者宛成績通知

履修した授業科目の成績および修得単位はWEBにて発表します。
また、保護者宛の成績通知は郵送にて行います。

免許・資格取得について

〈2019～2022年度入学生〉

		人文学部			人間関係学部		国際キャリア学部	
		現代文化学科	言語芸術学科	メディア・コミュニケーション学科	心理学科	子ども発達学科	国際英語学科	国際キャリア学科
本学で取得できる教育職員免許状	高等学校教諭一種免許(国語)	●						
	高等学校教諭一種免許(英語)		●				●	
	高等学校教諭一種免許(公民)				●			
	中学校教諭一種免許(国語)	●						
	中学校教諭一種免許(英語)		●				●	
	中学校教諭一種免許(社会)				●			
	小学校教諭一種免許					●		
	幼稚園教諭一種免許					●		
	特別支援学校教諭一種免許					●		
その他の条件等により取得できる資格	小学校教諭一種免許	▲	▲		▲		▲	
本学で取得できる資格	保育士					●		
	日本語教員(本学独自資格)	●	●	●				●※
	児童英語教育指導員(本学独自資格)	●	●	●			●	
登録・認定申請ができる資格	認定心理士				●			
任用資格	社会福祉主事				●	●		

▲は、中学校・高等学校教諭免許を前提とし、基準条件を満たせば、別途子ども発達学科または神戸親和女子大学での通信教育を履修することによって小学校教諭一種免許状が取得できます。
※2020年度入学生より

〔公認心理師〈人間関係学部〉〕の詳細についてはP.118～を参照してください。

教 職 課 程

Ⅰ. 教職課程について

教職課程とは、中学校および高等学校の教員免許状を取得するために、教育職員免許法および同法施行規則に定める科目を履修できるよう設置された課程です。

この課程は、将来教職に就くことを強く希望している学生を対象としています。

さて、教育職員免許状を取得するためには、卒業に必要な単位を修得するほか、教職課程の単位を併せて修得しなければなりません。また、学内の講義に出席するだけでなく、4年次に中学校（または高等学校）で『教育実習』を行うことになります。さらに、中学校の免許状を取得する場合には7日間以上の『介護等体験』（原則として3年次に社会福祉施設等で5日間、特別支援学校で2日間）を行うことも必要です。このほか本学では、教育実習に備え集中的に事前指導を行うための合宿や、介護等体験の事前指導として行うオリエンテーション等の参加も義務付けています。したがって、教職課程の履修を希望する学生は、入学時より強い意志と明確な目的意識をもって履修計画を立て、臨むことが求められます。

また、教員を志す者には、教員採用試験に合格できる専門分野の学力を養うと同時に、教育の本質をよく見つめ、教育理念の追求、人や社会についての広い視野を必要としますし、いじめや不登校等の問題が頻発している今日、社会的責任が伴うことも十二分に自覚し、人格的にも専門的知識についても日々自己研鑽を積んでいく強い決意が必要です。

以上述べてきたとおり、単に資格として教員免許状でも取得しておこうという安易な気持ちでの履修は厳に慎まなければなりません。本学で厳しい履修基準を設けているのもこのためです。卒業後の進路についてはよく考えた上で、教職課程の履修を希望するよう心がけてください。

Ⅱ. 本学で取得できる免許状の種類・教科

学 部	学 科	免許教科	教員免許状の種類
人文学部	現代文化学科	国語	中学校教諭一種免許状
			高等学校教諭一種免許状
	言語芸術学科　英語教職コース	英語	中学校教諭一種免許状
			高等学校教諭一種免許状
人間関係学部	心理学科	社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状
国際キャリア学部	国際英語学科	英語	中学校教諭一種免許状
			高等学校教諭一種免許状

Ⅲ. 教育職員免許状取得のための基礎資格と最低修得単位数

〈2019 ～ 2022 年度入学生〉

学部	所要資格 ＼ 学科・免許状の種類		本学において修得することを必要とする最低修得単位数 教科及び教科に関する科目 教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	基礎資格
人文	現代文化	中一種(国語)	40単位(28)	29単位(27)	5単位(4)	8単位	学士の学位を有すること
		高一種(国語)	40単位(24)	25単位(23)	7単位(12)	8単位	
	言語芸術 英語教職コース	中一種(英語)	40単位(28)	29単位(27)	5単位(4)	8単位	
		高一種(英語)	40単位(24)	25単位(23)	7単位(12)	8単位	
人間	心理	中一種(社会)	36単位(28)	29単位(27)	5単位(4)	8単位	学士の学位を有すること
		高一種(公民)	38単位(24)	25単位(23)	7単位(12)	8単位	
国際	国際英語	中一種(英語)	40単位(28)	29単位(27)	5単位(4)	8単位	学士の学位を有すること
		高一種(英語)	40単位(24)	25単位(23)	7単位(12)	8単位	

注1)（　　）は教育職員免許法上に定める最低取得単位数を示す。
注2)「大学が独自に設定する科目」は「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」の教育職員免許法上の最低修得単位数を超えて修得した単位を算入する。

Ⅳ. 教職課程の履修について

1. 課程の申込手続き

教職課程の履修は２年次から開始します。履修を希望する者は、１年次の１月に開かれる「教職課程説明会」に必ず出席し、申込書を提出しなければなりません。正当な理由なしに説明会を欠席した者は、履修することができません。さらに本学では、「教職課程履修資格基準」を設けており、次の基準を満たした者に対して、２年次の４月より履修を許可します。

教職課程履修資格基準

次の(1)または(2)の基準を原則として満たした者が履修することができる。

(1)第2年次より教職課程の履修を希望する場合。
- ·第1年次において30単位以上を修得し、GPA(総合)が2.40以上であること。
- ·第1年次における必修科目及び教職課程必修の「教科及び教科の指導に関する科目」を修得していること。

(2)第2年次において教職課程を履修しなかった者で、第3年次以降に履修を希望する場合。
- ·前年度までに60単位以上を修得し、GPA(総合)が2.40以上であること。

但し、３年次以降に履修する場合は、卒業時に本課程を修了できないことも予想されます。

その場合は卒業後、科目等履修生制度により本課程の単位を修得することができます。

2. 科目の履修登録

本課程履修許可者は、年度初めの履修登録の際、必要な科目登録の手続きを行ってください。

なお、指定日に必ず履修希望科目が登録されているか確認してください。確認をせずに履修登録されなかった場合は学生各自の責任になりますので、十分注意してください。(P.62〜の履修登録ページを参照のこと。) なお、履修登録締め切り後の科目変更・追加は一切認めません。

3. 教育実習について

(1) 教育実習履修資格

教育実習の履修は、下記教育実習履修資格基準を満たした者に限ります。

教育実習履修資格基準 (2012年度以降入学生対象)
(1) 卒業年次に教員採用試験の受験の意志があること。
(2) 卒業年次までに教育実習および教職実践演習以外のすべての教職課程講義科目を履修していること、あるいは履修登録を行なっていること。
(3) 免許教科 (英語) を履修している者は、教育実習許可判定までに TOEIC 600 点以上を修めなければならない。
※ (1)(2)(3) の規定にすべて該当する者であっても、専門科目の履修状況や成績状況、及び受講希望者自身にかかわる事由によっては、教職課程委員会は履修を認めないことがある。

(2) 教育実習校への教育実習依頼について

本学では中学校・高等学校免許の両方を取得するように指導しています。その為、原則として中学校で実習を行うことになります。2 年次 3 月に「教育実習内諾依頼についての説明会」を開催しますので、必ず出席してください。教育実習は、原則として出身校で行うことになっています。各自 3 年次に出身校を訪問し、教育実習の依頼を行うことになります。

(3) 教育実習に関する費用の納入について

教育実習の履修を許可された者は、4 年次 4 月に教育実習に関する費用を納入しなければなりません。所定の期日までに (別途掲示またはミッションネットで連絡) 下記費用を納入してください。期日までに納入しない場合は、履修の許可を取り消します。また、一旦納入した実習費は返還しません。なお、教育実習の期間および日数ならびに教育実習費については、教育実習受入れ校の指示に従うことになります。

教育実習に関する費用内訳

教育実習諸経費　11,000 円
教育実習費　9,000 円〜 18,000 円程度 (別途指示します。)

※教育実習費の金額は実習校により変わります。
※教育実習費は学生が実習校に直接納付または大学が実費徴収し実習校に納付します。
※実習先で使う教科書や教材費、給食費等は別途本人負担となります。

実習期間

・中学校一種免許 (3週間実習)
・高等学校一種免許のみ (2週間実習)

※本学では中学校・高等学校の両方の免許を取得するように指導しているため、原則として 3 週間の実習が必要となります。

4. 介護等体験について

介護等体験とは、介護等が行われている社会福祉施設、特別支援学校での体験を通じ、普段接することの少ないさまざまな人の生き方・生活のありように気づくとともに、人と関わり、人を援助するうえで大切にすべき姿勢や視点を体験的に学習することです。介護等体験は、本学では 3 年次から開始します。2 年次 3 月に開催する介護等体験参加オリエンテーションに必ず出席してください。介護等体験の期間は、社会福祉施設 5 日間、特別支援学校 2 日間の計 7 日間です。介護等体験実施時期は、社会福祉協議会および教育委員会からの通知によって決定します。なお、教育職員免許状申請時には介護等体験を行った学校や施設の長が発行する介護等体験に関する証明書が必要となります。

(1) 介護等体験費について

介護等体験を行うにあたり、3 年次 4 月に介護等体験費を納入しなければなりません。所定の期日までに(別途掲示またはミッションネットで連絡)下記費用を納入してください。

なお、一旦納入した介護等体験費は返還しません。

・介護等体験費　　11,500 円 (健康診断・保険を含む)

5. 教員免許状授与申請手続きについて

本学では、卒業時に限り大学で福岡県教育委員会へ一括して申請手続きを行います。教員免許状は、どの委員会で交付を受けたものであっても、すべての都道府県において効力を有します。申請手続きの詳細は、別途掲示またはミッションネットにてお知らせします。

なお、申請の際には免許状申請料として一免許につき 3,300 円の費用がかかります。

6. 卒業後の教員免許状取得について

卒業時に申請に必要な単位を修得できなかった場合、下記の方法で単位を修得すれば免許状を申請することができます。しかし、この場合は大学からの一括申請ではなく個人申請の手続きを各自で行うこととなります。

①大学 (できれば出身大学) の科目等履修生として単位を修得する。
②大学の通信教育 (通信教育制度を有する大学) で単位を修得する。
③都道府県の教育委員会や大学が行う「免許状のための認定講習」で単位を修得する。

＊いずれかの教員免許状を有する現職教員であること。その他、認定講習は受講対象者に条件を設けている場合があります。

7. 小学校教諭免許取得プログラムについて (神戸親和女子大学との連携プログラム)

このプログラムは、福岡女学院大学において中学校・高等学校教諭一種免許を取得することを前提に、在学中に神戸親和女子大学通信教育部発達教育部児童教育科 (初等教育学コース) の科目等履修生として小学校教諭一種免許取得を目的とするものです。※このプログラムには別途費用がかかります。

〈プログラムの特長〉
①中学校・高等学校教諭一種免許取得に係る「教育の基礎的理解に関する科目」の単位の一部を小学校教諭一種免許取得に必要な単位として充当
②科目等履修生で「小学校教育実習」の受講が可能

このプログラムは 2 年次から開始します。希望者は「小学校教諭一種免許取得プログラム説明会」に出席した上で申込書を提出し、許可を受けなければなりません。(説明会開催の詳細については後日案内) 但し、GPA(総合) が 2.8 以上必要となります。

〈2011 年度以降新規登録者〉

2 年次から卒業までの 3 年間プログラムを原則とします。

3 年次から履修開始した場合は、卒業までを履修期間とし、卒業後は取り扱いが異なります。

〈継続登録者〉

このプログラムは 3 年間で履修することを基本としますが、在学中に小学校教諭一種免許取得に必要な単位を充足することができない場合は、卒業後も 1 年間に限りプログラムの継続が可能です。(在学中からプログラムを継続する場合に限り、卒業後も「小学校教育実習」の受講が許可されます。)

8. 教職課程受講から免許状取得までのスケジュール

	1年次	2年次	3年次	4年次
4月	**教職課程** 教職課程履修オリエンテーション ・教職課程教科に関する科目履修開始	**教職課程受講開始**	介護等体験費納入（11,500円） **教育実習** 出身校へ実習受入れ内諾依頼	教育実習履修資格判定発表 教育実習費納入 教育実習事前指導
5月			介護等体験事前指導（5月～6月迄）	実習関係資料配布
6月				教育実習開始（前期実習生）
7月				教員採用試験出願手続き 教員採用試験
8月			介護等体験開始(8月～)（受入れ施設により体験時期は異なる）	
9月				教育実習開始（後期実習生）
10月				**教員免許状**
11月 12月 1月	教職課程説明会 ・教職課程受講希望願	学校インターンシップ 教職課程説明会（3年次より希望学生） ・教職課程受講希望願	教育実習受入れ内諾書教務課へ提出	教員免許状授与願の確認署名・捺印 免許状申請料納入 中一種（3,300円） 高一種（3,300円）
2月			教育実習事前指導合宿（15,000円程度）	
3月	教職課程履修資格判定 教職課程履修資格判定発表 教職課程履修オリエンテーション	教職課程履修資格判定（3年次より希望学生） 教職課程履修資格判定発表（3年次より希望学生） 教職課程履修オリエンテーション（3年次より希望学生・編入生） ・教職課程受講申込み 介護等体験参加オリエンテーション 教育実習依頼について説明会	教育実習履修資格判定	免許状一括申請 教員免許状授与

9. 教職課程科目表

人文学部および国際キャリア学部

〈2019 ～ 2022 年度入学生〉

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

① 人文学部現代文化学科（国語）中一種免

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数		備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項			必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	○日本語学概論Ⅰ	2		2	
			○日本語学概論Ⅱ	2		2	
			○日本語表現技法Ａ（文章）	2		2	
			○日本語表現技法Ｂ（音声）	2		2	
			日本語史	2		2	
			日本語の構造	2		2	
			日本語の語彙・意味	2		2	
		国文学（国文学史を含む。）	○日本文学の発生	1		2	
			○日本文学の変遷	1		2	
			日本の文学（古典Ａⅰ）	2		2	10単位必修
			日本の文学（古典Ａⅱ）	2		2	
			日本の文学（古典Ｂⅰ）	2		2	
			日本の文学（古典Ｂⅱ）	2		2	
			日本の文学（近現代Ⅰ）	2		2	
			日本の文学（近現代Ⅱ）	2		2	
			日本の文学（特講Ａ）	2		2	
			日本の文学（特講Ｂ）	2		2	
		漢文学	漢文学Ⅰ	2		2	中一種免は4単位必修 高一種免は8単位必修
			漢文学Ⅱ	2		2	
			漢文学Ⅲ	3		2	
			中国文学	2		2	
		書道（書写を中心とする。）	○書道文化（技法）	1		2	中一種免のみ開設
			○書道文化史	3		4	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）※2		○国語科教育法Ⅰ	2		2	
			○国語科教育法Ⅱ	2		2	
			○国語科教育法Ⅲ	3		2	
			○国語科教育法Ⅳ	3		2	
修得しなければならない最低単位数		中 28	上記科目より、中 40 単位以上修得すること。なお、最低修得単位数（中 28 単位）を超えて修得した選択科目については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

※1「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の修得単位は、卒業認定の単位には加算されない。
※2 教育職員免許法施行規則改正により、教育現場での ICT 活用能力向上のため 2022 年 4 月 1 日より変更となりました。2022 年度以降に履修する際は、ICT 事項を含んだ内容にて科目が開設されますが、2021 年度までに既に科目を修得済みの場合は、改めてこれらの科目を履修する必要はありません。

② 人文学部現代文化学科（国語）高一種免

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数		備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項			必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	○日本語学概論Ⅰ	2		2	
			○日本語学概論Ⅱ	2		2	
			○日本語表現技法Ａ（文章）	2		2	
			○日本語表現技法Ｂ（音声）	2		2	
			日本語史	2		2	
			日本語の構造	2		2	
			日本語の語彙・意味	2		2	
		国文学（国文学史を含む。）	○日本文学の発生	1		2	
			○日本文学の変遷	1		2	
			日本の文学（古典Ａⅰ）	2		2	10単位必修
			日本の文学（古典Ａⅱ）	2		2	
			日本の文学（古典Ｂⅰ）	2		2	
			日本の文学（古典Ｂⅱ）	2		2	
			日本の文学（近現代Ⅰ）	2		2	
			日本の文学（近現代Ⅱ）	2		2	
			日本の文学（特講Ａ）	2		2	
			日本の文学（特講Ｂ）	2		2	
		漢文学	漢文学Ⅰ	2		2	中一種免は4単位必修 高一種免は8単位必修
			漢文学Ⅱ	2		2	
			漢文学Ⅲ	3		2	
			中国文学	2		2	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）※2		○国語科教育法Ⅰ	2		2	
			○国語科教育法Ⅱ	2		2	
			○国語科教育法Ⅲ	3		2	
			○国語科教育法Ⅳ	3		2	
修得しなければならない最低単位数		高 24	上記科目より、高 40 単位以上修得すること。なお、最低修得単位数（高 24 単位）を超えて修得した選択科目については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

※1「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の修得単位は、卒業認定の単位には加算されない。
※2 教育職員免許法施行規則改正により、教育現場での ICT 活用能力向上のため 2022 年 4 月 1 日より変更となりました。2022 年度以降に履修する際は、ICT 事項を含んだ内容にて科目が開設されますが、2021 年度までに既に科目を修得済みの場合は、改めてこれらの科目を履修する必要はありません。

③ 人文学部言語芸術学科英語教職コース（英語）

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項				必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	○初級英語音声学 ○英文法Ⅰ ○英文法Ⅱ ○英語学概論	2 2 2 2	2 2 2 2		
		英語文学	○英語表現A（小説） ○英語表現B（戯曲） ○英語表現C（詩歌） ○英語文学・文化 ○イギリス文学の変遷Ⅰ ○イギリス文学の変遷Ⅱ ○アメリカ文学の変遷 イギリス文学Ⅰ アメリカ文学	2 2 2 2 2 2 2 3 3	2 2 2 2 2 2 2 2 2		いずれか１科目選択必修
		英語コミュニケーション	○First-year English AⅠ ○First-year English AⅡ First-year English BⅠ First-year English BⅡ	1 1 1 1	2 2 2 2		
		異文化理解	○異文化コミュニケーション 海外フィールドワーク（実践） ○海外フィールドワーク（理論）Ⅱ	1 3 3	2 2	4	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）※2		○英語科教育法Ⅰ ○英語科教育法Ⅱ ○英語科教育法Ⅲ ○英語科教育法Ⅳ	2 2 3 3		2 2 2 2	
修得しなければならない最低単位数		中 28 高 24	上記科目より、中40単位、高40単位以上修得すること。なお、最低修得単位数（中28単位、高24単位）を超えて修得した選択科目については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

※1「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の修得単位は、卒業認定の単位には加算されない。
※2 教育職員免許法施行規則改正により、教育現場でのICT活用能力向上のため2022年4月1日より変更となりました。2022年度以降に履修する際は、ICT事項を含んだ内容にて科目が開設されますが、2021年度までに既に科目を修得済みの場合は、改めてこれらの科目を履修する必要はありません。

④ 国際キャリア学部国際英語学科（英語）

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項				必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	○English Linguistics ○English Phonetics ○English Grammar L2 Acquisition	2 2 2 2		2 2 2 2	
		英語文学	○History of English Literature ○History of American Literature ○English and British Culture ○English and American Culture English Literature Ⅰ English Literature Ⅱ American Literature Ⅰ American Literature Ⅱ	2 2 2 2 3 3 3 3		2 2 2 2 2 2 2 2	
		英語コミュニケーション	○First-year English AⅠ ○First-year English AⅡ First-year English BⅠ First-year English BⅡ	1 1 1 1	2 2 2 2		
		異文化理解	○Intercultural Communication Short Overseas	1 2		2 6	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）※2		○英語科教育法Ⅰ ○英語科教育法Ⅱ ○英語科教育法Ⅲ ○英語科教育法Ⅳ	2 2 3 3		2 2 2 2	
修得しなければならない最低単位数		中 28 高 24	上記科目より、中 40 単位、高 40 単位以上修得すること。なお、最低修得単位数（中 28 単位、高 24単位）を超えて修得した選択科目については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

※1「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の修得単位は、卒業認定の単位には加算されない。
※2 教育職員免許法施行規則改正により、教育現場でのICT活用能力向上のため2022年4月1日より変更となりました。2022年度以降に履修する際は、ICT事項を含んだ内容にて科目が開設されますが、2021年度までに既に科目を修得済みの場合は、改めてこれらの科目を履修する必要はありません。

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等		単位数	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数		備考
					必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	中10 高10	○教育原論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		○教師論	2		2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		○教育経営論	2		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○教育心理学	2		2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育	2		2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○教育課程論	2		2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高 8	○道徳教育の理論と指導法	3		2	中一種免のみ
	総合的な学習の時間の指導法		○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2	
	特別活動の指導法						
	教育の方法及び技術		○教育方法論	2		2	
	情報通信技術を活用した教育の理論および方法※２						
	生徒指導の理論及び方法		○生徒・進路指導論（キャリア教育の理論及び方法を含む）	3		2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○教育相談	3		2	カウンセリングを含む
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	○教育実習Ⅰ 教育実習ⅡA 教育実習ⅡB	3～4 4 4		1 4 2	事前・事後指導 中一種免必修 高一種免必修
	学校体験活動						
	教職実践演習	2	○教職実践演習（中・高）	4		2	
修得しなければならない最低単位数		中27 高23	上記科目より、中学校免許状29単位以上、高等学校免許状25単位以上修得すること。 なお、最低修得単位数を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

※1「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位は、卒業認定の単位には加算されない。ただし、「教育原論」「教育経営論」及び「教育心理学」は卒業認定単位として加算する。
※2教育職員免許法施行規則改正により、教育現場でのICT活用能力向上のため2022年4月1日より「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」（ICT事項）が追加されました。2022年度以降に履修する際は、ICT事項を含んだ内容にて科目が開設されますが、2021年度までに既に科目を修得済みの場合は、改めてこの科目を履修する必要はありません。

(3)大学が独自に設定する科目

○印は教職課程必修

科目区分	開設授業科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
大学が独自に設定する科目	○人権教育の理論と指導法	2		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて中4、高12単位以上を修得 ＊高一種免のみ
	○障害児教育の理論と指導法	2		2	
	＊道徳教育の理論と指導法	3		2	
	○学校インターンシップ	2		1	

※「人権教育の理論と指導法」及び「障害児教育の理論と指導法」は卒業認定単位として加算する。

(4)教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
日本国憲法	2	○日本国憲法	1		2	
体育	2	○健康･スポーツ科学実習A	1		1	
		○健康･スポーツ科学実習B	1		1	
外国語コミュニケーション	2	First-year English AⅠ	1	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作※	2	情報リテラシー	1	2		

※教育職員免許法施行規則改正により、2022年4月1日より変更となりました。
これまでの科目内容からの変更はありません。

人間関係学部

〈2019～2022年度入学生〉

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

① 心理学科（社会）

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等 科目区分	各科目に含めることが必要な事項	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	日本史及び外国史	歴史学入門	1		2	
		○日本史	2		2	
		○世界史	2		2	
		キリスト教の歴史	2	2		
	地理学(地誌を含む。)	○地理学（地誌を含む）	1		2	
	「法律学、政治学」	○法学入門（国際法を含む）	2		2	
		○政治学入門（国際政治を含む）	2		2	
		国際関係論	3		2	
	「社会学、経済学」	行動経済学	2		2	
		経済学概論	1		2	
		○国際経済論	2		2	
		○社会学概論	1		2	
		経営学概論	1		2	
		マーケティング	2		2	
	「哲学、倫理学、宗教学」	○哲学概論	1		2	
		○倫理学概論	2		2	
		○宗教学概論	1		2	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）※2	○社会・公民科教育法Ⅰ	2		2	
		○社会・公民科教育法Ⅱ	3		2	
		○社会・公民科教育法Ⅲ	2		2	
		○社会・公民科教育法Ⅳ	3		2	
修得しなければならない最低単位数	中28	上記科目より、36単位以上修得すること。なお、最低修得単位数（28単位）を超えて修得した選択科目については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

※1「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の修得単位は、卒業認定の単位には加算されない。
※2 教育職員免許法施行規則改正により、教育現場でのICT活用能力向上のため2022年4月1日より変更となりました。2022年度以降に履修する際は、ICT事項を含んだ内容にて科目が開設されますが、2021年度までに既に科目を修得済みの場合は、改めてこれらの科目を履修する必要はありません。

② 心理学科（公民）

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等 科目区分	各科目に含めることが必要な事項	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	「法律学(国際法を含む。)、政治学（国際政治を含む。)」	○法学入門（国際法を含む）	2		2	
		○政治学入門（国際政治を含む）	2		2	
		国際関係論	3		2	
	「社会学､経済学（国際経済を含む。)」	行動経済学	2		2	
		経済学概論	1		2	
		○国際経済論	2		2	
		○社会学概論	1		2	
		経営学概論	1		2	
		マーケティング	2		2	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	○哲学概論	1		2	
		○倫理学概論	2		2	
		○宗教学概論	1		2	
		○心理学概論A	1	2		
		心理学概論B	1	2		
		社会心理学（社会･集団･家族心理学A）	1	2		
		人間関係心理学	1		2	
		ジェンダー心理学	3		2	
		福祉心理学	3		2	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）※2	○社会・公民科教育法Ⅰ	2		2	
		○社会・公民科教育法Ⅱ	3		2	
		○社会・公民科教育法Ⅲ	2		2	
		○社会・公民科教育法Ⅳ	3		2	
修得しなければならない最低単位数	高24	上記科目より、38単位以上修得すること。なお、最低修得単位数（24単位）を超えて修得した選択科目については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

※1「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の修得単位は、卒業認定の単位には加算されない。
※2 教育職員免許法施行規則改正により、教育現場でのICT活用能力向上のため2022年4月1日より変更となりました。2022年度以降に履修する際は、ICT事項を含んだ内容にて科目が開設されますが、2021年度までに既に科目を修得済みの場合は、改めてこれらの科目を履修する必要はありません。

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等		単位数	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	中10 高10	○教育原論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		○教師論	2		2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		○教育経営論	2		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○教育心理学	2		2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育	2		2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○教育課程論	2		2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高８	○道徳教育の理論と指導法	3		2	中一種免のみ
	総合的な学習の時間の指導法		○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2	
	特別活動の指導法						
	教育の方法及び技術		○教育方法論	2		2	
	情報通信技術を活用した教育の理論および方法※2						
	生徒指導の理論及び方法		○生徒・進路指導論（キャリア教育の理論及び方法を含む）	3		2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○教育相談	3		2	カウンセリングを含む
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	○教育実習Ⅰ 教育実習ⅡA 教育実習ⅡB	3～4 4 4		1 4 2	事前・事後指導 中一種免必修 高一種免必修
	学校体験活動						
	教職実践演習	2	○教職実践演習(中・高)	4		2	
修得しなければならない最低単位数		中27 高23	上記科目より、中学校免許状29単位以上、高等学校免許状25単位以上修得すること。 なお、最低修得単位数を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

※１「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位は、卒業認定の単位には加算されない。
ただし、「教育原論」「教育経営論」及び「教育心理学」は卒業認定単位として加算する。

※２教育職員免許法施行規則改正により、教育現場でのICT活用能力向上のため2022年４月１日より「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」（ICT事項）が追加されました。2022年度以降に履修する際は、ICT事項を含んだ内容にて科目が開設されますが、2021年度までに既に科目を修得済みの場合は、改めてこの科目を履修する必要はありません。

(3)大学が独自に設定する科目

○印は教職課程必修

科目区分	開設授業科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
大学が独自に設定する科目	○人権教育の理論と指導法	2		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて中４、高12単位以上を修得 ＊高一種免のみ
	○障害児教育の理論と指導法	2		2	
	＊道徳教育の理論と指導法	3		2	
	○学校インターンシップ	2		1	

※「人権教育の理論と指導法」及び「障害児教育の理論と指導法」は卒業認定単位として加算する。

(4)教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
日本国憲法	2	○日本国憲法	1		2	
体育	2	○健康・スポーツ科学実習A	1		1	
		○健康・スポーツ科学実習B	1		1	
外国語コミュニケーション	2	First-year English AⅠ	1	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作※	2	情報リテラシー	1	2		

※教育職員免許法施行規則改正により、2022年４月１日より変更となりました。
これまでの科目内容からの変更はありません。

日本語教員養成コース<人文学部>

○日本語教員養成コースとは

・日本語を教えるための専門的な知識と技術を学び、日本語を学ぶ人の多様化に対応できる人材を育成するコースです。

○日本語教員養成コースの履修について

・本コースの履修を希望する者は、2年次の1月に行われる「日本語教員養成コース説明会」に必ず出席し、履修希望届を提出してください。提出しない場合は理由のいかんを問わず、コースを履修することができません。
・以下の履修資格基準を満たした者に、本コースの履修を許可します。

日本語教員養成コース履修資格基準

原則として次の基準を満たした者が第3年次にコースを履修することができる。
・第2年次までに60単位以上を修得し、GPA(総合)が2.2以上であること
・第1年次・2年次における必修科目を修得していること
・**第2年次において、「日本語教育概論Ⅰ」「日本語教育概論Ⅱ」を修得していること**
※但し、編入生及び交換留学・認定留学の対象学生はこの限りではない。

・3月(2年次)の新年度オリエンテーションの際に、履修許可者を発表します。掲示で結果を確認し、教務課にて履修申込書を受け取って提出してください。履修申込書の提出がなかった場合はコース履修を辞退したものとみなします。
履修科目登録は各自でWEBにて行ってください。

〈全履修生共通〉

○修了証の発行について

・卒業年次(4年次)の5月に「日本語教員養成コース修了証発行申請書」を教務課に提出してください。申請書の提出がない場合、資格科目をすべて修得していても、修了証の発行はできません。

○卒業後の資格取得について

・卒業後に本コースの修了を希望する場合、在学中に修得した科目は免除されます。ただし、カリキュラム改正等で在学当時と科目名称や単位数が異なる場合、再度、履修が必要となる場合があります。

〈2019 ～ 2022 年度入学生用〉

	領域	区分		単位数	本学の授業科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択
コミュニケーション	社会・文化・地域に関わる領域	社会文化地域	・世界と日本 ・異文化接触 ・日本語の教育の歴史と現状	4単位以上	多文化共生論	2		2
					社会学入門	2		2
					日本文化論D(外国からみた日本)	2		2
					比較文化論A(日本とアジア)	2		2
					比較文化論B(日本とヨーロッパ)	2		2
					比較文化論C(日本とアメリカ)	2		2
					ポップカルチャーA(国内)	2		2
		言語と社会	・言語と社会の関係 ・言語使用と社会 ・異文化コミュニケーションと 社会	6単位以上	文化人類学入門	2		2
					社会言語学	2		2
					異文化コミュニケーション	1		2
					日本語表現技法A(文章)	2		2
					日本語表現技法B(音声)	2		2
					ことばとコミュニケーション	1		2
					メディアとことば	2		2
		言語と心理	・言語理解の過程 ・言語習得・発達 ・異文化理解と心理	4単位以上	人間形成と教育	1		2
					教育心理学	2		2
					言語学概論	1		2
					児童日本語教育法	2		2
	教育に関わる領域	言語と教育	・言語教育法・実習 ・異文化教育とコミュニケーション教育 ・言語教育と情報	12単位以上	日本語教育概論Ⅰ	2	2	
					日本語教育概論Ⅱ	2	2	
					日本語教材研究Ⅰ	3	2	
					日本語教材研究Ⅱ	3	2	
					日本語教授法演習Ⅰ	4	2	
					※日本語教授法演習Ⅱ	4	2	
					日本語教育実習フィールドワーク	3		2
	言語に関する領域	言語	・日本語の構造一般 ・日本語の構造 ・言語研究 ・コミュニケーション能力	8単位以上	対照言語学	2		2
					日本語学概論Ⅰ	2	2	
					日本語学概論Ⅱ	2	2	
					日本語の構造	2		2
					日本語の語彙・意味	2		2
					日本語史	2		2
	3領域	5区分		34単位	上記科目より34単位以上修得すること。			

＊2017年度入学生からは、日本語教授法演習Ⅱに教育実習1単位が含まれます。
＊日本語教員養成コースは、平成28年法務省「日本語教育機関の告示基準」と平成30年文化審議会「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）」に基づいています。

日本語教員養成コース<国際キャリア学部 国際キャリア学科>

○日本語教員養成コースとは

・日本語を教えるための専門的な知識と技術を学び、日本語を学ぶ人の多様化に対応できる人材を育成するコースです。

○日本語教員養成コースの履修について

・本コースの履修を希望する者は、１年次の１月に行われる「日本語教員養成コース説明会」に必ず出席し、希望届を提出してください。提出しない場合は理由のいかんを問わず、コースを履修することができません。
・以下の履修資格基準を満たした者に、本コースの履修を許可します。

日本語教員養成コース履修資格基準

原則として次の基準を満たした者が第２年次にコースを履修することができる。
・第１年次までに30単位以上を修得し、GPA(総合)が2.4以上であること
・第１年次における必修科目を修得していること

・３月（１年次）の新年度オリエンテーションの際に、履修許可者を発表します。掲示で結果を確認し、教務課にて履修申込書を受け取って提出してください。履修申込書の提出がなかった場合はコース履修を辞退したものとみなします。履修科目登録は各自で WEB にて行ってください。

〈全履修生共通〉

○修了証の発行について

・卒業年次（４年次）の５月に「日本語教員養成コース修了証発行申請書」を教務課に提出してください。申請書の提出がない場合、資格科目をすべて修得していても、修了証の発行はできません。

○卒業後の資格取得について

・卒業後に本コースの終了を希望する場合、在学中に修得した科目は免除されます。ただし、カリキュラム改正等で在学当時と科目名称や単位数が異なる場合、再度、履修が必要となる場合があります。

国際キャリア学部　国際キャリア学科
〈2020 ～ 2022 年度入学生用〉

	領域	区分		単位数	本学の授業科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択
コミュニケーション	社会・文化・地域に関わる領域	社会文化地域	・世界と日本 ・異文化接触 ・日本語の教育の歴史と現状	8単位以上	多文化共生論	2		2
					国際関係論	3		2
					Japanese Studies A (Culture)	3		2
					International Relations Ⅰ	3		2
					International Relations Ⅱ	3		2
					Japanese Studies D(History)	2		2
					Asian Studies A (Culture)	2		2
		言語と社会	・言語と社会の関係 ・言語使用と社会 ・異文化コミュニケーションと社会	4単位以上	文化人類学入門	2		2
					Intercultural Communication	2		2
					社会学入門	1		2
		言語と心理	・言語理解の過程 ・言語習得・発達 ・異文化理解と心理	4単位以上	人間形成と教育	1		2
					教育心理学	2		2
					児童日本語教育法	2		2
	教育に関わる領域	言語と教育	・言語教育法・実習 ・異文化教育とコミュニケーション教育 ・言語教育と情報	12単位以上	日本語教育概論Ⅰ	2	2	
					日本語教育概論Ⅱ	2	2	
					日本語教材研究Ⅰ	3	2	
					日本語教材研究Ⅱ	3	2	
					日本語教授法演習Ⅰ	4	2	
					※日本語教授法演習Ⅱ	4	2	
					日本語教育実習フィールドワーク	3		2
	言語に関する領域	言語	・日本語の構造一般 ・日本語の構造 ・言語研究 ・コミュニケーション能力	6単位以上	Critical Thinking	1	2	
					Communication Strategy	2		2
					中国語 Ⅲ	2		2
					中国語 Ⅳ	2		2
					フランス語 Ⅲ	2		2
					フランス語 Ⅳ	2		2
					韓国語 Ⅲ	2		2
					韓国語 Ⅳ	2		2
	3領域	5区分		34	上記科目より34単位以上修得すること。			

＊日本語教授法演習Ⅱに教育実習1単位が含まれます。
＊日本語教員養成コースは、平成28年法務省「日本語教育機関の告示基準」と平成30年文化審議会「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）」に基づいています。

児童英語教育指導員養成コース<人文学部>

○児童英語教育指導員養成コースとは

児童英語教育分野の理論や技術を学び、小学校での実践を通して、子供たちに英語を教えるための総合的な力を育成するコースです。

〈2019～2022 年度入学生〉

○児童英語教育指導員養成コースの履修について

本コースの履修を希望する者は、1 月に行われる「児童英語教育指導員養成コース説明会」に必ず出席してください。

説明会で配布される履修希望届を必ず提出してください。提出しない場合は理由のいかんを問わず、履修することはできません。

以下の履修資格基準を満たした者に対して、本コースの履修を許可します。

児童英語教育指導員養成コース履修資格基準

次の(1)または(2) の基準を原則として満たした者が履修することができる。
(1) 第 2 年次より本コースの履修を希望する場合
・第 1 年次において 30 単位以上修得し、GPA(総合) が2.4 以上であること。
・第 1 年次における必修科目を修得していること。
(2) 第 2 年次において本コースを履修しなかったもので、第 3 年次より履修を希望する場合
・前年度までに 60 単位以上を修得し、GPA(総合) が 2.4 以上であること。

・但し、3 年次より履修を希望する場合は、卒業時に本コースを修了できないことも予想されます。その場合は卒業後、科目等履修制度により本コースの単位を修得することができます。
・3 月 (2年次) の新年度オリエンテーションの際に、履修許可者を発表します。掲示で結果を確認し、履修科目登録は各自で WEB にて行ってください。

「児童英語フィールドワーク」について

・本コースの必修科目です。ゲストティーチャーとして小学校で実際の授業に参加します。詳細については授業時間内に科目担当者から説明があります。

〈全履修生共通〉

○修了証の発行について

・卒業年次 (4 年次) の 5 月に「児童英語教育指導員養成コース修了証発行申請書」を教務課に提出してください。申請書の提出がない場合、資格科目をすべて修得していても、修了証の発行はできません。

○卒業後の資格取得について

・卒業後に本コースの資格取得を希望する場合、在学中に修得した科目は免除されます。ただし、カリキュラム改正等で在学当時と科目名称や単位数が異なる場合、再度、履修が必要となる場合があります。

人文学部
〈2019 ～ 2022 年度入学生用〉

科目区分	必要単位数	本学の開講科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
児童英語に関する基礎科目	6 以上	教育原論	2		2	
		教育経営論	2		2	
		比較教育 A（日本と欧米）	2		2	
		比較教育 B（日本とアジア）	2		2	
		教育心理学	2		2	
		児童文学（英語）	2		2	
言語学に関する科目	6 以上	言語学概論	1		2	
		英文法 I	2		2	
		英文法 II	2		2	
		初級英語音声学	2	2		
		L2 Acquisition	2		2	
比較文化に関する科目	6 以上	イギリス文学の変遷 I	2		2	
		イギリス文学の変遷 II	2		2	
		アメリカ文学の変遷	2		2	
		イギリス文学 I	3		2	
		イギリス文学 II	3		2	
		アメリカ文学	3		2	
英語コミュニケーションに関する科目	10 以上	First Year English A I	1	2		
		First Year English A II	1	2		
		First Year English B I	1	2		
		First Year English B II	1	2		
		異文化コミュニケーション	1		2	
		キッズコミュニケーション/Kids Communication	3	2		
児童英語の教授に関する科目	8 単位	児童英語教育法/English for Young Learners Methodology	2	2		
		児童英語指導法演習 I /English for Young Learners Seminar I	3	2		
		児童英語指導法演習 II /English for Young Learners Seminar II	3	2		
		児童英語フィールドワーク I /English for Young Learners Fieldwork I	3	2		＊選択必修
		児童英語フィールドワーク II /English for Young Learners Fieldwork II	3	2		＊選択必修
5 分野	36 単位	28 科目	—	—	—	—

＊児童英語フィールドワーク I /English for Young Learners Fieldwork I
または児童英語フィールドワーク II /English for Young Learners Fieldwork II
どちらか一つを選択すること（選択必修）

児童英語教育指導員養成コース<国際キャリア学部 国際英語学科>

○児童英語教育指導員養成コースとは

児童英語教育分野の理論や技術を学び、小学校での実践を通して、子供たちに英語を教えるための総合的な力を育成するコースです。

〈国際キャリア学部2019～2022年度入学生〉

○児童英語教育指導員養成コースの履修について

本コースの履修を希望する者は、1月に行われる「児童英語教育指導員養成コース説明会」に必ず出席してください。

説明会で配布される申込書を必ず提出してください。提出しない場合は理由のいかんを問わず、履修することはできません。

以下の履修資格基準を満たした者に対して、本コースの履修を許可します。

児童英語教育指導員養成コース履修資格基準

次の(1)または(2)の基準を原則として満たした者が履修することができる。
(1)第2年次より本コースの履修を希望する場合
・第1年次において30単位以上修得し、GPA(総合)が2.4以上であること。
・第1年次における必修科目を修得していること。
(2)第2年次において本コースを履修しなかったもので、第3年次より履修を希望する場合
・前年度までに60単位以上を修得し、GPA(総合)が2.4以上であること。

・但し、3年次より履修を希望する場合は、卒業時に本コースを修了できないことも予想されます。その場合は卒業後、科目等履修制度により本コースの単位を修得することができます。
・3月(2年次)の新年度オリエンテーションの際に、履修許可者を発表します。掲示で結果を確認し、履修科目登録は各自でWEBにて行ってください。

「English for Young Learners Fieldwork」について

・本コースの必修科目です。ゲストティーチャーとして小学校で実際の授業に参加します。詳細については授業時間内に科目担当者から説明があります。

〈全履修生共通〉

○修了証の発行について

・卒業年次(4年次)の5月に「児童英語教育指導員養成コース修了証発行申請書」を提出してください。申請書の提出がない場合、資格科目をすべて修得していても、修了証の発行はできません。

○卒業後の資格取得について

・卒業後に本コースの資格取得を希望する場合、在学中に修得した科目は免除されます。ただし、カリキュラム改正等で在学当時と科目名称や単位数が異なる場合、再度、履修が必要となる場合があります。

国際キャリア学部　国際英語学科
〈2019～2022年度入学生用〉

科目区分	必要単位数	本学の開講科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
児童英語に関する基礎科目	6以上	教育原論	2		2	
		教育経営論	2		2	
		比較教育A（日本と欧米）	2		2	
		比較教育B（日本とアジア）	2		2	
		教育心理学	2		2	
		児童文学（英語）	2		2	
言語学に関する科目	6以上	English Grammar	2		2	
		English Phonetics	2	2		
		L2 Acquisition	2		2	
		English Linguistics	2		2	
比較文化に関する科目	6以上	History of English Literature	2		2	
		History of American Literature	2		2	
		English Literature Ⅰ	3		2	
		English Literature Ⅱ	3		2	
		American Literature Ⅰ	3		2	
		American Literature Ⅱ	3		2	
英語コミュニケーションに関する科目	10以上	First Year English A Ⅰ	1	2		
		First Year English A Ⅱ	1	2		
		First Year English B Ⅰ	1	2		
		First Year English B Ⅱ	1	2		
		Intercultural Communication	1		2	
		Kids Communication	3	2		
児童英語の教授に関する科目	8単位	English for Young Learners Methodology	2	2		
		English for Young Learners Seminar Ⅰ	3	2		
		English for Young Learners Seminar Ⅱ	3	2		
		English for Young Learners Fieldwork Ⅰ	3	2		＊選択必修
		English for Young Learners Fieldwork Ⅱ	3	2		＊選択必修
5分野	36単位	27科目	—	—	—	—

＊ English for Young Learners Fieldwork Ⅰ または English for Young Learners Fieldwork Ⅱ どちらか一つを選択すること（選択必修）

人間関係学部子ども発達学科　免許・資格取得

1. 子ども発達学科で取得できる免許・資格

・小学校教諭一種免許
・幼稚園教諭一種免許
・特別支援学校教諭一種免許（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
・保育士資格

小学校教諭一種免許

〈2019 ～ 2022 年度入学生〉

1. 小学校教諭一種免許状取得のための基礎資格と最低取得単位数

	教科及び教職に関する科目			教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	基礎資格
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目		
小学校教諭一種免許	32(30)	31(27)	2(2)	8(8)	学士の学位を有すること

注 1）（　）は教育職員免許法上に定める最低修得単位数を示す。
注 2）「大学が独自に設定する科目」は「大学が独自に設定する科目」の単位数と、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」の教育職員免許法上の最低修得単位数を超えて修得した単位数を算入する。

2. 小学校免許科目の履修登録

年度初めの履修登録の際、必要な科目登録の手続きを行ってください。

なお、指定日に必ず履修希望科目が登録されているか確認してください。確認をせずに履修登録されなかった場合は学生各自の責任になりますので、十分注意してください。（P.62 ～の履修登録ページを参照のこと。）なお、履修登録締め切り後の科目変更・追加は一切認めません。

3. 小学校教育実習について

(1) 小学校教育実習履修資格

小学校教育実習は、将来教職に就くことを強く希望し、卒業年次に教員採用試験を受験する意思がある学生を対象に、大学で学んだ専門的知識・技能を実際の学校において実践することを目的としています。したがって、高度な専門的能力・知識・責任感・使命感などが重要な資質として要求されます。

詳細は、人間関係学部子ども発達学科学外実習履修内規（P.141～）を参照してください。

(2) 小学校教育実習実習計画

本学では、小学校教育実習の実習計画を以下のとおり計画しています。

1 年次　前期　　学外実習総合オリエンテーション
2 年次　後期～　小学校教育実習指導
3 年次　～前期　小学校教育実習指導
3 年次　6 月　　小学校教育実習　3 週間※
4 年次　　学校インターンシップ※
※実習日程は、実習校との協議により決定します。

4. 免許状授与申請の手続きについて

本学では、卒業時に限り大学で福岡県教育委員会へ一括して申請手続きを行います。教員免許状は、どの委員会で交付を受けたものであっても、すべての都道府県において効力を有します。申請手続きの詳細は別途掲示にてお知らせします。

なお、申請の際には免許状申請料として 3,300 円の費用がかかります。

(1)教科及び教科の指導法に関する科目

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数		備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項			必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	○国語表現	1		2	
		社会	小学校社会科	2		2	
		算数	数の理解	3		2	
		理科	小学校理科	2		2	
		生活	小学校生活科	1		2	
		音楽	○音楽（声楽） ○音楽（器楽）Ⅰ 音楽（器楽）Ⅱ	1 2 2		1 1 1	
		図画工作	○図画工作	1		1	
		家庭	小学校家庭科	1		2	
		体育	○体育	2		1	
		外国語	○子どもの英語	2		2	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）※		○初等教科教育法（国語） ○初等教科教育法（社会） ○初等教科教育法（算数） ○初等教科教育法（理科） ○初等教科教育法（生活） ○初等教科教育法（音楽） ○初等教科教育法（図画工作） ○初等教科教育法（家庭） ○初等教科教育法（体育） ○初等教科教育法（英語）	2 2 2 2 2 2 2 2 2 3		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
修得しなければならない最低単位数		30	上記科目より、32 単位以上修得すること。なお、最低修得単位数（30 単位）を超えて修得した選択科目については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

※教育職員免許法施行規則改正により、教育現場での ICT 活用能力向上のため 2022 年 4 月 1 日より変更となりました。2022 年度以降に履修する際は、ICT 事項を含んだ内容にて科目が開設されますが、2021 年度までに既に科目を修得済みの場合は、改めてこれらの科目を履修する必要はありません。

Part6 【免許・資格取得関係】

(2)教育の基礎的理解に関する科目等

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等		単位数	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○教育原理	1		2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）						
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		○教職概論	2		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○子どもの発達と学習の心理学 発達心理学Ⅰ（総論）	2 1	2 2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育論	1		2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○教育課程論	3		2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	○道徳教育の理論と実践	2		2	
	総合的な学習の時間の指導法		○総合的な学習の時間の指導法	3		2	
	特別活動の指導法		○特別活動論	4		2	
	教育の方法及び技術		○教育の方法と技術	3		2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法※			3		2	
	生徒指導の理論及び方法		○生徒・進路指導の理論と方法	3		2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○発達・教育相談の方法と実践 発達・教育相談の基礎	3 3		2 2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	○小学校教育実習指導 ○小学校教育実習	3 3		1 3	事前・事後指導を含む
	学校体験活動		○学校インターンシップ	4		1	
	教職実践演習	2	○総合実践演習（保・幼・小）	4		2	
修得しなければならない最低単位数		27	上記科目より、31単位以上修得すること。なお、最低修得単位数（27単位）を超えて修得した選択科目については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

※教育職員免許法施行規則改正により、教育現場でのICT活用能力向上のため2022年4月1日より「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」（ICT事項）が追加されました。2022年度以降に履修する際は、ICT事項を含んだ内容にて科目が開設されますが、2021年度までに既に科目を修得済みの場合は、改めてこの科目を履修する必要はありません。

(3)大学が独自に設定する科目

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
大学が独自に設定する科目	2					最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて2単位以上を修得

(4)教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
日本国憲法	2	○日本国憲法	1		2	
体育	2	○健康・スポーツ科学理論	1		2	
		○健康・スポーツ科学実習A	1		1	
外国語コミュニケーション	2	First-year English A Ⅰ	1	2		
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作※1	2	情報リテラシー	1	2		

※1 教育職員免許法施行規則改正により、2022年4月1日より変更となりました。
これまでの科目内容からの変更はありません。

※小学校教育実習に関する諸経費について

小学校教育実習25,000円、学校インターンシップ、介護等体験等に関する経費は小学校教育実習を許可する学生に対し、別途9,000円を徴収します。ただし小学校教諭免許取得に必要な金額に含まれている介護等体験費（2020年度実績9,000円）は変更になる場合があります。

その他、実習に関して発生する諸経費（交通費等）は、本人負担とします。

幼稚園教諭一種免許

〈2019 ～ 2022 年度入学生〉

1. 幼稚園教諭一種免許状取得のための基礎資格と最低取得単位数

	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	基礎資格
幼稚園教諭一種免許	22（16）	26（21）	14（14）	8（8）	学士の学位を有すること

注 1）（ ）は教育職員免許法上に定める最低修得単位数を示す。
注 2）「大学が独自に設定する科目」は「領域及び保育内容の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」の教育職員免許法上の最低修得単位数を超えて修得した単位数を算入する。

2. 幼稚園免許科目の履修登録

年度初めの履修登録の際、必要な科目登録の手続きを行ってください。

なお、指定日に必ず履修希望科目が登録されているか確認してください。確認をせずに履修登録されなかった場合は学生各自の責任になりますので、十分注意してください。(P.62～の履修登録ページを参照のこと。) なお、履修登録締め切り後の科目変更・追加は一切認めません。

3. 幼稚園教育実習について

(1) 幼稚園教育実習履修資格

幼稚園教育実習は大学で学んだ理論・技術を、実際の幼稚園で実践的に修得することを目的としています。したがって、基礎知識や学力、基礎技術はもちろん、責任感、研究心、健康管理能力なども重要な資質として要求されます。

詳細は、人間関係学部子ども発達学科学外実習履修内規 (P.141 ～) を参照してください。

(2) 幼稚園教育実習実習計画

本学では、幼稚園教育実習の実習計画を以下のとおり計画しています。

1 年次　前期　学外実習総合オリエンテーション
2 年次　前期　幼稚園教育実習指導 I
2 年次　9 月　幼稚園教育実習 I　10 日間
3 年次　後期　幼稚園教育実習指導 II
3 年次　2 月　幼稚園教育実習 II　10 日間

4. 免許状授与申請の手続きについて

本学では、卒業時に限り大学で福岡県教育委員会へ一括して申請手続きを行います。教員免許状は、どの委員会で交付を受けたものであっても、すべての都道府県において効力を有します。申請手続きの詳細は別途掲示にてお知らせします。

なお、申請の際には免許状申請料として 3,300 円の費用がかかります。

(1) 領域及び保育内容の指導法に関する科目

○印は幼稚園免許必修

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数		備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項			必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	国語	○国語表現	1		2	
		算数	数の理解	3		2	
		生活					
		音楽	○音楽（声楽） ○音楽（器楽） I 音楽（器楽） II 音楽表現	1 2 2 3		1 1 1 1	
		図画工作	図画工作	1		1	
		体育	○体育	2		1	
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		○保育内容総論 ○保育内容（健康） ○保育内容（人間関係） ○保育内容（環境） ○保育内容（言葉） ○保育内容（表現）	2 2 2 2 2 2		2 2 2 2 2 2	
修得しなければならない最低単位数		16	上記科目より、22単位以上修得すること。なお、最低修得単位数（16単位）を超えて修得した選択科目については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等		単位数	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○教育原理	1		2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）						
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		○保育者論	1		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○子どもの発達と学習の心理学 発達心理学Ⅰ（総論）	2 1	2 2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育論	1		2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○教育課程論	3		2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	○教育技術論（児童文化財研究）Ⅰ 教育技術論（児童文化財研究）Ⅱ	2 3		2 2	
	幼児理解の理論及び方法		○子どもの理解と援助	2		2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○発達・教育相談の方法と実践 発達・教育相談の基礎	3 3		2 2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	○幼稚園教育実習指導Ⅰ ○幼稚園教育実習指導Ⅱ ○幼稚園教育実習Ⅰ ○幼稚園教育実習Ⅱ	2 3 2 3		1 1 2 2	事前・事後指導を含む
	学校体験活動						
	教職実践演習	2	○総合実践演習（保・幼・小）	4		2	
修得しなければならない最低単位数		21	上記科目より、26単位以上修得すること。なお、最低修得単位数（21単位）を超えて修得した選択科目については、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。				

(3)大学が独自に設定する科目

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
大学が独自に設定する科目	14	表現概論 保育内容の理解と方法	3 1		2 2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて14単位以上を修得

(4)教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

○印は教職課程必修

免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
日本国憲法	2	○日本国憲法	1		2	
体育	2	○健康・スポーツ科学理論	1		2	
		○健康・スポーツ科学実習A	1		1	
外国語コミュニケーション	2	First-year English A Ⅰ	1	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作※1	2	情報リテラシー	1	2		

※教育職員免許法施行規則改正により、2022年4月1日より変更となりました。
これまでの科目内容からの変更はありません。

※幼稚園教育実習に関する諸経費について

幼稚園教育実習Ⅰ、幼稚園教育実習Ⅱに関する経費は幼稚園教育実習の履修を許可された学生に対し、別途、諸経費として16,000円を徴収します。

その他、実習に関して発生する諸経費（交通費等）は、本人負担とします。

特別支援学校教諭一種免許

〈2019 ～ 2022 年度入学生〉

1. 特別支援学校教諭一種免許状取得のための基礎資格と最低取得単位数

	特別支援教育に関する科目	基礎資格
特別支援学校教諭一種免許（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）	27(26)	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園教諭の普通免許状を有すること。

注 1)（ ）は教育職員免許法上に定める最低修得単位数を示す。

2. 特別支援学校免許科目の履修登録

年度初めの履修登録の際、必要な科目登録の手続きを行ってください。

なお、指定日に必ず履修希望科目が登録されているか確認してください。確認をせずに履修登録されなかった場合は学生各自の責任になりますので、十分注意してください。(P.62～の履修登録ページを参照のこと。) なお、履修登録締め切り後の科目変更・追加は一切認めません。

3. 特別支援学校教育実習について

(1) 特別支援学校教育実習履修資格

特別支援学校教育実習は、将来教職に就くことを強く希望し、卒業年次に教員採用試験を受験する意志がある学生を対象に、大学で学んだ特別支援教育に関する専門的知識・技能を実際の学校において実践することを目的としています。したがって、高度な専門的能力・知識・責任感・使命感などが重要な資質として要求されます。

詳細は、人間関係学部子ども発達学科学外実習履修内規 (P.141 ～) を参照してください。

(2) 特別支援学校教育実習実習計画

本学では、特別支援学校教育実習の実習計画を以下のとおり計画してます。

1 年次　学外実習総合オリエンテーション

3 年次　前期・後期　特別支援学校教育実習事前事後指導

特別支援学校教育実習　2 週間

4. 免許状授与申請の手続きについて

本学では、卒業時に限り大学で福岡県教育委員会へ一括して申請手続きを行います。教員免許状は、どの委員会で交付を受けたものであっても、すべての都道府県において効力を有します。申請手続きの詳細は別途掲示にてお知らせします。

なお、申請の際には免許状申請料として 3,300 円の費用がかかります。

特別支援教育に関する科目　○印は特別支援学校免許必修

免許法施行規則に定める科目区分等		単位数	左記に対応する本学開講科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	○障害児教育論	2		2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	○知的障害児の心理・生理・病理 ○肢体不自由児の心理・生理・病理 ○病弱児の心理・生理・病理	2 2 3		2 2 2	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		○知的障害児教育論 ○肢体不自由児教育論 ○病弱児教育論	2 3 3		2 2 2	
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		○知的障害児教育総論 ○病弱児教育総論	3 4		2 2	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5					
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目						
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		○視覚障害児教育論 ○聴覚障害児教育論 ○重複障害・LD等の心理・生理・病理	3 4 3		2 2 2	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	○特別支援教育実習指導 ○特別支援教育実習	3 3		1 2	事前・事後指導を含む
修得しなければならない最低単位数		26	上記科目より 27単位修得すること。				

※特別支援学校教育実習に関する諸経費について

特別支援教育実習等に関する経費は特別支援学校教育実習が許可された学生に対し、別途、諸経費として下記のとおり徴収します。その他、実習に関して発生する諸経費(交通費等)は、本人負担とします。

【小免基礎】　諸経費 :26,000 円

保育士資格

〈2019 ～ 2022 年度入学生〉

1. 保育士資格取得のための基礎資格と最低修得単位数

	教養科目	必修科目	選択必修科目	計	基礎資格
保育士資格	15以上(10)	62(51)	18以上(18)	95以上(79)	卒業に必要な単位を修得すること

注 1) 科目区分は厚生労働省告示による。
注 2)( ) は厚生労働省告示による最低修得単位数を示す。

2. 保育士科目の履修登録

年度初めの履修登録の際、必要な科目登録の手続きを行ってください。

なお、指定日に必ず履修希望科目が登録されているか確認してください。確認をせずに履修登録されなかった場合は学生各自の責任になりますので、十分注意してください。(P.62～の履修登録ページを参照のこと。) なお、履修登録締め切り後の科目変更・追加は一切認めません。

3. 保育実習について

(1) 保育実習履修資格

保育実習は諸教科で学修した理論、知識、技能を基礎として、保育所、児童福祉施設等の実践現場において、保育士としての必要な資質・能力・技術を実践的に修得することを目的としています。したがって、保育実習を履修するには基礎的な学力はもちろんのこと、心身ともに健康であること、保育士としての基礎的な資質が優れていること、さらに、卒業後の進路が明確であることが要求されます。

詳細は、人間関係学部子ども発達学科学外実習履修内規 (P.141～) を参照してください。

(2) 保育実習実習計画

本学では、保育実習の実習計画を以下のとおり計画しています。

1年次　　学外実習総合オリエンテーション
2年次　後期　　保育実習指導Ⅰ(保育所)
2年次　2･3月　保育実習Ⅰ　(保育所)　10日間
3年次　前期　　保育実習指導Ⅰ(施設)
3年次　8･9月　保育実習Ⅰ　(施設)　10日間
4年次　前期　　保育実習指導Ⅱ(保育所)　) ※
4年次　8･9月　保育実習Ⅱ　(保育所)　10日間)
4年次　前期　　保育実習指導Ⅲ(施設)　) ※
4年次　8･9月　保育実習Ⅲ　(施設)　10日間)

※保育実習Ⅱ、Ⅲはいずれか1科目を選択必修とします。

4.保育士登録申請の手続きについて

本学では、卒業時に限り大学で登録事務処理センターへ一括して申請手続きを行います。その後登録事務処理センターから各都道府県に所属する市役所に登録され保育士証が交付されます。保育士証は、いずれの都道府県に所属する市役所で交付されたものであっても、すべての都道府県において効力を有します。申請手続きの詳細は別途掲示にてお知らせします。なお、申請の際には登録手数料として 4,200 円(振込手数料を除く)の費用がかかります。交付された保育士証は卒業後、郵送で自宅に届きます。

告示による教科目				本学における教科の開設状況等						備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目名	授業形態	年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数	
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6 以上	子ども学概論	講義	1	2			
				子ども学フィールドワーク	演習	1	2			
				子ども学観察演習	演習	2	2			
				情報リテラシー	演習	1	2			
				子ども学フィールド演習	演習	2	2			
				生命科学入門	講義	1		2		
	外国語	演習	2 以上	First-year English A I	演習	1	2			
	体育	講義	1	健康・スポーツ科学理論	講義	1	2			注1)
		実技	1	健康・スポーツ科学実習 A	実技	1	1			注1)
				健康・スポーツ科学実習 B	実技	1		1		
合　計			10 単位以上				15	3		
				15 単位（≧ 10 単位）						

注１）「健康・スポーツ科学理論」「健康・スポーツ科学実習Ａ」は保育士資格必修。

告示別表第１による教科目（必修）				本学における教科の開設状況等						備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	年次	単位数 必修	選択	計	
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	1	2			
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	1	2			
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉論	講義	2	2			
	社会福祉	講義	2	社会福祉概論	講義	2	2			
	子ども家庭支援論	講義	2	子育て支援論	講義	4	2			
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2	2			
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	1	2			
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	発達心理学Ⅰ（総論）	講義	1	2			
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	発達心理学Ⅱ（乳幼児と親の発達心理）	講義	2	2			
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	2	2			
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2	2			
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2	2			
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	保育の計画と評価	講義	3	2			
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2	2			
	保育内容演習	演習	5	保育内容（表現）	演習	2	2			
				保育内容（言葉）	演習	2	2			
				保育内容（人間関係）	演習	2	2			
				保育内容（環境）	演習	2	2			
				保育内容（健康）	演習	2	2			
	保育内容の理解と方法	演習	4	保育内容の理解と方法	演習	1	2			
				教育技術論（児童文化財研究）Ⅱ	演習	3	2			
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2	2			
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	2	2			
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	2	2			
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	3	2			
	社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	3	2			
	子育て支援	演習	1	発達・教育相談の方法と実践	演習	3	2			
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	2	2			
				保育実習Ⅰ（施設）	実習	3	2			
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ（保育所）	演習	2	1			
				保育実習指導Ⅰ（施設）	演習	3	1			
総合演習	保育実践演習	演習	2	総合実践演習（保・幼・小）	演習	4	2			
合計		51 単位		62 単位（≧ 51 単位）						

別表第２による教科目（選択必修）				本学における教科の開設状況等						備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	年次	単位数 必修	選択	計	
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において認定		15 単位以上	表現概論	講義	3		2		
保育の対象の理解に関する科目				子どもの発達と学習の心理学	講義	2		2		
				発達・教育相談の基礎	講義	3		2		
				特別支援教育論	講義	1		2		
				子ども理解の心理統計法	演習	3		2		
保育の内容・方法に関する科目				国語表現	講義	1		2		
				教育技術論（児童文化財研究）Ⅰ	演習	2		2		
				運動遊び実践	演習	3		2		
				施設実践演習	演習	3		2		
				音楽（器楽）Ⅱ	演習	2		1		
				音楽（器楽）Ⅲ	演習	3		1		
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習	4		2		
				保育実習Ⅲ	実習	4		2		
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習	4		1		
				保育実習指導Ⅲ	演習	4		1		
合計			18 単位以上	18 単位（≧ 18 単位）						

保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲのどちらかを必ず履修すること。
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲのどちらかを必ず履修すること。

保育実習に関する諸経費について

保育実習Ⅰ（保育所）、保育実習Ⅰ（施設）、保育実習Ⅱ・保育実習Ⅲ（いずれか選択）に関する経費は、各実習が許可された学生に対し、次の通り徴収します。
その他、実習に関して発生する諸経費（交通費等）は、本人負担とします。

保育実習Ⅰ（保育所）	25,000 円
保育実習Ⅰ（施設）	25,000 円
保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	20,000 円

認定心理士<人間関係学部 心理学科>

○認定心理士とは

心理学の専門家としての職務を遂行するのに必要な、最小限の標準的基礎的学力と技能を修得していることを証明する資格です。所定の科目（次ページ以降参照）を修得し、卒業確定または卒業後に社団法人日本心理学会に申請すれば資格を取得することができます。

○日本心理学会ホームページをしっかり読んで申請を

日本心理学会ホームページ内に、認定心理士についての詳細な説明が記載されています。下記アドレス等を参考にしてください。
http://psych.or.jp/qualification/

○資格申請の種類は

a)時期
①大学卒業後
「認定申請」と呼ばれるもので、１度の申請作業で済みます。
②大学卒業前
申請書提出時に卒業見込証明書が発行される在学中の学生対象
「仮認定申請」と呼ばれるもので、卒業後に卒業提出書を提出した後、正式に認定されることになります。申請作業は２度行わなければなりません。しかし、申請書類が多数あり記載事項も複雑ですので、教員と相談しやすいこの方法をお勧めします。

b)方法
①郵送による紙面申請
②インターネットを使用した電子申請

○申請に必要なもの（申請種類や方法によって若干異なる）は

①認定心理士資格申請の手引き；日本心理学会より入手
②所定書式による書類；書式は日本心理学会より入手、電子申請時は画面入力
認定心理士資格認定申請書・履歴書・心理学関係科目修得単位表・
基礎科目ｃ領域の実験実習課題リストなど
③本学（各自）で準備する書類
シラバスのコピー、成績証明書または単位取得証明書など
注）郵送申請時に日本心理学会より入手しなければならない書類は、学会ホームページよりダウンロードする方法（無料）と、学会事務局から郵送して貰う方法（別途1,650円必要）があります。

○申請に必要な金額は

審査料 11,000円＋認定料 30,000円 ＝ 41,000円 ※申請の種類に関わらず同額

○認定心理士についてわからないことがあったら

認定心理士についての相談や質問は、Ｅメールでおこなうことが一番確実です。福岡女学院大学人間関係学部心理学科認定心理士担当教員(nshinrishi@fukujo.ac.jp)宛に、福岡女学院大学発行のアドレスを使用し、送信してください。

○認定心理士科目表

認定心理士の資格認定のためには、下記の科目表備考欄に掲げる履修要領に従い、総計して36認定単位以上であることが必要です。なお、社団法人日本心理学会の認定基準により、科目表の「副次主題」は本学の修得単位数の2分の1だけが認定単位となります。

(注意)下記の科目表は変更となることもあります。資格申請を考えている学生は、掲示等をこまめにチェックする、かつ多めの単位を修得するようにしてください。

＜2018年度以降の入学生用＞

	領域	主題	科目名	本学取得単位数	認定単位	備考
基礎科目	(a) 心理学概論	基本	心理学概論 A (必修)	2	2	4認定単位以上
			心理学概論 B (必修)	2	2	
	(b) 心理学研究法	基本	心理学研究法 (必修)	2	2	
			心理統計基礎 (心理学統計法 A)	2	2	
			心理統計応用 (心理学統計法 B)	2	2	
			心理統計実践	2	2	
	(c) 心理学実験・実習	基本	心理学実験 I	1	1	8認定単位以上
			心理学実験 II	1	1	
			社会心理学実験実習(心理学実験III)	2	2	最低4認定単位分はc領域の単位
		副次	心理療法基礎実習 I	1	0.5	
			心理療法基礎実習 II	1	0.5	
			心理実習 I	1	0.5	
			心理実習 II	1	0.5	
			心理実習 III	1	0.5	
基礎科目小計						合計 12 単位以上
選択科目	(d) 学習心理学・知覚心理学	基本	知覚・認知心理学	2	2	
			学習・言語心理学	2	2	
			感情・人格心理学	2	2	
	(e) 比較心理学・生理心理学	基本	神経・生理心理学	2	2	
	(f) 発達心理学・教育心理学	基本	発達心理学 A	2	2	
			発達心理学 B	2	2	
			教育心理学(教育・学校心理学 A)	2	2	
			学校心理学(教育・学校心理学 B)	2	2	
	(g) 人格心理学・臨床心理学	基本	臨床心理学概論 (必修)	2	2	
			障害者・障害児心理学	2	2	
			心理的アセスメント	2	2	
			心理学的支援法	2	2	
			健康・医療心理学	2	2	
			福祉心理学	2	2	
			家族心理学(社会・集団・家族心理学B)	2	2	
			司法・犯罪心理学	2	2	
			心理演習 I	1	1	
			心理演習 II	1	1	
		副次	精神疾患とその治療	2	1	
	(h) 産業心理学・社会心理学	基本	社会心理学(社会・集団・家族心理学A)(必修)	2	2	
			人間関係心理学	2	2	
			ジェンダー心理学	2	2	
			キャリア心理学	2	2	
			マーケティング	2	2	
			経営心理学	2	2	
			産業・組織心理学	2	2	
			集団心理学	2	2	
						＊5領域中、3領域以上で、それぞれの合計が4認定単位以上 ＊必ず基本主題を含むこと
選択科目小計						5 領域　計 16 単位以上
その他の科目	(i) 卒業研究・卒業論文・心理学関連科目	専門演習A		2	2	最大4認定単位 卒業研究や演習を認定単位とするには、心理学系のものでなければならない
		専門演習B		2	2	
		卒業研究A		2	2	
		卒業研究B		2	2	
	総計				認定単位総計	総計が 36 認定単位以上

社会福祉主事任用資格＜人間関係学部＞

○社会福祉主事とは

社会福祉主事とは、本来は社会福祉法に規定される公務員のことで、主に地方自治体の福祉事務所に勤務します。地域で福祉サービスを必要としている人の相談に応じ、生活保護の適用や保育所等の福祉施設などへの入所の手続を行います。

しかし現在は、このように福祉行政職員となる他に、様々な分野(児童・障害者・高齢者等)の社会福祉施設や、社会福祉協議会で、採用時の資格要件として準用されることが多い資格です。なお、「任用資格」とは公務員試験に合格し、福祉事務所などに配属されてはじめて資格として認定されるもので、国家資格ではありません。

○任用資格取得条件

大学で、厚生労働大臣の定める社会福祉に関する科目を 3 科目以上修めて卒業した人。本学では、厚生労働大臣指定の科目が 3 科目以上となるように、次の科目表に示している本学開講科目より合計 6 単位以上修得しなければなりません。

○社会福祉主事任用資格取得証明書の交付(4年生)

詳細は、掲示にてお知らせしますので、掲示後、希望者は、申し込みをしてください。なお、申し込み前に資格取得条件を満たしているかどうかを必ず確認してください。

申込期間内に、手続きをした場合は、卒業式後に教務課窓口にて交付します。

卒業式当日及び以降の申し込みの場合は、

・申込方法：教務課窓口又は電話 (092)575-2974
　平日　9 時～ 17 時 30 分
　※土・日・祝日・事務室休業日、除きます。
・受取方法：窓口又は郵送
・発行日数：窓口又は電話で受付した日から、土・日・祝日・事務室休業日を除いて、3 日後に発送または受け渡しします。

○社会福祉主事任用資格科目表

【2019年度以降入学生】

厚生労働大臣指定科目	本学開講科目	履修年次	単位	備　考
経　　済　　学	経済学概論	1	2	心理学科のみ
心　　理　　学	心理学概論A	1	2	心理学科のみ
	心理学概論B	1	2	心理学科のみ
	心理学概論	1	2	子ども発達学科のみ
社　　会　　学	社会学入門	1	2	
	社会学概論	1	2	心理学科のみ
教　　育　　学	教育原論	2	2	
	教育原理	1	2	子ども発達学科のみ
	保育原理	1	2	子ども発達学科のみ
倫　　理　　学	倫理学概論	2	2	心理学科のみ
医　学　一　般	人体の構造と機能及び疾患	3	2	心理学科のみ
社会福祉概論	社会福祉概論	2	2	子ども発達学科のみ
児童福祉論	子ども家庭福祉論	2	2	子ども発達学科のみ
家庭福祉論	子育て支援論	2	2	子ども発達学科のみ
社会福祉援助技術論	—			
3科目以上	修得すべき単位数	6単位以上		

○2018年度以前の入学生は科目が異なりますので、教務課に確認してください。

公認心理師<人間関係学部 心理学科>

○公認心理師法

公認心理師とは、心理学領域では初めての国家資格です。この資格は、2015 年9月9日に議員立法により成立し、9月 16 日に公布され、2017 年9月 15 日に施行された「公認心理師法」に基づきます。

誕生したばかりの資格であるため、詳細が確定していない部分があります。また、施行5年後に内容の見直しが行われることも決まっています。よって、資格取得の条件が変わる可能性があります。また、入学年度によって資格取得の要件が大きく異なります。公認心理師に関する説明会等への出席や、掲示等のチェックを必ず行ってください。

○公認心理師の定義

公認心理師とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいいます。

（1）心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
（2）心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
（3）心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
（4）心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

○公認心理師の資格取得方法

資格取得のためには、受験資格を満たした上で公認心理師試験を受け、合格しなければなりません。受験資格は、以下のものです。

（1）大学において主務大臣指定の心理学等に関する科目を修め、かつ、大学院において主務大臣指定の心理学等の科目を修めてその課程を修了
（2）大学で主務大臣指定の心理学等に関する科目を修め、施行規則で定められた施設で心理に関する支援の実務経験を2年以上積む
（3）文部科学大臣及び厚生労働大臣が（1）及び（2）に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認定する

○公認心理師関連情報

厚生労働省のホームページ内には、公認心理師に関する法律、通知等が記載されています。詳しい情報が知りたい人は参照してください。

www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116049.html

○公認心理師受験資格に必須となる大学での修得科目

	2018 年度入学生以降（編入生は 2020 年度入学以降） 開講科目名
[01] 公認心理師の職責	公認心理師の職責
[02] 心理学概論 ※2科目必要	心理学概論A
	心理学概論B
[03] 臨床心理学概論	臨床心理学概論
[04] 心理学研究法	心理学研究法
[05] 心理学統計法	心理統計基礎（心理学統計法A）
[06] 心理学実験 ※2科目必要	心理学実験Ⅰ
	心理学実験Ⅱ
[07] 知覚・認知心理学	知覚・認知心理学
[08] 学習・言語心理学	学習・言語心理学
[09] 感情・人格心理学	感情・人格心理学
[10] 神経・生理心理学	神経・生理心理学
[11] 社会・集団・家族心理学 ※2科目必要	社会心理学（社会・集団・家族心理学A）
	家族心理学（社会・集団・家族心理学B）
[12] 発達心理学 ※2科目必要	発達心理学A
	発達心理学B
[13] 障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学
[14] 心理的アセスメント	心理的アセスメント
[15] 心理学的支援法	心理学的支援法
[16] 健康・医療心理学	健康・医療心理学
[17] 福祉心理学	福祉心理学
[18] 教育・学校心理 ※2科目必要	教育心理学（教育・学校心理学A）
	学校心理学（教育・学校心理学B）
[19] 司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学
[20] 産業・組織心理学	産業・組織心理学
[21] 人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病
[22] 精神疾患とその治療	精神疾患とその治療
[23] 関係行政論	関係行政論（公認心理師関係）
[24] 心理演習 ※2科目必要	心理演習Ⅰ
	心理演習Ⅱ
[25] 心理実習（80 時間以上） ※3科目必要	心理実習Ⅰ
	心理実習Ⅱ
	心理実習Ⅲ

○心理実習に関する諸経費について
心理実習Ⅰに関する経費は、実習が許可された学生に対し、別途、諸経費として1,300円を徴収します。
心理実習Ⅱ、心理実習Ⅲに関する経費は、各実習が許可された学生に対し、別途、諸経費として2,500円を徴収します。
○2017年度以前の入学生は必須となる科目は大きく異なりますので、心理学科公認心理師担当教員に確認してください。

大学の事務室の業務は次のとおりです。

(1) 事務分掌 (業務の分担)

取 扱 事 項	担当部署
教育課程及び開講計画・授業概要シラバス及び履修ガイド・授業時間割・教室及び教員の管理・授業科目の履修及び単位・試験及び成績の保管・在学、成績及び卒業等の証明書発行・授業、休講及び補講・卒業及び修了判定・学年暦・教職課程及び各種資格・科目等履修生、聴講生、特別聴講生及び研究生・転部及び転科・学籍のデータ管理・所轄事項の調査統計報告・教務部委員会及び学部教務部委員会・学科事務室及び英語教育研究センター等の運営事務の支援・高大連携事業・学生サポーター制度・教員免許更新講習・非常勤講師・教科書・その他教務に関する事項	教務課
学生相談・学生生活・奨学金・課外活動・学生証、学割、通学定期の証明書・欠席届・学生カード・学生部関係会議及び委員会・学生動向調査・所轄事項の調査統計・ガウン・キャップの貸出及び回収・「キャンパスライフ」に関する事項・年度当初のオリエンテーション・その他学生の厚生及び指導に関する事項	学生課
ネットワークシステム及び情報処理システムの導入、運用及び管理・ネットワークアカウントの発行及び運用・情報セキュリティポリシーの立案及び運用・学院 IT 委員会及び情報セキュリティ対策委員会・CALL 教室で行われる授業の支援・CALL システムを使用する学生の支援・授業用視聴覚教材及び試験のソフト編集に関する事項・グループウェアの導入・運用及び管理・学事システムの導入・運用及び管理・情報教育センター事務	メディア情報課
入学案内、入試要項、願書その他学生募集に係る配布物の制作・学生募集に係る広告・学生募集に係る催し物・入試広報に係る高校訪問・願書その他入学試験及び広報関係資料の発送・入学試験・入試広報に係る各種データ分析・入学試験及び広報に係る各種調査書の作成・入試広報に係る委員会・大学ホームページの運営及び管理・入試広報用公用車の管理・特待生、入学前予約型修学支援奨学金及びファミリー奨学金の資格審査及び決定・大学の学生募集戦略の企画立案及び連絡調整に関する事項	入試広報課
大学の将来計画・自己点検・評価・認証評価・自己点検・評価・FD 委員会・大学及び短期大学部の再編手続き・IR に関する事項・その他学長より委嘱を受けた事項	学長室
図書館資料の受入れ及び管理・貸出閲覧及び利用者サービス・図書館委員会・図書館の調査統計及び報告・図書館システム・図書館の物品の購入及び管理・図書館の設備等の保守及び管理・図書館の業務委託・その他図書館運営に関する事項	図書館
キャリア形成支援に係る具体的施策の策定及び実施・キャリア教育に係る具体的施策の策定及び実施・キャリア関連科目のカリキュラム化及び単位化の立案・インターンシップ（企業開拓・選別、学生募集・選抜、単位化）・産学官他の学外関係機関との連携及びこれに係る補助金申請・キャリアセンター運営委員会・キャリア支援に関する各種調査報告・キャリア支援関係印刷物の発行・就職支援プログラム・求人の受付及び求人情報の提供・学内企業説明会・資格及び就職対策講座・就職指導及び進路相談・企業訪問・インターンシップ・就職委員会・進路及び就職に関する各種調査報告・就職関係印刷物の発行・管理運営の基本方針及びキャリアセンターに係る重要事項に関する事項	キャリアセンター
(地域貢献) 地域貢献のための地域連携等に係る基本方針の策定及び具体的施策の策定及び実施・地域連携等に係る大学の各諸機関の統括及び各諸機関間の相互の連絡機能業務・学外諸機関との地域連携に関する総合窓口及び学内機関との調整・地域貢献センター運営委員会・本学の地域連携推進の事業等に係る自己点検、評価・地域連携等に係る情報の収集、整理及び学内外への情報発信・地域連携に関する各種調査報告・地域連携支援関係印刷物の発行 (国際交流) 学生の海外留学及び海外研修・外国人留学生の受入れ・海外の大学との交流・国際交流委員会の事務・国際交流に関する危機対策会議の事務・留学生のための日本語チューター・留学生のインターンシップ・国際交流センターの運営・その他国際交流に関する事項・その他学院全体の国際交流に関する事項 (生涯学習) 講座の企画及び運営・各種資格検定試験の実施・受講者の管理・生涯学習センターの広報・講座の受講料・講師の出勤管理・講師の謝礼・生涯学習センター推進委員会及び運営委員会・生涯学習に関する統計調査・その他生涯学習に関する事項	地域・国際交流センター
教員採用選考試験対策等、教員採用支援・現職教員の研修・教育研究会・教職課程教育の改善を図るために必要な調査及び研究・中学生及び高校生対象のセミナー・所管する設備・備品の管理・教職支援センター運営委員会・その他教職支援センターの業務運営	教職支援センター
大学共通英語プログラムのデータ管理及び習熟度クラス編成・大学共通英語の授業及び教材に関する事項・英語教育研究センター内の書籍管理・プレイスメントテスト及びアチーブメントテストの運営並びに成績管理・英語教育研究センターの主催するワークショップに関する事項・書籍展示・契約教員及び非常勤講師への連絡・英語教育研究センターの各種会議・その他諸行事・紀要・その他英語教育研究センターに関する事項	英語教育研究センター

(2) 事務室の開室時間

事務室の開室時間は次のとおりです。開室時間外は原則として事務の取り扱いを行いませんので、注意してください。

平　日　　9:00 ～ 17:30

土曜日　　閉室（事務取り扱いはいたしません）

なお、日曜、祝祭日は開室いたしません。また、夏期、冬期休暇中は開室時間の変更、および閉室等がありますので、掲示等に注意してください。

Part8 【学則および学内関係諸規程】

○ 福岡女学院大学 学則（抜粋）…… 123
○ 福岡女学院大学 科目等履修生に関する規程 …… 133
○ 福岡女学院大学 聴講生および特別聴講生に関する規程 …… 134
○ 人間関係学部心理学科 心理実習履修内規 …… 135
○ 子ども発達学科履修内規 …… 136
○ 2019年度以降の入学生用　子ども発達学科学外実習履修内規 …… 141
○ 特別支援学校教諭免許課程履修内規…… 144
○ 転部または転科に関する内規…… 146

福岡女学院大学学則（抜粋）

1990（平2）年4月1日制定
最終改正　2022（令和4）年3月25日

第１章　目的

第１条　本学はキリスト教に基づく福岡女学院創立の精神に則り、神を畏れ奉仕に生きるよき社会人としての女性を育成するために、教育基本法及び学校教育法に従って、深く専門の学芸に関する教育・研究を行うことを目的とする。

第２条　本学に人文学部、人間関係学部及び国際キャリア学部を置く。

人文学部は、建学の精神に基づく人格教育を基に、広い教養と深い学問とともに、実践的実務能力を併せ持った現代社会の要請に応え得る女性の育成を目的とする。

人間関係学部は、建学の精神に基づき、人とそのつながりについての幅広い教養と深い専門性をもって、自立的に社会貢献に取り組む女性の育成を目的とする。

国際キャリア学部は、国際語としての英語の役割に焦点を当て、高度な英語コミュニケーション能力を使って社会に貢献できる人材を育成する。そのために複言語主義の理念に立ち、言語や文化の違いを超えて人と共存できる柔軟な思考力と国際舞台で通用する創造的なキャリア観の育成を目的とする。

第２条の２　人文学部に現代文化学科、言語芸術学科及びメディア・コミュニケーション学科を置く。

現代文化学科は、文化をキーワードに、歴史と現在のつながりや地域と地域のつながりについて幅広く知識を習得するとともに、現代社会の諸問題について深く思考をめぐらせ、諸問題の解決を通じて社会の発展に貢献する人材の育成を目的とする。

言語芸術学科は、日本語及び英語による言語能力の育成、学際的教育の実践並びに体験重視の全人的教育を通して、創造的な思考力を身に付け、文化を社会に発信できる実践力を持った人材の育成を目的とする。

メディア・コミュニケーション学科は、メディア、コミュニケーション及びデザインに関する知識、実態、技術などを習得し、現代社会を動かしている出来事について主体的に判断し、社会に積極的にかかわり、様々な知識と表現方法を使って、よりよい社会を創っていく人材の育成を目的とする。

第２条の３　人間関係学部に心理学科と子ども発達学科を置く。

心理学科は、心理学及び周辺領域の体系的かつ広範な学修を通じて、自らが成長し続け、変容する社会と共に生きることのできる人材の育成を目的とする。

子ども発達学科は、子どもの発達に関する専門的知識と理解の学修を通じて、子どもを包括的に支援するための人材の育成を目的とする。

第２条の４　国際キャリア学部に国際英語学科及び国際キャリア学科を置く。国際英語学科は、国際語としての英語研究を通して、グローバルな視点から世界を理解し、高度な英語力と専門知識を使って社会に貢献できる人材を育成する。

国際キャリア学科は、国際舞台で協働できる行動力と創造性を備え、高度な英語コミュニケーション力と国際関係に関する知識を生かして社会に貢献できる人材を育成する。

第２章　学生定員及び修業年限

第３条　入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	コース	入学定員(名)	編入学定員(名)	収容定員(名)
人文学部	現代文化学科	—	105	5	430
	言語芸術学科	言語芸術コース	40	2	164
		英語教職コース	10	—	40
	メディア・コミュニケーション学科	—	50	2	204
人間関係学部	心理学科	—	100	4	408
	子ども発達学科	—	105	4	428
国際キャリア学部	国際英語学科	—	60	2	244
	国際キャリア学科	—	90	3	366
合計			560	22	2,284

第４条　修業年限は４年とする。

第５条　学生は８年を越えて在学することはできない。ただし、第 34 条第１項の規定により入学した学生は、同条第２項により定められた在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えて、在学することはできない。

２　前項の規定にかかわらず、長期履修学生として認められた学生は、８年を越えて在学することができる。

第３章　学年、学期及び休業日

第６条　学年は、4月1日に始まり、翌年3月 31 日に終わる。

第７条　学年を次の2学期に分ける。

（1）　前期　4月1日から9月30日まで
（2）　後期　10月1日から翌年3月31日まで

２　学長が特に必要と認めた場合は、前項に定める学期における授業の開始日及び終了日を変更することができる。

第８条　休業日を次のように定める。

（1）　日曜日
（2）　「国民の祝日に関する法律」に定める休日
（3）　創立記念日　5月18日
（4）　春期休業日　3月21日から3月31日まで
（5）　夏期休業日　8月1日から9月20日まで
（6）　冬期休業日　12月25日から1月7日まで

２　学長は必要に応じて前項の休業日を、臨時に変更することができる。

３　学長は必要ある場合、休業日に授業を行うことができる。

４　学長は特別の事情がある場合、第１項に定めるもののほか臨時休業日を定めることができる。
第８条の２　１年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第４章　教育課程、履修方法、単位及び卒業の認定

第９条　人文学部の授業科目の区分は、必修科目、選択科目及び自由科目とする。
２　人間関係学部の授業科目の区分は、必修科目、選択科目及び自由科目とする。
３　国際キャリア学部の授業科目の区分は、必修科目、選択科目及び自由科目とする。
第９条の２　各学部の授業科目の編成及びその単位数は、別表１のとおりとする。
２　教育職員免許状の取得に必要な教職に関する科目及びその単位数を別表２のとおり定める。
３　削除
４　削除
５　人間関係学部子ども発達学科の保育士の資格取得に必要な科目及びその単位数を別表６のとおり定める。
第10条　授業科目の単位計算方法は、大学設置基準第21条に定めるところに従い、次のとおりとする。
（１）　講義及び演習については、毎週２時間又は１時間15週をもって１単位とする。
（２）　実験、実習及び実技等については、毎週３時間又は２時間15週をもって１単位とする。
２　前項の規程にかかわらず、卒業研究などの授業科目については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これに必要な学習等を考慮して単位を定めることができる。
第11条　学生は、この学則及び別に定める履修規程に従って、在学中に所定の授業科目を124単位以上を修得しなければならない。
第12条　人文学部の授業科目の履修方法は、次のとおりとする。
（１）　現代文化学科
ａ　必修科目は、32単位を修得しなければならない。
ｂ　選択必修科目は、４単位以上を修得しなければならない。
ｃ　選択科目は、88単位以上を修得しなければならない。
（２）　言語芸術学科
イ　言語芸術コース
ａ　必修科目は、58単位を修得しなければならない。
ｂ　選択必修科目は、８単位以上を修得しなければならない。
ｃ　選択科目は、58単位以上を修得しなければならない。
ロ　英語教職コース
ａ　必修科目は、88単位を修得しなければならない。
ｂ　選択必修科目は、８単位以上を修得しなければならない。
ｃ　選択科目は、28単位以上を修得しなければならない。
（３）　メディア・コミュニケーション学科
ａ　必修科目は、36単位を修得しなければならない。
ｂ　選択必修科目は、８単位以上を修得しなければならない。
ｃ　選択科目は、80単位以上を修得しなければならない。
２　人間関係学部の授業科目の履修方法は、次のとおりとする。
（１）　心理学科
ａ　必修科目は、40単位を修得しなければならない。
ｂ　選択必修科目は、10単位以上を修得しなければならない。
ｃ　選択科目は、74単位以上を修得しなければならない。
（２）　子ども発達学科
ａ　必修科目は、44単位を修得しなければならない。
ｂ　選択科目は、80単位以上を修得しなければならない。
３　国際キャリア学部の授業科目の履修方法は次のとおりとする。
（１）　国際英語学科
ａ　必修科目は、58単位を修得しなければならない。
ｂ　選択科目は、66単位以上を修得しなければならない。
（２）　国際キャリア学科
ａ　必修科目は、58単位を修得しなければならない。
ｂ　選択科目は、66単位以上を修得しなければならない。
４　削除
５　削除
第12条の２　他学科、他学部の授業科目の履修方法及び修得単位の取り扱いについては、別にこれを定める。
第12条の３　授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
２　前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
３　第１項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
４　メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段によって行う。
５　前項の授業を実施する授業科目については、履修規程において定める。
６　第１項の授業については、授業の方法、内容並びに１年間の授業計画をあらかじめ明示するものとする。
第13条　授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。試験は学年又は学期末に、その履修した科目について筆記、口述、論文、実技等によって行う。

２　授業科目の履修の手続き方法などは、別に履修規程でこれを定める。
第14条　試験は、履修規程で定めるところに従い、あらかじめ受講届けを提出して履修した授業科目に限り、受けることができる。
第15条　試験の成績は、AA、A、B、C、D、Fで表わし、AA、A、B、Cを合格とする。
第16条　病気その他やむを得ない理由のため試験を受けることができなかった者に対しては、追試験を行うことがある。
第17条　不合格になった科目について、別に定めるところにより再試験を行うことがある。
第18条　本学に４年（第34条第１項により入学した者については、第34条第２項により定められた在学すべき年数）以上在学し、第11条及び第12条に定める所定の単位数を修得した者については教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
２　削除
第19条　人文学部の卒業を認定した者に対しては、学士（人文学）、人間関係学部の卒業を認定した者に対しては、学士（人間関係学）、国際キャリア学部の卒業を認定した者に対しては、学士（国際英語）の学位を与え、卒業証書・学位記を授与する。
第20条　教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。
２　教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
３　前２項の規程により、履修した授業科目について修得した単位は教授会の議に基づき、60単位を限度として認めることができる。
第21条　大学、短期大学を卒業、又は中途退学し、新たに本学の１年次に入学した学生の既修得単位について、教育上有益と認めるときは、これを本学において修得したものとして認定することができる。
２　教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
３　前２項の単位認定は、前条と合わせて60単位を限度としてこれを行う。

第５章　免許及び資格の取得

第22条　教育職員免許状を取得しようとする者は、第18条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、教育職員免許法並びに同施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。
２　教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。
（１）　人文学部
　イ　現代文化学科　中学校教諭一種免許状　　国語
　　高等学校教諭一種免許状　国語
　ロ　言語芸術学科
　　英語教職コース　中学校教諭一種免許状　　外国語（英語）
　　高等学校教諭一種免許状　外国語（英語）
（２）　人間関係学部
　イ　心理学科　中学校教諭一種免許状　　社会
　　高等学校教諭一種免許状　公民
　ロ　子ども発達学科　幼稚園教諭一種免許状
　　小学校教諭一種免許状
　　特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
（３）　国際キャリア学部
　イ　国際英語学科　中学校教諭一種免許状　　外国語（英語）
　　高等学校教諭一種免許状　外国語（英語）
第22条の２　削除
第22条の３　人間関係学部子ども発達学科において保育士の資格を取得しようとする者は、第18条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、児童福祉法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。
第22条の４　人文学部言語芸術学科において教育職員免許状を取得しようとする者の授業科目、単位及び履修方法については、別にこれを定める。
第23条　人文学部、国際キャリア学部国際キャリア学科の日本語教員養成のための授業科目、単位、履修方法については、別にこれを定める。
２　人文学部、国際キャリア学部国際英語学科の児童英語教育指導員養成のための授業科目、単位、履修方法については、別にこれを定める。

第６章　入学、退学、除籍、休学、転学、転部、転科、留学、復学、再入学及び編入学

第24条　入学の時期は、学年の始めとする。ただし、編入学、再入学及び転入学については学期の始めとすることができる。
第25条　本学に入学にできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。
（１）　高等学校を卒業した者
（２）　通常の課程による12年の学校教育を修了した者
（３）　外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
（４）　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
（５）　文部科学大臣の指定した者
（６）　高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）に合格した者
（７）　その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

第26条　本学への入学を志望する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類及び写真を添えて、所定の期日までに願い出なければならない。
第27条　前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行い、教授会の議を経て合格者を決定する。
第28条　前条の選考の結果に基づき、合格の通知を受けた者は、所定の期日までに誓約書、その他所定の書類を提出するとともに、入学金その他指定された納入金を納付しなければならない。
２　学長は前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。
第29条　退学を希望する者は、その理由を記して、保証人連署のうえ、願書を学長に提出しなければならない。
第29条の２　次の各号のいずれかに該当する者は、教授会の議を経て、学長がこれを除籍することができる。
（１）　期限までに学費の納入を行わず、督促してもなお納付しない者
（２）　第５条に定める在学年限を超えた者
（３）　第 31 条第２項に定める休学期間を超え、なお復学できない者
（４）　その他除籍が必要と認められる者
第30条　疾病その他やむを得ない理由で、３ヶ月以上修学できない者は、保証人連署の上理由書を付して願い出、学長の許可を得て休学することができる。
２　疾病のため修学することが適当でないと認められる者について、学長は休学を命ずることができる。
第31条　休学期間は、１年以内とする。ただし特別の理由がある場合は、休学期間の延長を認めることができる。
２　休学期間は、通算して４年を越えることはできない。
３　休学期間は、第５条の在学期間には算入しない。
４　休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。
第32条　他の大学に入学又は転入学を志願しようとする場合は、学長の許可を得なければならない。
２　転入学が決定した者は、第29条と同様の退学願を学長に提出しなければならない。
第32条の２　所属の学科から他の学科への転科を希望する者があるときは、選考の上転科を許可することがある。転部については別に定める。
２　前項の規定により、転科を許可された学生の既修得単位については、教授会の議に基づき転科先学科において修得したものとして認めることができる。
第33条　外国の大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。
２　前項の許可を得て留学した期間は、第18条に定める在学期間に含めることができる。
３　第20条の規定は、外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。
第34条　次の各号のいずれかに該当する者で、本学への入学（再入学、編入学）を志願する者があるときは、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

（１）　大学を卒業、又は退学した者及び除籍された者
（２）　短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
（３）　学校教育法施行規則第 92 条の３に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校の課程を修了し又は卒業した者
２　前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

第７章　学費

第35条　入学志願者は、入学検定料として15,000円を納入しなければならない。
第36条　入学試験に合格した者は、入学金として210,000円を納入しなければならない。
第37条　授業料は年額725,000円とし、指定された期日までに指定された方法で納入しなければならない。
２　授業料の外、実験・実習費その他の必要な費用については別にこれを徴収する。
第38条　前期又は後期の中途において、復学又は入学した者は、復学又は入学した月から当該期末までの授業料等納入金を、復学又は入学した月に納入しなければならない。
第39条　学年の中途で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの月までの授業料等納入金を納入しなければならない。
第40条　前期又は後期の中途で退学する者は当該期分の授業料等納入金を納入しなければならない。
２　停学期間中の授業料等納入金はこれを徴収する。
第41条　休学期間中は、在籍料として年額120,000円を徴収する。ただし、留年学生は除くものとする。
２　前項の在籍料の取扱いについては、別に定める。
第42条　学費支弁の困難な者に対しては、その実情と学業成績とにより、一部を免除又は貸与することがある。
第43条　科目等履修生、聴講生、特別聴講生及び外国人留学生の入学検定料、入学金及び授業料等納付金については、別にこれを定める。
第44条　一旦納めた納入金は過誤によるもの以外は、一切返還しない。

第８章　賞罰

第45条　学生として表彰に価する行為があった者は、教授会の審議を経て、学長がこれを表彰することがある。
第46条　本学の学則又は諸規定に違反し、又は学生としての本分に反する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。
２　前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

３　前項の退学処分は次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。
（１）　性行不良で改善の見込みがない者
（２）　学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者
（３）　正当の理由がなくて、出席常でない者
（４）　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
第47条　削除

第９章　教職員の構成

第48条　本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員を置く。

第10章　教授会

第49条　本学及び福岡女学院大学短期大学部に共通の重要な事項を審議するために連合教授会を置く。
２　各学部に固有の重要な事項を審議するために学部教授会を置く。（以下、連合教授会及び学部教授会をあわせて「教授会」という。）
３　削除
４　削除
第50条　削除
第51条　教授会の運営に関し、必要な事項は「福岡女学院大学教授会規程」に定める。

第11章　図書館

第52条　本学に附属図書館をおく。図書館に関する規定は別にこれを定める。

第12章　保健及び厚生施設

第53条　本学に保健室を置き、一般保健に関する業務及び応急処置を行う。
２　保健室に関する規定は別にこれを定める。
第54条　学生並びに教職員の健康管理のため、毎年健康診断を行う。

第13章　科目等履修生、聴講生、研究生、特別聴講生、外国人留学生及び長期履修学生

第55条　本学において、特定の授業科目の履修及び単位修得を志願する者があるときは、学生の授業に支障のない限り教授会において選考の上、科目等履修生として履修を許可することがある。
２　科目等履修生に関する規定は別にこれを定める。

第55条の２　本学において、特定の授業科目の聴講を志願する者があるときは、学生の授業に支障のない限り教授会において選考の上、聴講生として聴講を許可することがある。
２　聴講生に関する規定は別にこれを定める。
第55条の３　本学において、特定の事項について研究を行うことを希望する者があるときは、学生の指導及び研究に妨げのない限り、教授会において選考の上、研究生としてこれを許可することがある。
２　研究生に関する規定は別にこれを定める。
第56条　他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学との協議に基づき、特別聴講生として入学を許可することがある。
第57条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、かつ第25条各項のいずれかに相当する入学資格を有し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可する。
２　削除
第57条の２　本学に長期履修学生として入学を志願する者があるときは、教授会において選考の上、入学を許可する。
２　長期履修学生に関する規定は別にこれを定める。

第14章　公開講座

第58条　地域社会における社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することがある。
２　前項の目的を達成するための機関は、地域・国際交流センターとする。

第15章　自己点検・評価

第59条　本学は、第１条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行う。
２　前項の点検及び評価に関する事項は、別に定める。

第16章　改廃

第60条　この学則の改正は、教授会の審議を得て理事会が行う。

○福岡女学院大学科目等履修生に関する規程

1994（平6）年4月1日制定
最終改正　2002（平14）年4月1日

第１条　福岡女学院大学（以下「本学」という）の科目等履修生に関することは本規程の定めるところによる。
第２条　科目等履修生として授業科目の履修を願い出ることのできる者は、本学の入学資格を有する者、または、これと同等以上の学力を有する者で、教授会において適当と認められた者とする。
2　高等学校との連携事業に係る協定を締結した高等学校の生徒については、別にこれを定める。
第３条　履修を希望する授業科目については、教授会の承認を得なければならない。ただし、一部指定科目については、その科目担当者の承認を得なければならない。なお、必修科目は許可しないことがある。
第４条　履修を希望する者は、別に定める期日までに、所定の願書を提出しなければならない。
第５条　科目等履修生がその履修した授業科目について所定の課程を修得し、試験に合格した場合には、その授業科目所定の単位を与える。
2　科目等履修生で、前項に該当する者には、願い出により単位修得証明書を交付する。
第６条　科目等履修生としての履修期間は原則として１年以内とする。なお、履修単位数の上限は別に定める。
2　科目等履修生としての履修期間は、大学の正規の課程の在学期間として認定することはできない。
第７条　大学または短期大学を卒業した者が教育職員免許状を得るために、科目等履修生として教職に関する科目を履修する場合の規定は別に定める。
第８条　科目等履修料については別に定める。
第９条　科目等履修生は、学内図書館を利用することができる。
第10条　科目等履修生には、科目等履修許可証を発行する。
2　科目等履修許可証は常時携帯し、学内諸規定を守らなければならない。
第11条　本規程の改正は教授会の議を経て学長が行う。

附　則　①
1　本規程は、1994（平６）年４月１日に制定し、同日付をもって施行する。
附　則　②～③（省略）
附　則　④
1　第３条～第５条、第７条および第10条の一部を改正し、2000（平12）年４月１日から施行する。
附　則　⑤
1　第２条第２項を新設し、2002（平14）年４月１日から施行する。

○福岡女学院大学聴講生および特別聴講生に関する規程

1990（平2）年4月1日制定
最終改正　2000（平12）年4月1日

第１条　福岡女学院大学（以下「本学」という）の聴講生および特別聴講生に関することは本規程の定めるところによる。
第２条　聴講生として聴講することのできる者は、本学の入学資格を有する者、または、これと同等以上の学力を有する者で、教授会において適当と認められた者とする。
第３条　聴講を希望する科目については、教授会の承認を得なければならない。ただし、一部指定の科目については、その科目担当者の承認を得なければならない。なお、必修科目は許可しないことがある。
第４条　聴講を希望する者は、別に定める期日までに、所定の願書を提出しなければならない。
第５条　聴講生として履修した授業科目については履修証明書を交付する。
第６条　聴講生としての聴講期間は原則として１年以内とする。なお、履修科目数の上限は別に定める。
2　聴講生としての在学期間は本学正規の課程として認定することはできない。
第７条　聴講料については、別に定める。
第８条　聴講生は、学内図書館を利用することができる。
第９条　聴講生には聴講生証を発行する。
2　聴講生証は常時携帯し、学内諸規定を守らなければならない。
第10条　学則第56条により、特別聴講生として聴講を許可された者の単位については、学則第13条を準用する。
2　特別聴講料については、別に定める。
3　特別聴講期間は、原則として１年以内とする。なお、履修科目数の上限は別に定める。
4　特別聴講生は、学内図書館を利用することができる。
第11条　本規程の改正は教授会の議を経て学長が行う。

附　則　①
1　本規程は、1990（平２）年４月１日に制定し、同日付をもって施行する。
附　則　②～③（省略）
附　則　④
1　第１条～第４条の一部を改正する。また、従来の第５条を削除し、従来の第６条を第５条、第７条を一部改正し第６条、第８条を第７条、第９条を一部改正し第８条、第10条を一部改正し第９条、第11条を一部改正し第10条、第12条を第11条とする。
2　本改正規程は、2000（平12）年４月１日から施行する。

○人間関係学部心理学科　心理実習履修内規

2018（平30）年３月19日制定
最終改正　2021（令３）年２月９日

（目的）
第１条　この内規は、心理学科（以下「本学科」という）の心理実習を履修するにあたって心理実習の教育特性に鑑み、必要な事項を定めるものとする。
（履修要件）
第２条　本学科における「心理実習Ⅰ」の履修条件は原則として次のとおりとする。
⑴第１年次において30単位以上を修得していること。
第３年次に履修する場合は、２年次１年間において30単位以上を修得していること。
⑵第２年次前期までのＧＰＡ(累積)が2.0以上であること。
第３年次に履修する場合は、３年次前期までのＧＰＡ(累積)が2.0以上であること。
⑶「基礎演習Ａ」「基礎演習Ｂ」「心理学概論Ａ」「心理学概論Ｂ」「社会心理学（社会･集団・家族心理学Ａ）」「心理学研究法」「臨床心理学概論」以上７科目中、６科目以上の単位を修得済みであること。
⑷「心理演習Ⅰ」を修得済みであること。
２　本学科における「心理実習Ⅱ」の履修条件は原則として次のとおりとする。
⑴第２年次後期までのＧＰＡ(累積)が 2.2 以上であること。
第４年次に履修する場合は、３年次後期までのＧＰＡ(累積)が2.2以上であること。
⑵「心理実習Ⅰ」を修得済みであること。
⑶「心理的アセスメント」「心理学的支援法」「心理演習Ⅱ」のすべてを修得済みであること。
３　本学科における「心理実習Ⅲ」の履修条件は原則として次のとおりとする。
⑴「心理実習Ⅰ」及び「心理実習Ⅱ」を修得済みであること。
（再履修の不可）
第３条　単位認定を得られなかった心理実習を、再度履修することは原則としてできない。
（改廃）
第４条　この内規の改廃は、学部教授会の議を経て学長が行う。

附則 ①
この内規は、2018（平30）年４月１日から施行し、2018年度入学生から適用する。
附則 ②
この内規は、2019（平31）年４月１日から施行し、2018年度入学生から適用する。
附則 ③
この内規は、2021（令３）年４月１日から施行し、2018年度入学生から適用する。

○子ども発達学科履修内規

2019（平31）年４月１日制定
最終改正　2020（令２）年６月９日

（総則）
第１条　人間関係学部子ども発達学科（以下、「本学科」という。）において授業科目を履修し単位を取得しようとする者は、福岡女学院大学学則（以下、「学則」という。）における授業科目の履修及び単位修得に関する規定とともにこの内規に従うものとする。
（学科コース）
第２条　本学科の各コース及び各コースにおいて必要な要件を満たした場合に取得できる資格・免許は別表１による。
２　１年次後期から、コースに分かれる。
３　本学科の各コースにおいて資格・免許の取得に必要な要件は別に定める。
４　所属するコースから他コースへの変更は在学中１回とし、２年次前期または２年次後期のいずれかの時期とする。コース変更に関する詳細は別に定める。
（学科専門科目の履修）
第３条　本学科において、卒業要件及び本学科における資格・免許取得にかかる授業科目の履修及び単位修得は、学則における基盤教育科目及び他学部他学科科目の履修を除き、本学科学生が所属する各コースに配当される学科専門科目を履修することとし、その科目は別表２による。
（他コース科目の履修）
第４条　本学科学生が、その所属するコースに配当される科目以外の本学科専門科目を履修する場合には自由科目とし、その単位は卒業要件単位数に含まない。
（改廃）
第５条　この内規の改廃は、学部教授会の議を経て学長が行う。
附則①
この内規は、2019（平31）年４月１日から施行し、2019年度入学生から適用する。
附則②
この内規は、2020（令和２）年４月１日から施行し、2019年度入学生から適用する。

別表１（第２条関係）

コース名	取得できる資格・免許
子ども発達コース	保育士資格 幼稚園教諭一種免許状
児童教育コース	小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）

別表2（第3条関係）
(1)子ども発達コース

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
子ども学概論	2		
子ども学フィールドワーク	2		
子ども学フィールド演習	2		
子ども学観察演習	2		
子ども学総合演習Ⅰ	2		
子ども学総合演習Ⅱ	2		
卒業研究Ⅰ	2		
卒業研究Ⅱ	2		
心理学概論	2		
発達心理学Ⅰ（総論）	2		
子どもの発達と学習の心理学	2		
初年次教育Ⅰ	2		
初年次教育Ⅱ	2		
発達心理学Ⅱ（乳幼児と親の発達心理）		2	
子ども理解の心理統計法		2	
発達・教育相談の基礎		2	
発達・教育相談の方法と実践		2	
保育原理		2	
教育原理		2	
保育者論		2	
特別支援教育論		2	
子ども家庭福祉論		2	
社会福祉概論		2	
子育て支援論		2	
社会的養護Ⅰ		2	
保育者実務論		2	
キリスト教と子ども学		2	
子どもの理解と援助		2	
子どもの保健		2	
子どもの食と栄養		2	
保育の計画と評価		2	
保育内容総論		2	
保育内容（人間関係）		2	
保育内容（健康）		2	
保育内容（環境）		2	
保育内容（言葉）		2	
保育内容（表現）		2	
保育内容の理解と方法		2	
教育技術論（児童文化財研究）Ⅰ		2	
教育技術論（児童文化財研究）Ⅱ		2	
乳児保育Ⅰ		2	
乳児保育Ⅱ		2	
子どもの健康と安全		2	
障害児保育		2	
社会的養護Ⅱ		2	
教育課程論		2	
教育制度論		2	
表現概論		2	
国語表現		2	
数の理解		2	
音楽（声楽）		1	
音楽（器楽）Ⅰ		1	
音楽（器楽）Ⅱ		1	
音楽（器楽）Ⅲ		1	
音楽表現		1	
図画工作		1	
体育		1	
保育フィールドワーク		2	
施設実践演習		2	
運動遊び実践		2	
保育実習指導Ⅰ（保育所）		1	
保育実習Ⅰ（保育所）		2	
保育実習指導Ⅰ（施設）		1	
保育実習Ⅰ（施設）		2	
保育実習指導Ⅱ		1	
保育実習Ⅱ		2	
保育実習指導Ⅲ		1	
保育実習Ⅲ		2	
幼稚園教育実習指導Ⅰ		1	
幼稚園教育実習Ⅰ		2	
幼稚園教育実習指導Ⅱ		1	
幼稚園教育実習Ⅱ		2	
総合実践演習（保・幼・小）		2	

(2)児童教育コース

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
子ども学概論	2		
子ども学フィールドワーク	2		
子ども学フィールド演習	2		
子ども学観察演習	2		
子ども学総合演習Ⅰ	2		
子ども学総合演習Ⅱ	2		
卒業研究Ⅰ	2		
卒業研究Ⅱ	2		
心理学概論	2		
発達心理学Ⅰ（総論）	2		
子どもの発達と学習の心理学	2		
初年次教育Ⅰ	2		
初年次教育Ⅱ	2		
発達・教育相談の基礎		2	
発達・教育相談の方法と実践		2	
保育原理		2	
教育原理		2	
教職概論		2	
特別支援教育論		2	
キリスト教と子ども学		2	
教育課程論		2	
教育の方法と技術		2	
教育制度論		2	
初等教科教育法（国語）		2	
初等教科教育法（社会）		2	
初等教科教育法（算数）		2	
初等教科教育法（理科）		2	
初等教科教育法（生活）		2	
初等教科教育法（音楽）		2	
初等教科教育法（図画工作）		2	
初等教科教育法（家庭）		2	
初等教科教育法（体育）		2	
初等教科教育法（英語）		2	
道徳教育の理論と実践		2	
総合的な学習の時間の指導法		2	
特別活動論		2	
生徒・進路指導の理論と方法		2	
国語表現		2	
小学校社会科		2	
数の理解		2	
小学校理科		2	
小学校生活科		2	
音楽（声楽）		1	
音楽（器楽）Ⅰ		1	
音楽（器楽）Ⅱ		1	
音楽（器楽）Ⅲ		1	
音楽表現		1	
図画工作		1	
小学校家庭科		2	
体育		1	
子どもの英語		2	
障害児教育論		2	
知的障害児の心理・生理・病理		2	
肢体不自由児の心理・生理・病理		2	
病弱児の心理・生理・病理		2	
知的障害児教育論		2	
肢体不自由児教育論		2	
病弱児教育論		2	
知的障害児教育総論		2	
病弱児教育総論		2	
重複障害・LD等の心理・生理・病理		2	
視覚障害児教育論		2	
聴覚障害児教育論		2	
学校フィールドワーク		2	
授業研究Ⅰ		2	
授業研究Ⅱ		2	
授業研究Ⅲ		2	
小学校教育実習指導		1	
小学校教育実習		3	
特別支援教育実習指導		1	
特別支援教育実習		2	
学校インターンシップ		1	
総合実践演習（保・幼・小）		2	

（2019年度以降の入学生用）
○子ども発達学科学外実習履修内規

2009（平21）年４月１日制定
最終改正　2019（平31）年２月28日

第１条　子ども発達学科（以下「本学科」という。）における学外実習とは、小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状及び保育士資格（以下「免許状等」という。）を得ようとする者がその単位取得のために、基準を満たした幼稚園を始めとする学校や保育所その他の児童福祉施設において実践的に実習を行うことをいう。

第２条　本学科における免許状等の取得条件は、次のとおりである。

（１）学外実習を実施する学生として、ふさわしい言動ができる者。

（２）小学校教諭一種免許状を取得するには、基礎資格として学士の学位を有し、教科及び教科の指導法に関する科目32単位以上、教育の基礎的理解に関する科目等31単位以上、大学が独自に設定する科目２単位、教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目８単位以上を履修しなければならない。

（３）幼稚園教諭一種免許状を取得するには、基礎資格として学士の学位を有し、領域及び保育内容の指導法に関する科目22単位、教育の基礎的理解に関する科目等26単位以上、大学が独自に設定する科目14単位以上、教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目８単位以上を履修しなければならない。

（４）特別支援学校教諭一種免許状を取得するには、基礎資格として学士の学位及び小学校教諭普通免許状を有し、特別支援教育に関する科目27単位を履修しなければならない。

（５）保育士資格を取得するには、基礎資格として卒業に必要な単位を修得し、教養科目15単位以上、必修科目62単位、選択必修科目18単位以上、合計95単位以上を修得しなければならない。

第３条　本学科における実習計画は、人間関係学部子ども発達学科免許・資格取得実習計画に掲載するものとする。

第４条　本学科における学外実習では履修基準を設け、学科会議において実習履修許可を認定する。

２　前項認定基準を次のように定める。

（１）小学校教育実習

以下の２点のいずれかを満たす者。

イ　児童教育コースに籍を置いている者。

ロ　子ども発達コースに籍を置き、「幼稚園教育実習Ⅰ」の単位を修得した者（２年次前期時点では履修中であること）。

上記に加え、以下の２点をすべて満たす者。

ハ　第２年次後期・第３年次前期のすべての「小学校教育実習指導」に出席し、課題等を提出していること（病欠等認められた場合を除く）。

ニ　第２年次後期配当の「授業研究Ⅰ」を原則として修得していること。

他学部他学科に在籍する学生で小学校教育実習を希望する場合については別に定める。

（２）学校インターンシップ

「小学校教育実習」の単位を原則として修得していること。

（３）幼稚園教育実習Ⅰ

第１年次後期までに、「教育原理」「保育者論」「発達心理学Ⅰ（総論）」「特別支援教育論」「国語表現」「音楽（声楽）」「図画工作」「保育内容の理解と方法」の単位を原則として修得していること。

（４）幼稚園教育実習Ⅱ

イ　「幼稚園教育実習Ⅰ」を終了していること。

ロ　第３年次後期までに、「音楽（器楽）Ⅰ」「保育内容総論」「保育内容（健康）」「保育内容（言葉）」「保育内容（表現）」「教育技術論（児童文化財研究）Ⅰ」「保育内容（人間関係）」「保育内容（環境）」「子どもの発達と学習の心理学」「子どもの理解と援助」「体育」「教育課程論」「発達・教育相談の基礎」「表現概論」の単位を原則として修得していること。

（５）特別支援教育実習

第２年次後期までの卒業必修科目及び特別支援学校教諭免許必修科目の単位を原則として修得していること。

（６）保育実習Ⅰ（保育所）

イ　第１年次後期までに、「保育原理」「保育者論」「保育内容の理解と方法」の単位を原則として修得していること。

ロ　第２年次前期までに、「発達心理学Ⅱ」「保育内容総論」「保育内容（言葉）」「保育内容（健康）」「保育内容（表現）」「社会福祉概論」「子どもの保健」「乳児保育Ⅰ」の単位を原則として修得していること。

（７）保育実習Ⅰ（施設）

イ　第２年次後期までに、上記（６）保育実習Ⅰ（保育所）の実習に必要な科目の単位を原則として修得していること。

ロ　第２年次後期開講科目「子どもの理解と援助」「子ども家庭福祉論」「子どもの健康と安全」「乳児保育Ⅱ」「社会的養護Ⅰ」の単位を原則として修得していること。

（８）保育実習Ⅱ・保育実習Ⅲ

イ　「保育実習Ⅰ」を終了していること。

ロ　「保育実習Ⅱ」を希望する学生は、「教育技術論（児童文化財研究）Ⅱ」「運動遊び実践」の単位を原則として修得していること。

ハ　「保育実習Ⅲ」を希望する学生は、「教育技術論（児童文化財研究）Ⅱ」「運動遊び実践」「施設実践演習」の単位を原則として修得していること。

第５条　この内規の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

第６条　この内規は、2011年度入学生から適用する。

附則①
　1　本内規は、2009（平21）年４月１日から施行し、2007年度入学生から適用する。
附則②
　1　本内規は、2011（平23）年４月１日から施行し、2011年度入学生から適用する。
附則③
（施行期日）
　1　この内規は、2015（平27）年４月１日から施行する。
（適用区分）
　2　改正後の小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状及び保育士資格に関する規定は、2012年度入学生から適用する。
　3　改正後の特別支援学校教諭一種免許状に関する規定は、2015年度入学生から適用する。
附則④
（施行期日）
　1　この内規は、2019（平31）年４月１日から施行する。
（適用区分）
　1　改正後の小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状及び保育士資格に関する規定は、2019年度入学生から適用する。

〇特別支援学校教諭免許課程履修内規

2016(平28)年1月26日制定
最終改正　2021（令和3）年4月27日

（趣旨及び定義）
第１条　この内規は、子ども発達学科（以下「本学科」という。）に設置する特別支援学校教諭一種免許課程（以下「特支免」という。）を履修するにあたって必要な事項を定めるものとする。
（履修資格）
第２条　本学科に設置する特支免の履修を希望するときは、次の条件をすべて満たしている場合に限りその履修を認める。
(1) 第１年次後期までのＧＰＡ（累積）が 2.80 以上であること。
(2) 第１年次における必修科目を修得していること。
(3) 幼稚園教諭一種免許課程（以下「幼免」という。）又は小学校教諭一種免許課程（以下「小免」という。）を履修予定の者。
(4) 教員採用試験を受験する意志があること。
２　幼免もしくは小免を履修している者又は履修予定の者が、3年次より本学科に設置する特支免の履修を希望するときは、次の条件をすべて満たしている場合に限りその履修を認める。
(1) 第２年次後期までのＧＰＡ（累積）が 2.80 以上であること。
(2) 教員採用試験を受験する意志があること。
３　中学校教諭一種免許課程及び高等学校教諭一種免許課程（以下「中高免」という。）を履修している者又は履修予定の者が、2年次または3年次より本学科に設置する特支免の履修を希望するときは、「他学部及び他学科履修による小学校教諭免許課程履修内規」第2条1項または2項の条件をすべて満たし、小免を履修する者に限り認める。
（履修許可）
第３条　本学科に設置する特支免の履修を希望する者は、あらかじめ説明会に出席した上で、履修希望願を定められた期日までに提出しなければならない。
２　履修を希望する者は、本学科の学科長及び免許資格担当者の面談を受けなければならない。
３　本学科会議が履修の許可を決定する。
４　履修の手続き及び履修登録については、別に定める。
（履修科目）
第４条　前条の履修が認められた者は、大学教職課程履修内規に定める特支免に係る科目を履修しなければならない。なお、特別支援教育実習及び実習に関する諸経費については別に定める。
（改廃）
第５条　この内規の改廃は、教職課程委員会の議を経て連合教授会が行う。

附 則 ①
（施行期日）
1　この内規は、2016（平 28）年 4 月 1 日から施行する。
（適用区分）
2　この内規は、2015年度入学生から適用する。
3　前項の規定にかかわらず、第４条に規定する履修科目については、2014年度までに子ども発達学科に入学し、幼稚園教諭一種免許課程又は小学校教諭一種免許課程を履修している者にも適用する。ただし、修得した「特別支援教育に関する科目」の単位数は、本学科の自由科目として扱い、卒業要件単位数に算入しない。
4　中学校教諭一種免許課程及び高等学校教諭一種免許課程が他学部及び他学科履修により、小学校教諭免許課程を履修した場合の「特別支援教育に関する科目」の単位数については当該学科の自由科目として扱い、卒業要件単位数に算入しない。
附 則 ②
（施行期日）
1　この内規は、2021（令和3）年4月1日から施行し、2019年度学則の学生から適用する。
（適用区分）
2　子ども発達学科の学生については、2019年度学則以降の学生については『子ども発達学科履修内規』及び『子ども発達学科学外実習履修内規』を適用するものとする。

〇転部または転科に関する内規

2005（平17）年12月27日制定
最終改正　2019（平31）年２月26日

（趣旨）
第１条　この内規は、福岡女学院大学学則第32条の２の規定に基づき、福岡女学院大学（以下「本学」という。）学生の転部または転科(以下「転籍」という。）について定めるものとする。以下、転科の場合には、「学部」を「学科」に読み替えるものとする。
（出願資格及び出願期限）
第２条　２年次前期から転籍することを志願する者がある場合、当該学部は、次の各号の要件を満たす者について、学部教授会にて審議の上、転籍を許可することができる。ただし、転籍先の学部教授会が定員数等を勘案し、承認した場合に限る。
（１）転籍する時点で１年以上在学している者
（２）志願者のクラスアドバイザー、所属学部の教務部委員会及び学部教授会が、転籍することが適当と判断する者
２　転籍を志願する者は、第６条に規定する書類を転籍希望年度の前年度10月末までに提出しなければならない。
３　前２項の規定により転籍した者の既修得単位の認定は、30単位を上限とする。
第３条　２年次後期から転籍することを志願する者がある場合、当該学部は、次の各号の要件を満たす者について、学部教授会にて審議の上、転籍を許可することができる。ただし、転籍先の学部教授会が定員数等を勘案し、承認した場合に限る。
（１）転籍する時点で１年６箇月以上在学している者
（２）志願者のクラスアドバイザー、所属学部の教務部委員会及び学部教授会が、転籍することが適当と判断する者
２　転籍を志願する者は、第６条に規定する書類を転籍希望年度の４月末までに提出しなければならない。
３　前２項の規定により転籍した者の既修得単位の認定は、45単位を上限とする。
第４条　３年次前期から転籍することを志願する者がある場合、当該学部は、次の各号の要件を満たす者について、学部教授会にて審議の上、転籍を許可することができる。ただし、転籍先の学部教授会が定員数等を勘案し、承認した場合に限る。
（１）転籍する時点で２年以上在学している者
（２）志願者のクラスアドバイザー、所属学部の教務部委員会及び学部教授会が、転籍することが適当と判断する者
２　転籍を志願する者は、第６条に規定する書類を転籍希望年度の前年度10月末までに提出しなければならない。
３　前２項の規定により転籍した者の既修得単位の認定は、64単位を上限とする。
第５条　３年次後期または４年次からの転籍の志願については、出願を許可しない。
（出願手続）
第６条　出願者は、次の書類を提出しなければならない。
（１）転籍願

（2）クラスアドバイザー面談記録
（3）成績証明書
（転籍試験）
第７条　転籍試験の受験資格の有無は、転籍先の学部教授会にて判定する。
２　転籍試験は、筆記、口述、論文、実技等とする。
（転籍試験受験料）
第８条　転籍試験受験料は、無料とする。
（合否判定）
第９条　転籍試験の判定については、転籍先の学部教授会がこれを行う。
（校納金）
第10条　転籍を許可された者は、転籍先の学部または学科の校納金を納入しなければならない。
（改廃）
第11条　この内規の改廃は、教務部委員会及び連合教授会の議を経て学長が行う。
附　則　①
１　本内規は、2005（平17）年12月27日に制定し、同日をもって施行する。
附　則　②
この内規は、2015（平27）年４月１日から施行する。
附　則　③
この内規は、2019（平31）年４月１日から施行する。